



理財論第十五節
定額銀券論

完

805



114
A3105



第十五節 政府發行ノ銀券並銀行發行銀券ノ定

位通用ヲ論ス

目次 定位通用ノ法近年盛ニ行ハル、事〇定位通用ノ法ハ古ヘノ通貨改鑄ト差別アル事〇貨幣ノ性質及效用〇銀券ノ性格

政府ヨリ直接ニ發行スル銀券若クハ銀行發行ノ銀券共ニ定位通用ノ法ヲ施スヲ得ル事〇定位通用ノ銀券ハ政府ヨリ發行スルモ銀行ヨリ發行スルモ均ニク其貸金ノ定メスルノ強テ公債ヲ募ルニ異ナラサル事

大正十一年四月
大隈侯爵邸藏

定位銀券ヲ行フノ原由○其原由ノ最モ大ナル者ハ
政府変遷ニ遭遇シ若クハ大戰アルニ方テ資金ノ需
用急ニシテ巨額ノ前借ヲ求ムルニ在ル事○此場合
ニ於テハ定位銀券ノ实用ヲ為スルアルヘキ事
各國定位銀券ノ沿革事迹○英國定位銀券ノ法○英
國立銀行ノ起原並其資金ヲ舉ケテ悉ク政府ニ貸與
セシ事○英國立銀行ノ貸與ハ其特權ヲ延期スル毎
ニ愈増額セシ事○英佛ノ戰爭ニ際シテ英國立銀行
ノ实效アリシ事○英國々庫債券ニ對シ操券資金○
千七百九十七年二月二十七日英國立銀券ノ正貨交

換ヲ停ム○定位通用ハ始メ數日間ニ行フベクシテ
後々數週間ニ延期ニ遂ニ延テ二十四年ノ久シキニ
涉リタルノ実歴○英國立銀行銀券ノ價格低落○千
八百十九年百分ノ二十九ノ低落ニ至ル○此低落ノ
原由○定位銀券ノ為メニ英國官民ノ蒙リタル損失
○正貨交換ヲ回復スルニ付キ漸次施行シタル處分
○千八百二十一年五月定位銀券ヲ廢停ス○特權ア
ル銀行ヨリ發行シタル定位銀券ハ政府發行ノ銀券
ヨリ禍害ノ少カルヘキ事○全上ノ異同アル理由
米國獨立戰爭ノ時始メテ定位銀券ヲ行フ事○全上

銀券ノ價格低落

佛國革命ノ際ニ發行シタル「アツレギヤ」ノ定位通用ノ事○「アツレギヤ」ノ濫觴及性格並利息付土地抵償ノ契券ニ異ナラサル事○「アツレギヤ」ヲ以テ紙幣ノ性質ニ一變シタルハ財政上ノ原因ニ在ラスレテ政略上ノ原由ニ因ル事○「アツレギヤ」發行ノ増額○全上ノ發行高漸次四百五十億ニ至リシ事○土地抵償銀券ヲ以テ之ヲ交換セシ事○土地低償銀券ノ價格低落セシ事○定位銀券ヲ廢停シタル順序○「アツレギヤ」ノ漸次低落セシ景況○其價格終ニ

其稱價ノ二百五十分ノ一ニ至ル事

澳國定位銀券ノ事○千七百九十九年ヨリ千八百十二年マテ、間政府巨額ノ銀券ヲ發行スル事（バンコゼツテ）○其銀券稱價ノ百分ノ二十ニ降ル○千八百十二年ノ破産○「バンコゼツテ」ヲ引替銀券ト稱スル銀券五分ノ一ノ額ヲ以テ引替ユル事○千八百十六年没夕破産ニ至ル事○澳國立銀行ヲ創設スル事○以來銀行銀券ト政府ノ銀券トニ様ノ紙幣同時ニ存立スル事○政府ト國立銀行トノ關係○國立銀行ノ貸出○定位銀券將ニ廢セラレントスルニ及テ復

夕改変ノ為メニ之ヲ脱スル能ハザリシ事○千八百
四十八年ヨリ千八百七十九年ニ至ルノ間定位銀券
價格ノ高低○澳國ノ歲出入ハ殆ント連年欠額アル
ヲ以テ正貨交換ニ回復スルノ妨ケトナリシ事○定
位銀券ノ法國ノ工産ニ影響スル事

魯國定位銀券ノ事○魯國ノ定位銀券ハ千七百年代
ヨリ行ハル、事○當時魯國ノ「アツレギヤ」ノ價格
ヲ低落スル事○此時ヨリ引續キ紙幣ノ行ハル、事
○千八百四十三年信用銀券ト交換スル事但シ「アツ
レギヤ」三「ル」ブル半ニ付キ信用銀券一「ル」ブル

ノ割○匈牙利ノ戰爭並ク「リメヤ」ノ役ヨリ信用銀券
発行額ノ増加○千八百六十九年國立銀行ヲ創設ス
○千八百六十二年正貨拂出ノ回復ヲ試ミテ遂ニ成
ラサル事○千八百七十六年ヨリ七十八年ニ至ル戰
争中定位銀券ノ為メニ大ニ補助ヲ得タル事○財政
収ヲ得サルノ國ニ於テ永ク争鬭ニ堪ユルノ方法○
魯國定位銀券ノ現今ノ景況○信用銀券價格ノ高低
南北戰爭以來合衆國ノ定位銀券ノ事○綠券「グリー
ンバック」ヲ漸次増發セシ事○綠券價格ノ高低○千
八百六十四年綠券二百八十六弗ヲ以テ金貨百弗ニ

替ユル事○此銀券ノ低落ハ改事上ノ關係主トシテ
影響ヲ為セル事○戰後其紙幣ヲ減殺スルヲ務メス
シテ無期公債ノ消還ヲ為シタルハ合衆國ノ失錯ノ
甚シキ者タル事

意國定位銀券ノ事○其原因ハ如何ノ事實ニ因ル乎
並其即時ニ生スル成果如何ノ事○千八百六十六
年ヨリ千八百七十七年ニ至ルノ間銀券價格ノ高低
並ニ其高低ノ原由

千八百七十年ヨリ千八百七十七年ニ至ルノ間佛國
定位銀券ノ事○此法ノ著シキ效用ヲ見ハセシ事○

此法ノ佛國ノ為ニ危害ヲ招カサルノ事情アリテ
之カ原由ヲ為タル事○此銀券ノ低落ハ甚微ニシテ
且ツ軍費償金ノ支出中一時ノ間ニ係ル事○千八百
七十一年ヨリ千八百七十四年ニ至ルノ間ニ金ノ表
各國定位銀券ノ實際ヲ緊述ス○大戰ノ后ニ於テハ
此法ヲ施スノ已ムヲ得サル事並戰后許多ノ年日ニ
是涉スル事○普國ノ此法ヲ用フルヲ免レタルノ理
由○外國債ヲ負フノ多キニ過クルカ為メニ此法ヲ
施スニ至ル事○定位銀券ノ法ハ詭計ニシテ甚ク禍
害ニ陷ラシメ易キノ法タル事○定位銀券ノ為メニ

二三ノ私利ヲ蒙ル者「イレフレオニス」ト党ナル者アル事○定位銀券ノ禍害○定位銀券ヲ廢停スルノ方策○歳計豫算ノ出入ヲ平準ニシテ為換相場ヲ改良スルノ須要ナル事○為換相場ニ影響スル所ノ原由並其相場ハ内外貿易ノ輸出入ノニ關セス其他種々ノ元素ニ關スヘキ事○海關稅ヲ拂フニ必ス金貨ヲ以テスヘキノ義務ヲ定ムルノ処分ハ定位銀券ヲ廢スルノ幫助ト見做スヘキ事

第十五節

政府發行ノ銀券並銀行發行ノ銀券

ノ定位通用ヲ論ス

茲ニ經濟上ノ現象ニシテ近代二十年来甚緊要ノ地位ヲ成シタル者アリ定位通用ト稱スル者是ナリ譯者案

銀券ニホセト同ク通用セムル銀行ヨリ發行スル所ノ形ノ類ト異ナル事(第一)之ヲ諸般ノ受投ニ於テ同ク之ヲ換スル龍動銀行ノ事務ト如キハ蓋シ今現ニ英國ニ行ハ

粗相ルセリ故ニ之ヲト云フト如ク譯ミ姑ク後ノ考ヲ雖

ニシテ本位通用ナル者ハ所謂之ト大同小異ナリト雖

氏全ノ相混同スヘカラス假令ハ英國龍動銀行ノ如
キ千八百三十三年ノ法章ニ依テ正貨同様ノ通用ヲ命
令シタルヲ以テ之ヲ「ク」ル、レガ「ト」云フベシ然レ
之ヲ其銀行ニ請フテ兌換「ク」ルハ銀行ハ常ニ之ヲ
拒ムラ得ズ故ニ未タ之ヲ「ク」ル、ホ「ル」セ「ト」ハ謂フベ
カラザルナリ銀券ヲ發行シテ之ニ「ク」ル、ホ「ル」セ「ト」ハ
性質ヲ異ナラザルナリ即チ所謂「紙幣ナル」定位通用
トハ政府ヨリ直チニ發行シ或ハ政府ノ承允若クハ其
誘導ニ依テ銀行ヨリ發行シタル銀券ニ正貨ト同一ノ
性質ヲ付スルノ謂ニシテ即チ之ヲ發行シタル者毎
ニ其銀券ト引替ヘニ正貨ヲ交換スルノ義務アルトナ
クシテ諸般ノ支拂ハ皆其稱價ヲ以テ之ヲ通用スルヲ
得ルノ義ナリ而シテ此制度ノ現ニ行ハル、者文明諸

國畿ノト其半ニ在リ殊ニ意澳魯伯及銀河國ノ如キ是
ナリ又英佛米ノ三國ニ於テモ曾テ大ニ此制度ヲ行シ
ト試ミタルコトナリ是ヲ以テ觀レハ近代文明ノ社會
ニ於テ此制度ノ盛ニ擴張シタルヲ知ル可シ
銀券定位通用ノ法ハ近代ノ諸國經濟上ノ信用ヲ保有
スルノ一大方法ト為スニ至レリ古ヘハ各國君主貨幣
改鑄ノ方法ヲ以テ國資ノ融通ヲ為セリ近代ノ諸國ニ
金額ヲ改鑄セシ丁其例少シトセズ例ハ佛國ノ一ハ十
ノラテニヨリ遂ニ其銀量ハ終ニ八十七分ノ一ニ減少セ
云リト蓋シ定位通用ノ法ヲ以テ常ニ貨幣改鑄ノ法ニ以

較對論スルハ其當ヲ失セルカ如シト雖此定位通用タ
ル佛國ノ「アツギヤ」官有地ヲ抵當トシテ發行シタル紙幣ヲ發行シタル
カ如キ或ハ場合ニ於テハ持ニ通貨改鑄ノ事ト進路ヲ
同クシ成迹ヲ均スルトアルノミナラズ通貨價格ノ交
遷ヲ致スノ結果ニ至テハ貨幣改鑄ノ法ヲ行フヨリモ
更ニ急激ナリ蓋シ通貨ヲ改鑄スルハ其業易々タラズ
シテ多少ノ時期ヲ費シ銀券ヲ發行スルカ如ク頻次ニ
舉行スルト能ハザレハナリ故ニ定位銀券ヲ發行スル
ハ貨幣ヲ改鑄スルト其成果ヲ均スルノミナラズ其害
却テ多シトス然レモ佛國革命ノ時米國獨立戦争ノ後

ノ如キ或ハ場合ニ於テハ定位銀券通用ノ制ハ舊時ノ
貨幣改鑄ト其性質相類似スト雖此又他ノ場合ニ於テ
ハ之カ為ニ經濟上ノ變動ヲ為スト甚ク輕クシテ其害
ヲ受クルヨリモ寧ク之カ為ニ多少ノ益アリト云フモ
不可ナキモノアリ蓋シ定位通用ノ貨幣改鑄ト異別ア
ル所以ハ謹慎節約ナル國民ハ定位銀券通用ヲ視テ以
テ持ニ一時ノ變動ニ應シ若クハ他ニ得難キノ歳資ヲ
得ルノ便法ト為スニ在リ又定位通用ノ法ハ必シモ常
ニ通貨ニ以シテ銀券ノ價格ヲ損傷スルトアルニアラ
ズ且改鑄ヲ為スモノハ必ス注意ニ出ツルモノナク定

大
政
宮

位通用ヲ行フモノハ正意ニ出ツルモノアリ是レ亦此
異別アル所以ナリ
抑々蠻俗ヲ脱シテ多少文明ノ俗ニ入ルモノハ物ヲ交
易スルノ法必ス中間媒介ヲ用フルヲ知ル貨幣是ナリ
是即物ヲ以テ物ニ易ルノ不便ヲ避クル所以ニシテ古
今文明人民ノ通態ナリ蓋シ物ヲ交易スルニ方テヤ甲
ノ興ヘント欲スル所必シモ乙ノ求ムル所ニ非ルナ
リ故ニ自然ノ勢漸ク宇内ニ普通スル所ノ一貿易品ヲ
作り以テ而般ノ物ニ換ヘ且其價格ヲ量ルノ度尺ト為
スニ至レリ

其普通ノ貿易品ヲ作ルニ當リテヤ其之ヲ製スルノ品
類古来一ナラズ太古土地所有ノ權未ク今日ノ如ク班
然明畫ナルヲ能ハザルニ方テハ牧蓄ヲ以テ貿易品ニ
充テタリ且當時ハ家々自ラ自用ノ品物ヲ製産スルモ
ノ多キヲ以テ自ラ細微ノ物ヲ交易スルヲ鮮シ又垂非
利嘉ノスーダン等ノ如キ或ル國ニ於テハ貝ノ屬ヲ以
テスルアリ布類ノ一種ヲ以テセルアリ然ルニ今日ニ
至リ遠ニ各文明國ノ通貨ヲ以テ金若クハ銀ノ屬ニ一
定セシメタルモノハ各國相議シテ定メタルモノニ非
スシテ皆自然ノ情勢必ス之ヲ擇ハザルヲ得ザルヲ以

テナリ世俗之ヲ以テ議約アルモノ、如ク倣セルハ蓋
レ誤ナリ

金銀ヲ以テ特ニ擇テ此貿易品ト定メタル所以ノモノ
ハ其鑛質ニ於テ實益ヲ有レ且其繁爛タル光澤アルカ
為メニ人意ヲ悦ハシムルニ足ル故ニ物ノ裝飾ニハ必
ス一般之ヲ用フルニ至ル且加之ナラズ其産出甚タ少
レニシテ之ヲ製スル易カラズ其性質物ニ觸レテ凌ヒ
ズ具體大ナラズレテ其量重シ故ニ之ヲ抹鑛スルノ事
業易カラザルカ為メニ其價格ヲ高クシ且其量少クシ
テ他ノ巨多ノ勞カニ對ハスヘキモノナリトス此他金

銀ヲ以テ此貿易品ト定メタル所以ノ理由ハ一ニシテ
足ラズト雖氏令之ヲ詳論スルニ違アラズ

金銀ヲ以テ貨幣ヲ鑄造スル所以ハ此緊切ナル性質ヲ
具備セルニ由ルモノニシテ蓋シ事物ノ勢ニ自ラ然ラ
シムルモノナレハ人間一般ノ好尚一變スルノ日ニ非
スニハ他ニ之ニ代フベキノ物アラザルベシ

古ヘハ金銀ヲ以テ物ニ換ルニ其重量ヲ秤リテ其價格
ニ應セシメタリレカ年ヲ經ルニ從テ交易ノ際一々秤
量スルノ不便ナルヲ知り乃チ小片ノ貨幣ヲ作りテ之
ニ畫圖若クハ文字ヲ以テ其分量ヲ記載シ之ヲ以テ價

格ニ應スルノ交換ヲ為シタリ然ルニ其後々遂ニ分量
ヲ記スルヲ止メテ其貨幣ノ名ヲ定メタリ「フロリン」
「ロシヤ」フラン等ノ如キ是ナリ然レモ當時ノ制タル
固ヨリ其名義ト其分量ト相適當シテ常ニ相變異セザ
ルヲ要セリ故ニ當時貨幣ヲ改鑄スルハ則チ初ノ其名
義ニ適當セシ分量ヲ減殺スルノ謂ヒナリヤ
凡ソ貨幣ノ價格ハ其記號ニ依テ存スルニ非スレテ其
實價アルニ因ルモノナリ故ニ金銀ヲ以テ製造セル貨
幣ハ持ニ物價ノ標準トシテ市場ニ交換ヲ為スノミニ
アラズレテ其物價ノ度ヲ量リ且ツ之ニ平準セル實價

ヲ有セルニ依テ交換ノ使ヲ為スモノナリレシエール
エー氏貨幣論第一章ニ出ツ而シテ此鑛屬ノ物價ニ平準セル實價ヲ
具フト云ハ他ナレ字内ニ現在セル金銀ノ量人為ヲ以
テ増殖スルノ能ハズ且之ヲ産出スルノ費甚タ巨大ナ
ルニ依ル然レハ金銀ノ實價ト他ノ交易品トノ比準ハ
則チ時々金銀ヲ産出スルノ費額及其現在額ト人間需
用ノ度トノ割合ニ隨テ自ラ定ルベキモノトス
故ニ金銀ハ物價ニ平準スヘキ實價アルモノニシテ之
ヲ鞏固ナル交易ノ基礎ナリトス
近世ニ至テ銀行ノ設ケ興リ主トシテ商品又ハ株券等

ノ類ヲ預リ若クハ商業手形ノ割引交換ヲ行ヒ以テ數
日間ヲ経テ支拂フヘキ金貨ニ對シテ直キニ銀券ヲ以
テ支給スルノ業ヲ營ムニ至リ其二三ノ銀行ニ於テハ
自己ノ發意ニ依リ又ハ特別法律ノ許ス所ニ依リ兌換
銀券ヲ發行スルニ至レリ此銀券ハ銀行銀券即「バンク
ノート」ト稱シ漸次廣ク行レテ遂ニ貨幣ヨリモ輕便ナ
ルニ依テ公衆ノ大ニ求ムル所トナルニ至レリ而シテ
今日ノ景況ニ於テハ其世間ニ流通スル所自ラ金銀正
貨ト異ナラズト雖モ其然ル所以ノモノハ他ナレ必竟
現在ノ常時ニ於テハ自ラ何時ニテモ之ヲ以テ記稱ノ

金額ニ以シキ金銀ノ實額ヲ交換シ得ルノ約束ヲ存在
シ且之ヲ發行セシ銀行ニ於テハ假令ヘ此約束ヲ実行
スルノ義務ナシト雖モ之ヲ交換スルノ難カラズレテ
必ス実行シ得ヘキヲ信スルヲ以テ如此ク流通ノ至便
ヲ為スヲ得ベキナリ故ニ銀行券ト金銀貨幣トハ元來
ノ差異アリ金銀ハ自ラ實價ヲ有ズ即チ公衆ノ好尚ニ
應シ人為ヲ以テ増殖スルト能ハズ且産出ノ費用莫大
ナルノ故アルヲ以テ自然通貨ノ實效ヲ有スルナリ然
ルニ銀券ハ特ニ平常ノ時ニ方テ請求ニ應レテ直キニ
金銀ニ交換シ得ルノ信用アルニ依テ貨幣ノ通用ヲ為

スヘキノミ故ニ銀券ハ信用ノ通貨ト稱ス蓋シ之ヲ通
用スル者之ヲ發行スル所ノ會社ヲ信用シ何時ニテモ
金銀ニ交換スルノ約ハ必之ヲ実行シ得ベキモノト思
惟シテ疑ハザルニ依ルナリ然レハ則チ銀券ヲ好テ通
用シ殊ニ之ヲ至便トシテ公衆ノ求ムル所トナルニ至
レルハ特ダ實ニ金銀ニ交換シ得ルカ爲メナリ故ニ其
通用スルトセザルトハ銀券本躰ノ性質ニ依ラズシテ
却テ之ヲ以テ他ノ金銀ヲ得ラルヘキヤ否ヤノ考察ニ
關繫セルモノナリ

然ルニ或ル政府ニ於テハ此点ニ於テ銀行ノ業ニ倣ヒ

通貨ノ名義ヲ以テ流通スベキ銀票ヲ發行セルトアリ
其額ハ際子制限アリト雖モ亦頗ル巨額ニ上レルモノ
ナリ而レモ其公衆ノ爲メニ信セラル、所ノモノハ惟
タ租稅トシテ此銀券ヲ官庫ニ納ルヲ得ルニ依ル故ニ
其額多カテザルニ非レハ能ク永ク其信用ヲ保持スル
ト能ハザルナリ

然レモ政府カ如此キ無利息ノ銀券ヲ發行スルトアル
ハ普通ノ常慣タルニアラズ故ニ其例甚タ稀ナリト
ス假令一之ヲ發行スルモ其範圍必ス大ナルト能ハザ
ルベシ且殊ニ今日ノ諸大國ニ在テハ多クハ之ヲ發行

シタルトナシ假令へ膏テ發行シタルトアルモ既ニ之ヲ廢絶シテ猶今日ニ存スルモノアラズ獨リ普國ハ現ニ尚ホ之ヲ發行スト雖氏其額甚タ微ニシテ官庫ニ存在セル銀行銀券若クハ正貨ノ額ヲ超へザルト甚ク遠シト云フ千八百七十七年三月三十一日英國「正」コノミニ於テ則耳曼政府ノ紙幣發行額一億六千八百六十三万四千八百八十五マルク即併貨大約二億一千万ヲラレリニ至

以上記スル所ノ説明ハ銀行又ハ政府ニ於テ銀券ヲ發行スルモ未ダ法律ヲ以テ之カ通用ヲ嚴令セズ未ダ其受授ヲ否ムト能ハサルノ法アラザルノ有様ヲ論セル

モノニシテ唯タ具携帯ニ便ナルト且何時ニテモ金銀ニ交換シ得ルカ若クハ少クモ政府ノ銀票ハ納租ニ用フルヲ得ベキノ信用アルニ依テ特ニ好テ之ヲ受授スルニ過キザルノ日ニ就テ言ヘリ

銀券ノ定位通用ノ制ハ則チ此有様ヲ一變シ膏テ政府若クハ銀行ノ銀券ヲ記稱ノ價格ニ隨テ通用スルハ受授者ノ自由タリシヲ改メテ必ス之ヲ受授スベキモノト嚴令シ且ツ之ヲ發行シタル政府ト銀行トヲレテ何時ニテモ金銀ニ引換ルノ義務ヲ免レシムルモノトス此制ヲ施シ得ルノ場合殊異ノ情状ニシテ止マラズ

ト雖氏然レ氏類ヲ以テスレハ其目判然ニ別スベシ其
一政府之ニ依テ更ニ資銀ヲ得ント求ムルニ非ズシテ
惟タ一時財政ノ變状ヲ避ケ若クハ其困難ヲ免レシト
スルヲ目的トセルモノアリ又大銀行ノ如キ其業務ノ
失誤ノ為ノニ若クハ故ナク公衆ノ驚慌ヲ招キタルカ
為ノニ一時ノ困難ヲ致シタルノ場合ニ臨テ政府ハ其
銀行ノ資金ヲ得テ困難ヲ救フニ足ルカ若クハ公衆驚
慌ノ念息ムニ至ルマテ一時金銀交換ノ義務ヲ停止ス
ルヲ許可スルヲ得又時アツテハ政府必ス如此キ許
可ヲ與ヘザルヲ得ザルトアリ史乘ヲ閱スルニ如此キ

處分ヲ施シタルノ实例亦少シトセズ千六百九十五年
英國立銀行ノ發行銀券ノ交換ヲ停止シタルカ如キ及
千八百四十八年佛國立銀行ノ該國政府ノ許可ヲ以テ
同一ノ處分ヲ行ヒタルカ如キ是ナリ千八百七十年ニ
於テ定位通用ノ制ヲ定メタルモ亦實ニ之ト同一ノ源
因アルニ依ル蓋シ當時佛國立銀行ニ存在セシ商業手
形類ノ拂ヒ期限ヲ延期セザルヲ得ガリシニ依テ其銀
券交換ノ義務ヲ存シテ猶廣ク公衆ノ求メニ應セシム
ルハ夫レテ望ム可カラザルニ至レリ
又此制ハ此ノ如キ一時ノ困難ヲ救フニ因ラスシテ別

原因ヲ有スルトアリ政府臨時ニ歳資ヲ得ント要ス
ルカ為ノニスル者是ナリ(其二)即今兵乱等ノ為ニ經
常歳資ヲ以テ補足ス可カラザルノ時ノ類ナリ凡ソ之
位通用ノ奈令ハ際于此原因ニ依ルモノ多シ而シテ此
場合ニ臨テ政府ヲシテ此奈令ヲ行フニ至ラシムルノ
理由ハ其情狀一ナラザルト後ニ詳ナリ惟タ要スルニ
此場合ニ於テハ債主ヲ指定セズ利子ヲ拂ハズ必從ノ
性質ヲ以テ契約セル公債タルニ外ナラザル者ナリ
政府定位ノ通用ヲ行ハントスルニ方リ其方法ニ様ア
リ或ハ其需用ノ金額ニ對スル銀券ヲ直チニ発行スル

トアリ或ハ其需用ノ額ニ對シテ銀行ヨリ其銀券ヲ發
行セシメテ之ヲ支用スルトアリ其銀行ヨリ發行セシ
ムルトハ即チ豫メ法律ヲ以テ定メタル定限外ニ於テ
銀券ヲ公發スルヲ許スノ謂ニシテ此場合ニ於テハ正
貨引換ノ法ナキヲ以テ自然惟タ政府ノ信用ニ憑ルノ
小更ニ他ニ持ム所ナカルベシ之ヲ要スルニ其政府ノ
直接發行ニ係ルモ又タ銀行ヲシテ發行セシムルモ其
方法ハ到底指名ナキノ債主ヲ募リ必從ノ法ヲ以テ公
債ヲ為スニ異ナラズ而シテ其債主ハ終ニ其子銀ヲ受
クルト能ハザルモノナリ就中政府直接ノ發行ニ係ル

モノ、如キハ尤モ無利于必制ノ公債タルノ明白ニ知
ルベシ已ニ其債主ヲ定メ必制ノ法タル以上ハ彼ノ
工業受買人公債証券所有者官吏及其他都テ政府ヨリ
年金俸給ノ類ヲ受クベキ者正貨ヲ以テ其拂出ヲ受ケ
ズシテ定位ノ銀券ヲ受領セザルヲ得ズ又公衆ト云ヘ
氏普ク正貨ニ代ヘテ此銀券ヲ通用セザルヲ得ザルモ
ノトス而シテ其債主ヲ定メザルヲ以テ固ヨリ其名ヲ
記セズ其人ヲ定メ不加之ナラズ其人ノ心衷自ラ政府
ニ對シテ金額ヲ貸付シタルノ意ナクシテ過クルモノ
取モ多シトス其債主ニ對シテ其金額ノ利息ヲ拂ハザ

ルモ其理亦從テ明ナリ
政府直々ニ之ヲ發行セズシテ銀行ヲレテ之ヲ發行セ
シムルハ其外免ハ相異ナリト雖氏其事理ニ至テハ
全ク同一轍ニ出ルモノナリ此場合ニ於テモ亦其實ニ
債主ノ地ヲ占ムル者ハ前項ノ場合ト同ク其指名ナク
其人ヲ定メ不其債主ハ必制ヲ受ケテ通用シ且其子
銀ヲ受クルヲ得ズ惟タ其債主ノ名アル者ハ銀行ニシ
テ其債主ノ美アル者ハ則チ公衆タルノ差別ヲ立ツル
ヲ要ス蓋シ其銀行ヲ以テ債主ノ名アルニ過キズトス
ル所以ノモノハ其發行スル所ノ銀券ノ歩割リヲ引カ

ズレテ直々ニ其元金額ヲ以テ政府ニ交付シ且其券面
ノ金ヲ交換スルノ義務ヲ擔當セザルニ依ル蓋シ政府
公衆ニ對シテ之カ通用ヲ必制スルニ非スニハ銀行ト
云ヘ氏善ク如此キ銀券ヲ發行シテ其通用ニ支障ナカ
ラシムルノ^力アラザルベレ要スルニ此銀券ハ實際改
府ヨリ通用セシムルモノニシテ此場合ニ於テハ銀行
タルモノ政府ト公衆トノ間ニ媒介トナリ公衆ノ為メ
ニ保証トナリテ以テ公衆ヲシテ此銀券ヲ收受セシメ
以テ負債募集ノ必制ヲ蒙ラシムルモノナリ而シテ銀
行ハ其發行券ニ銀行ノ名ヲ署記シテ之ヲ政府ニ交付

スルヲ以テ政府ハ則チ之ニ對スル報酬金ヲ銀行ニ支
給ス之ヲ利銀ト通稱スト雖氏素ト銀行ヨリシテ其元
金ヲ政府ニ納レタルニ非レハ實ハ名実相適ハザルモ
ノト云フ可シ若シ之ヲ事實ノ真ニ就テ謂フハ銀行
ニ於テ政府ト公衆トノ間ニ中立媒介タリレ手数料ト
シ若クハ其券面ニ行名ヲ記署シテ以テ公衆ニ對シテ
保証タルノ代價ト稱ス可キモノナリ又若シ政府破産
ヲ為ス下アルニ至テハ其禍ニ自ラ銀行ニ牽連スベキ
ヲ以テ其危峻ニ臨ムノ報償ト云フ可キナリ而シテ実
ニ其元金ノ債主タル者ハ指名ナクテ定リナクシテ日々

大
文
宮

其銀券ヲ授受シ所有スル所ノ者ニ在リトス
然ルニ今日多クノ邦ヲシテ此定位銀券ヲ發行スルニ
至ラレシメタル所以ノ者ハ何等ノ理由アリテ然ルヤ蓋
シ主トシテ其理由トスル所ノモノ三アリ其一政府カ
臨時急速ニ巨大ノ金額ヲ得ントスルニ方リテ租稅ヲ
課スルモ又ハ通常公債ヲ募ルモ少時ニシテ之ヲ得難
キニ在リ其二政府此金額ヲ得ルニ當時ノ相場ヨリモ
低下ノ利銀ヲ以テセント欲スルニ在リ其三正貨ノ額
甚ク國內ニ欠乏シタルカ為メ一時法律上ニ於テ之
ニ代用スヘキモノヲ發行スルヲ要スルニ至ルニ是ナリ

此他又一ノ原由アリ巨大ノ銀行ヲ以テ傍ラ國庫ノ供
用ニ應スルノ業務ニ任スルモノ、如ク視ルノ惡習自
ラ多クノ邦ニ行ハレ遂ニ此銀券發行ノ方法ヲ促スニ
至ル無事隆盛ノ時ト雖氏往々此銀行ヲ恃テ國庫ノ供
用ヲ給スルトアリ其有事ノ日ニ方テ此方法ヲ恃ムモ
亦敢テ異ムニ足ラザルナリ
以上記スルカ如ク多クノ邦ヲシテ遂ニ此定位銀券ヲ發
行セシマルニ至ルノ理由ハ令具是非得失ニ論及スル
トヲ為スト雖氏常ニ此方法ニ隨從スルヲ免レザル所
ノ成迹ヲ論スルニ至ラハ自ラ此方法ノ果テ實地ニ緊

大
文
宮

要ナルヤ否ヲ知ルヲ得ベシ然レ氏茲ニ一言スベキモ
ノアリ國家大ニ事アルカ如キ或ル場合ニ方テハ定位
発行ノ法大ニ其功益アリトス蓋シ此法ニ據ルハ若
千ノ金額立キトコロニ辨スベクシテ課租又ハ募債ノ
方法ヲ以テスルハ遂ニ其目的ヲ達スルヲ能ハス假
令一其目的ニ達スルモ甚ク遅緩ス可ケレハナリ常テ
千八百七十年普佛ノ戰爭中ソールノ代官カ公債ノ方
法ヲ以テセシキハ二億餘ノ金額ヲ得ルモ猶ホ甚ク易
シトセス遂ニ八朱以上ノ利銀ヲ拂フニ至リシト雖氏
佛國立銀行ノ定位銀券ヲ発行セシニ至テハ其相場ヲ

低下スルニ及ハズシテ猶能ク五倍ノ金額ヲ得ルニ易
タタリシト云フ此場合ノ如キ實ニ此発行ノ為ニ國
家ニ損害ヲ為スヲナクシテ却テ裨益アルヲ鮮クニ非
ラザルナリ又一面ヨリ之ヲ視レハ千八百七十一年千
八百七十二年ノ二回ニ於テ大ニ公債ヲ募リタルノ後
ナリト雖氏猶ホ千八百七十三年ニ至テ十五億餘ノ公
債ヲ募リタルハ當時ニ於テ佛國政府ハ直クニ佛國立
銀行ニ其立替金ヲ償却シテ其定位発行ノ法ヲ廢止ス
ルヲ得可カリシト雖氏政府ハ猶數年間此発行ノ法ヲ
保持スルヲ以テ利益アリト思惟セリ何ントナレハ公

債ヲ募ラシトスルニハ六米ノ利銀ヲ拂フヘキニ佛國
立銀行ノ銀券發行ヲ以テスレハ百フランニ付九十サ
ンチム即大聖ノ利ニ付テ足レリ(其利銀ハ一米トス
ト雖氏銀行銀券ハ百フランニ付十サンチムノ印紙
税ヲ貼用スルニ付キ今之ヲ扣除ス故ニ九十サンチ
ムトス)依テ政府ハ百フランニ付五フラン十サンチ
ムノ節約ヲ得タリ即チ十一億乃至十二億ノ公債ノ為
ナニハ年々五千万フランノ節約ヲ得タルニ異ナラス
蓋シ佛國ニ於テ如此ク大ナル規模ヲ以テ定位發行ノ
法ヲ施行シ遂ニ其良結果ヲ得レハ實ニ大ナル僥倖ナ
リトス如此キ実験ニ良果ヲ奏シタルハ亦他ニ以例ヲ
見ザル所ナリト雖氏然レ氏世人ヲシテ或ル場合ニ於
テ或ル注意ヲ以テ之ヲ執行セハ必シモ大害ナクシテ
能ク此方法ヲ実行シ得可カラザルニ非ルヲ知了セシ
ム可シ但夕佛國立銀行ノ銀券ト雖氏數週間著シキ低
落ヲ蒙リシトナキニ非スト雖皆ニ三ノ不注意ニ出タ
ルトニシテ今日ニ至テハ之ヲ察見シテ之ヲ預防スル
ニ難カラザルナリ

蓋シ佛國ニ於テ此実験ヲ行ヒヨリ以前ハ定位銀券
ヲ發行セシ事迹一モ凶禍ヲ為サハルモノナレ當時ニ

大
文
宮

在テ自ラ此法ニ役属シ来ル所ノ取モ著顯ナル成果ハ
通貨ノ價格ヲ壓低シ且其高低ヲ紊乱シテ度ナカラシ
ムルニ至ルコト必然ナリト云フモ可ナリキ然ルヲ令
日ニ至テハ自ラ其評語ヲ知ケザルヲ得ズ此法ヲ行フ
テ必ス此危害アリト云フハ猶一條ノ細索ニ歩シテ跳
ル者ハ其結果必ス墮落シテ死スト云フニ異ナラズ細
繩ヲ歩シテ跳ル者ハ墮落スルモノ多シト云ヘハ可ナ
リ墮落スルト必ス然ナリト云フハ未可ナリ故ニ此定位
発行ノ法ハ危害ナキニ非ス又損害ナシト云フ可カラ
ザルモ然レモ深ク注意シ善ク機會ヲ察シテ之ヲ実行

セハ何ソ必シモ之ヲ行フ可カラズトセンヤ
定位銀券ハ銀行ノ発行ニ属スルモ政府ノ発行ニ係ル
モ要スルニ其目的タルヤ通貨ト同一ニ通用スヘキノ
銀券ヲ発行シテ以テ他ニ如此ク輕便ニシテ得難キノ歳
資ヲ國庫ニ得セシムルニ在ルト前ニ述ル所ヲ以テ知
可シ故ニ定位発行ノ法タル其成果ハ既定ノ制限外ニ
銀票ノ通用ヲ擴張シ後テ発行ノ都度益々交換ノ具ヲ
増殖スルニ至ルニ在リ而シテ其銀票ノ通用ヲ増殖ス
ルハ一面正貨ノ通用ヲ減却セルニ依ルモノアリ著ク
佛國ニ実歴セシ所ノ如キ是ナリ然ルニ正貨ノ減却ク

大
文
宮

ルヤ其需用ノ減却セルニ非スレテ兵戰ノ後敵國ニ巨額ノ金ヲ支出スルカ如キ臨時ノ事ニ依テ然ルヲ致スモノナリ此場合ノ如キニ於テハ銀票ノ流通高増殖スト雖其發行ノ金額咸テ増殖ニ係ルニ非スレテ三貨ノ減額ニ代ルモノナリ故ニ交換ノ具タル通貨ノ權衡ヲ保持スルヲ失ハズレテ定位銀行券壓落ノ主要ナル原因ノ一部分ハ已ニ之ヲ免ルヲ得タリト云フ可シ銀行銀券ノ理論ヲ説カントスルキハ甚々繁冗ニ涉ルヘキヲ以テ姑ク之ヲ畧シ惟タ三貨交換ヲ許スノ制度ニ於テハ此銀券ヲ發行スルモ決シテ公衆ノ需用ヲ超

過スルヲ能ハザルノ理ヲ記述スルニ止メントス第一公衆ノ交換ヲ求ムルモノ其需用ノ度ヲ超ユルヲナク平時ニ於テハ銀券ヲ發行スルノ負額モ亦自ラ世間商業ノ繁閑ニ從ヒ其實況ニ應シテ權衡ヲ失ハザルベシ必竟銀行ノ銀券ヲ發行スルハ緊シテ商業手形ノ割引交換ノ為メニスルモノ多シトス故ニ其手形ノ割引交換ヲ求ムル者多ケレハ隨テ銀券ノ發行自ラ多キヲ加フルニ至ルベシ而シテ割引交換ヲ求ムル者ノ多キハ即チ商業ノ大ニ繁盛ナルヲ証スト云フベク商業繁盛ナレハ即チ隨テ通貨ノ増殖ヲ必要トシ或ハ増殖スル

モ支障ナカラシム可シ然ルニ若シ此景況ニ及對シテ
銀行ニ割引交換ヲ求ムル者少キハ即チ商業不振ノ
兆候ト云フベク隨テ銀券ノ發行自ラ減縮スベシ是レ
全ク商業振ハズレテ通貨ノ多キヲ要セザルノ景況ナ
ルニ對セルモノナリ然レド此他銀行ノ兼營スル所ノ
事業ニシテ商業ノ繁閑ニ係ハラズレテ銀券ノ發行ヲ
為サシムルモノアリ株券等ヲ引當ニシテ貸出ス為ス
ノ場合是ナリ蓋シ此貸出ハ市場ノ景況盛ナラザルノ
時ニ多ク行ハル、モノニシテ商業ノ寂モ盛ナル片ハ
甚タ鮮シ經濟上ノ景況變動ノ色アリテ株券ノ類ヲ引

當ニ入レテ多クノ金額ヲ借受ケントスル時ニ於テ多
ク行ハル、モノナリ然レド謹慎ナル銀行ニ於テハ此
類ノ事業ヲ擴張スルヲ慎ミ以テ本業ニ隔離セル餘業
ナリト為スモノ際于皆然リトス
之ヲ以テ觀レハ平時ニ在テ銀券ノ發行セラル、ハ概
于手形割引交換ノ為ニ依ルテ明ナリ故ニ其發行ハ
常ニ幾ハクカ商業ノ繁閑ト通貨ノ充否トノ割合ニ應
ズルハアラザルナリ然レニ政府定額發行ノ法ヲ以
テ銀券ヲ發スル片ハ全ク如此クナルヲ能ハズ必竟此
法ニ依ル、ハ之カ為ニ製シタル銀券ヲ銀行ヨリ改

大
改
宮

府ニ交付シ政府ヨリ公衆ニ頒行スルモノニシテ其存
因タル商業ノ繁閑ニ憑ルニアラズ公衆ノ需用ニ基ク
ニ非ス故ニ其通用スヘキノ理アリテ通用ニ入りタル
ニ非ス通用スベカラズシテ通用セシメタルモノナリ
トス

今此総論ヲ畢ルニ臨テ一言スヘキトアリ定位置銀券ノ
通用ハ必ス正貨通用ノ量ヨリ少カルヘキモノナリ蓋
公衆カ不換銀券ヲ需用スルノ量ハ正貨通用ノ制度ニ
於テ全銀貨ノ需用ヲ要スルノ量ヨリモ少キハ判然疑
ヘキナリ(原注) 既往ノ実態ニ据テ見ルニ定位置銀券ヲ發
行スルハ正貨ハ自ラ外國ニ去リ若クハ銀

行ノ金庫ニ堆積シ若クハ手人ノ手ニ隠藏シテ遂ニ流
通ノ間ニ地ヲ拂ヒ寄テ銀券ト正貨ト同時相通用セシ
ハ併國ニ具例アリト雖モ其他ニ實験ニ据テ見ルニ定
位置銀券ヲ發行スルハ之ヲ受取りタル公衆ハ自ラ之
ヲ以テ商品又ハ株券等ヲ買求メテ之ヲ速ニ交換シ去
ラント欲スルモノ多シトス銀券ハ元来日々ニ其價格
ヲ変動シ易キカ故ニ自ラ之ヲ蓄積スルモ少ク只日用
必須ノ金額ヲ有スルノミ其他ハ皆之ヲ他ニ譲ラント
スルニ至ル正貨通用ノ制度ニ於テハ何人ト雖モ皆自
ラ金銀ヲ蓄積セントスルヲ以テ其景況甚相同シカラ
ザルナリ

定位銀券ヲ發行スルノ方法二種アルトハ已ニ前ニモ述ヘタルカ如クニシテ其一ハ政府ヨリ直ニ銀券ヲ發行シ法律上其稱價ノ定額ヲ以テ交換セシムルモノ又他ノ一ハ銀行ヨリ不換銀券ヲ納付セシメ之ヲ以テ公眾ノ通用ニ付シ正貨ト同ク其稱價ヲ以テ交換セシムルモノ是ナリ然レテ此ニ種ノ方法ノ中第二ノ方法尤モ英佛諸國ニ行ハレタリ故ニ今先ツ第二ノ方法ヨリ記述セン蓋シ近世歐洲諸國ノ銀行ハ其起源多クハ兵乱ノ後ニ出テ若クハ政府ニ貸出ヲ為シタルニ因レルハ經濟上ノ史乘中取顯著ナル事迹ナリ

英國銀行ノ創立ハ際子隱秘ノ間ニ於テ不正ノ所行ヨリ成立テリ蓋シ他ノ必須慈仁ノ設営又ハ改良ト雖氏際子亦此數ヲ免ル能ハス要スルニ詐術ヲ以テ起レリト云フモ可ナリ其起源ヲ觀ルニ維廉三世王ノ朝佛國ト矣端ヲ開カントスルニ際シテ巨萬ノ軍資ヲ要シ為メニ高利ヲ以テ公債ヲ募リ若クハ課税ヲ新案スルト不少ト雖氏遂ニ之ニ充ツルニ足ラズ是ニ於テ低利ヲ以テ許多ノ金額ヲ得ルノ方法ヲ考察セリ乃チ千六百九十四年議院ニ於テ法章ヲ立テ麥酒税噸税等ヲ課スルノ權ヲ以テ國王ニ容セリ然ルニ其法章中ノ一條ニ

八分利付ヲ以テ百二十万磅ノ金額ヲ政府ニ立替ヘ貸
與スルモノハ或ル褒酬ヲ行ハント約セシ條項ヲ記入
セリ而シテ其約束ニ應シテ數日間ニ其前貸ヲ為セシ
一會社アリ是レ後日英國主銀行トナリシモノナリ
由之觀之宇内ノ最モ鞏固ナル一大銀舗ノ設営ハ其起
原實ニ經濟ノ必須ヨリ起リタルニアラズシテ王室ノ
都合ニ出テタル計策ニ基ケリ蓋シ近世諸國ノ富利便
ナル進步ノ事業ナリト雖氏一時ノ政畧若クハ當時君
主ノ意ニ任テ卒然成立スルモノ多クレテ學理ノ進步
公論ノ開達ニ出テガハハ抑近代諸國ノ勢ヒナリト云

フモ可ナリ維尼斯國銀行ノ如キ英國銀行ニ先キタツ
丁數百年ナリト雖氏亦政府ニ貸金ヲ為シタルニ起因
セリ即千七百七十一年維尼斯國偶々土耳其ト事アル
ニ際シ該國ノ一商行其政府ニ巨額ノ金銀ヲ貸與セル
ニ因テ遂ニ此大銀舗ヲ設立スルニ至レリ佛國主銀行
ノ根原タル舊割引交換銀行モ亦其起原ハ不正ノ事ニ
出テ且我前朝ノ貸與金ニ關係セル者ナリ
諸大國ノ銀行孰モ英國主銀行ハ其起原ノ汚点如斯ク
レテ遂ニ之ヲ以テ政府ノ銀庫ノ如ク若クハツクモ政
府ノ指使ニ應セルモノ、如リナラレハハノ景況ハ實

ニ今日ニ連續セリ殊ニ此設営ト其側ニ在テ其上ニ立
ツ所ノ政府トノ間ニ是夕密接セル關係ヲ有セルヲ以
テ見ルモ尚ホ其景況ノ結果タルヲ知ルニシ
抑々英國立銀行ノ創立セシキハ之カ為メニ大ニ他ノ
猜忌ヲ惹起シ相責メ相告グル者少カラザルニ至レリ
昔ハ金銀工匠等ニ於テ割引交換又ハ貨物及株券等ヲ
引當ニシ若クハ金銀等ヲ預リテ貸付ヲ為スノ業ヲ營
ミシカ故ニ此銀行ノ創設ニ付テハ竊モ甚ニキ攻撃ヲ
企テ此恐ルニキ競業者ノ生シタルヲ視テ是夕快カラ
ズトセリ

又一方ニ於テハ政事家タル者説ヲ為レテ曰ク銀行ノ
大ナル者ハ共和政治國ニ於テスルニ非レハ行レ難シ
主君ノ政アル國ニ於テハ其銀行自ラ君主ノ為メニ專
管セラレ遂ニ其吞入スル所トナルノ危峻ヲ免レズ然
ラズンハ銀行ニ於テ君主ノ權ヲ專管吞入スルトアラ
ントス要スルニ壞俗專恣ノ具タルヲ致スベシ云々ト
是當時此設立ニ對セル言論ナリ
如斯キ理由アルヲ以テ當時國庫ノ經濟如此ク急ヲ告
ケガリセハ必ス此理ヲ貫キテヒリヤム、パツテルソ
ノ法案ハ之ヲ他日ニ延期ス可カリシナラシ然レハ英

國立銀行ヲ創設セシ法章ヲ見ハニ嫉忌又ハ不信ヲ抱
ケル條歟アラザルナリ蓋シ該銀行ハ一モ其特權ヲ有
スルナク其五約書ハ甚ク廣漠ニシテ其域殊ニ畫限ナ
シ其條中尤モ注意ヲ要スルモノアリ茲ニ抄録ス英國
立銀行ノ管長並會社ニ於テ營業スルヲ得ルノ事業左
ノ如シ金銀ヲ備入並ニ預ル事商業手形ヲ割引交換ス
ル事金銀其他鑛物ヲ賣買スル事貸出金ヲ以テ預リタ
ル物品ニシテ定期ニ償却ナキモノヲ賣却スル事通貨
ヲ貸付ケ及其貸出金ノ引當トシテ物品又ハ株券ヲ受
取ル事如此クナルヲ以テ銀行ト云ハ其初ノハ專有

權ヲ掌有セス惟ク通常ノ商人ニ於テ其創設以前ヨリ
及其以後ニ於テ現ニ營業セル所ノ事ヲ以テ同ク共ニ
營業スルノ權ヲ有スト云フニ過キザルナリ
又尤モ注意ヲ要スル所ノモノハ英國立銀行創設ノ法
章中「バンクノト」即ち貨ト同ク通用スヘキ兌換銀券
ヲ發行スルノ權利アルノ條ヲ見ザル是ナリ蓋シ當時
ニ在テハ無名銀券ヲ發行スルノ權ハ甚ク緊要ナルヲ
今日ニ於ケルカ如ク視認ノラズ且前述ノ法章中ニ
記シタル他ノ事業ニ隨テ自ラ生スヘキノ事トセラレ
タルカ如シ

英國立銀行ハ其始ヨリテ資金ノ金額百二十万磅
即三千万フランヲ以テ政府ニ貸付レタリ是レ其創業
ノ失策ニシテ遂ニ憂フヘキノ結果ヲ生レタル所以ナ
リ銀行ニ於テ銀券ヲ発行レテ之カ通用ヲ易カラレノ
之カ價格ヲ墮サ、ラニムルノ最良ノ保障ハ奈何ニ
方法ニアリヤノ問題ハ屢ニ世議ヲ起シタリ然レニ其
議失誤シカラズ其說ヲ見ルニ銀券ノ價格ヲ壓落セサ
ルカ為ナニハ銀行ノ資金ヲ鞏固ニスルヲ以テ是レリ
トスト云フ者アリ銀行ノ庫中ニ無定期ノ國庫公債券
ヲ多ク蓄積セハ最良ノ保障ナリト云フ者アリ是レ蓋

大ナル誤ナリ其銀行ニ尤モ必要ナル者ハ獨リ資金ヲ
鞏固ニスルヲミナラズ其準備スル所ノ資金何時ニテ
モ急遽ノ需用ニ應スヘキヲ要スルナリ故ニ若レ銀行
ニ於テ鞏固ナル資金アルモノノ多分ヲ以テ既ニ政府
ノ手ニ委付レテ自ラ其金額ヲ融通使用スルノ便ヲ放
擲レタル以上ハ假令ヘ政府ハ信用ヲ保持スル薄カ
ラガルモ其銀行ニ在テハ經濟上ノ変動ニ對レ及具銀
券ノ低落ヲ妨クノ保障ヲ失ヘルモノナリ
故ニ銀券ヲ発行セル銀行ハ可及的何時ニテモ使用ス
ルノ權利アル資金ヲ準備スルヲ必要トス若レ不動産

ヲ購買レ或ハ永期債却ノ効ヲ以テ政府ニ貸付シ古キ創設
ニシテ巨額ノ資金ヲ有スル銀行、佛國主銀行ノ如キハ
其資本金ノ全額若クハ多分ヲ以テ永久ノ約ニテ政府
ニ貸付スルハ必スアルモ新創ニ保リテ世間ノ信用重
テセシムルニ非レハナリ尤モ新創ニ保リテ世間ノ信用重
カレモ知ルル銀行ニ在ラズ或ハ數月以上ノ永期ノ約ヲ
以テ商業ノ為メニ貸出金ヲ為ス等ノ為メニシテ多分
ノ資金ヲ擲テ自己ノ融通外ニ置クカ如キハ到底危峻
アルヲ免ル可カラザルナリ之ヲ要スルニ容易ニ使用
ノ路ナキ保障ハ假令ヘ有リト雖其用少レ故ニ其發
行スル所ノ銀券ノ低落ヲ防クニ足ラザルナリ試ニ見
ヨ英國主銀行ハ其保障トシテ最上ノ商業手形並ニ英

國エシキエ官名ノ負債証書アリト雖其証書ハ急遽
融通ノ便アルモノニ非ルヲ以テ遂ニ其銀券ハ千八百
年代ノ初メニ於テ二割五分餘ノ損失ヲ致セリ
是ヲ以テ見ルニ千六百九十四年創立ノ時ニ於テ三千
万フランノ資金ヲ老舊政府ニ貸出シタルコソ實ニ英
國主銀行ノ不幸トハナリナレ依テ該銀行ハ當時營業
スルノ自金ナキヲ以テ尤ノ方法ニ依テ營業スルノ外
アラザルニ至レリ第一取引人ヨリ銀行ニ預ケ置ク所
ノ金額ヲ借用スルハ第一バンクノトヲ通用セシメ
若クハ利息付キノ銀券ヲ發行スル事第三商業手形ヲ

本
文
宮

割引交換スル事是ナリ

蓋シ厚キ信用ヲ負フヘキ大銀行ヲ設立スルノ緊要ナルハ當時世議ノ普ク感觸セル所トナリタルヲ以テ英國立銀行ノ如キモ遂ニ一「ペン」ノ使用スベキモノナクシテ空手ニシテ數月間其事業ヲ営ムトヲ得タルナリ然レ氏幾クモナクシテ變動ヲ現出シ久シカラズシテ其景況ヲ一變セリ今六百九十五年始メテ其事業ヲ開キシ年内ニ於テ已ニ其發行銀券ノ兌換ヲ停止スルノ已ムヲ得ザルニ至レリ然レ氏此時法律ノ之ヲ許レタルモノアルニ非ス惟タ通貨改鑄ノ為メニ貨幣ノ

欠乏ヲ為セシキタリレノミ而シテ銀行ハ終ニ其「ペン」クノ「ト」ニ代ルニ利息付ノ銀券ヲ發行シテ以テ此一時ノ變動ニ堪ヘタリト雖氏遂ニ一割二分ノ損失ヲ来シタリ於茲テ該銀行ハ其資金ヲ増加シテ此困難ヲ免レタリト云フ

英國銀行ニ於テハ特リ其創立ノ始ニ於テ資金ヲ政府ニ貸付シ融通ノ便ヲ失フノ誤リアリレノミナラス遂ニ此失誤ハ永ク該銀行ノ常慣トナリ多年如此キ不便アルヲ見タリ

今其政府ニ貸出ヲ為シタル例ヲ枚舉スレハ先ツ千六

百九十四年創立ノ時ニ於テ資本ノ金額百二十万磅ヲ
政府ニ貸付シ千六百九十七年一時ノ約ヲ以テ百万磅
ヲ貸付シ千七百〇八年ニ無利子四十万磅ヲ貸與シ且
千七百三十二年迄其特權ノ延期ヲ容サレタリ然レテ
其後延期相繼ク毎ニ多少ノ貸付ヲ為シ遂ニ如此クシ
テ千七百八十年ニ至リ千七百八十一年ニ於テ銀行ノ
新法ヲ更正シ且更ニ三分利付ヲ以テ二百万磅ヲ納付
シテ千八百十二年迄會社存置ノ延期ヲ受ケタリ然ル
ニ此更正ノ時即英佛開戦ノ前日ニ至ルマテ逐次定制
シテ政府ニ貸渡シタル金額合計一千百六十四万二千

磅ニ上レリ即佛貨ニ億九千百万フランニ當ルノ額ニ
シテ是レ實ニ我佛國主銀行現今ノ資金ニ比スレハ其
超過セルト甚多トス
以上記スル所ノ英國主銀行ノ政府ニ對スル貸出ハ此
時ヨリ以テ後ニ属スル貸出ニシテ遂ニ之カ為ニ定位
通用ノ法ヲ行フニ至ラレタリ者トハ其方法大ニ異
ナリカノ英國主銀行カ政府ニ貸出シタルハ其資金ノ
ミニ止ル故ニ其銀行ヨリ貸出ラ為ス毎ニ其金額ハ則
チ其資金ノ額ヲ増殖スルノ姿トナレリ而シテ其貸出
シタル金額ハ前日ヨリ今ニ至ルマテ固ヨリ償却ノ期

大
女
宮

アルニアラズ故ニ實際無期ノ年金ノ類ニシテ出入十
キ貸金ナリト云フ可レ

英國立銀行ハ千七百年代ニ在テハ政府ニ其資金ヲ貸
典レタルノミナラズ猶ホ他ノ方法ヲ以テ政府ヲ裨補
セルトシカラス其國債ヲ償却レ國庫一時ノ公債券ヲ
発行スルニ管スル等其他渾ヘテ政府ノ為ニ其理財
上ノ諸件ニ関典レ其預リ金割引交換及契券類並物品
等ヲ引當ニシテ資金ヲ貸出スカ如キノ本業常務ノ外
ニ出テタル餘業ヲ行ヒシトシテセズ

英國立銀行ハ如此ク其政府ノ為ニ裨益ヲ與ヘタル
ヲ以テ政府ハ其報酬トシテ著大ナル利益ヲ享受セシ
メ專有權ヲ有セル會社トナシタリ千七百八年六分ノ
利息ヲ以テ政府ニ貸金ヲ為レタル片其新條例中一條
ノ特權ヲ加フルヲ得タリ其特權トハ凡テ六人以上ノ
會社ニ於テハ即時又ハ六ヶ月以内ニ於テ支拂フベキ
銀券手形ノ類ヲ自ラ發行シテ以テ或ル金額ヲ受取借
入又ハ物ヲ購買スルヲ禁スル是ナリ即チ英國立銀行
ニ銀券發行ノ特權ヲ付與セシ者ナリ然レモ其特權ハ
佛國立銀行ノ特權ニ於ケルカ如ク全然タルモノニ非
ス蓋シ英國ニ於テハ尋常ノ銀行商及其他諸會社ニ於

テ其社負六人ニ充タザルモノハ猶從前ノ如ク即時文
換ノ銀券ヲ發行スルノ權ヲ有シタレハナリ
故ニ英國立銀行ハ千六百九十四年創設ノ時ニ方テハ
其特權ヲ有セザリシカ千七百八年即チ創設ヨリ十四
年ヲ經テ始メテ特權ヲ得タリ其千七百八年制定ノ條
例ハ之ヲ一百餘年ノ間保續シ千八百二十六年ノ法章
ハ即チ千八百三十三年銀行條例更ニ之ノ時確定シタル
モノニシテ更ニ其銀券發行ノ特權ノ定域ヲ區限シ龍
動ヨリ六十五英里即百〇四キロメートル四方ノ地ニ
限リテ特權アリト更定セリ故ニ此時ヨリ以來ハ英國

内六人以上ノ諸會社等英京ヨリ數里外ニ於テハ皆往
昔ノ如ク銀券發行ノ自由ヲ得タリ
今亦節所論ノ主旨ヲ記述センカ為メ更ニ英國立銀
行創設以來ノ軍モ危難ニ臨ミ軍モ利害ノ大關係ヲ有
スル變遷ノ狀即チ千七百九十七年ヨリ千八百二十一年
ニ至ルノ間ニ遭遇セシ事述ラ際述セントス此時ニ際
シテ恰モ英佛二國ノ間兵端ヲ開キ戰甚ク劇ナリ而シ
テ英國ハ之カ為メ自國ノ兵軍戰艦ノ支給ヲ要スル
而已ナラズ厚ク同盟諸國ノ為メニ補助金ヲ給セシヲ
以テ其軍費ノ夥キ實ニ前代ニ聞カザル所ナリ而ルニ

此諸費ヲ支辨スルノ方法或ハ公債ヲ募リ或ハ新稅ヲ
課スルモノ是ヲ鮮シラズト雖氏尙未タ其全費ヲ充
足スルニ及ハズ加之募債課稅ノ方法ニヨルカ如キハ
其金額ヲ收受スルノ遲緩アルヲ免レズシテ其時期ニ
臨テ直ニ需用ニ應ジ得ルノ道ニアラズ然レ氏兵ノ
事ハ機ニアリ其費用亦其急ヲ要ス故ヲ以テ英國財務
大臣ハ國庫ノ一時公債手形ヲ發行シ國立銀行ヲシテ
盛ニ割引交換ヲ行ハシメタリ而シテ國立銀行ノ如キ
ク政府ノ為メニ立替タル金額ハ一般ノ商業ノ為メニ
シタル割引交換ノ四倍ニ及ビ遂ニ該銀行ハ是ヨリシ

テ其本色ヲ失ヒ常業ノ外ニ出ツルニ至レリ
凡ソ一國政府カ國事多難ノ日ニ際レテ一銀行ヨリ巨
多ノ資金ヲ借受クルハ緊シテ低利ノ銀ヲ得ニカ為メ
ナラズシテ多クハ臨事急遽ノ便ニ應スヘキカ為メナ
リ公債ヲ募集シ若クハ租稅ヲ課スルモ固ヨリ許多ノ
銀ヲ得ザルニ非スト雖氏事ニ臨テ即時ニ得ルノ便ア
ラザルヲ以テ銀行ニ托シテ一時ノ便ニ供セシムレハ
直ニ其費途ニ應スルヲ得ヘクニハナリ故ニ近代諸國
ニ於テ一朝兵軍ノ起ルニ方テハ普國ノ慣例ニ於ケル
カ如ク豫メ軍資ヲ備フルノ國ヲ除クノ外大抵國立銀

太
女
宮

行ニ約シテ大ニ募債ニ及其銀券ノ定位通用ヲ發令ス
ルニ至ルノ外ナカルベシ殊ニ佛意澳等ノ諸國ニ於テ
ハ其定位通用ノ令ヲ發スルノ已ムヲ得ザルニ至ルヲ
待タズ兵亂アルニ方テ具始メヨリ此處分ヲ施ス
リ戰時ニ於テ政府ヨリ銀行ニ向テ一時ニ莫大ノ金額
ヲ借受ケントスルハ政事上ニ於テ幾クカ其利益アル
コトナレトセズト雖氏之ヲ經濟上ヨリ視ルキハ其害
重クレテ且永ク遂ニ社會ノ全體ヲ顛覆スルヲアルニ
至ラントス故ニ此点ヨリ論スレハ寧ロ極テ利銀ヲ高
クシテ公衆ヨリ募債シ其速ニ應募納金スルモノハ益

其利ヲ得セシムルノ法ヲ施サハ却テ之ニ優ルベシ然
ラズンハ時機ニ依テハ國庫一時ノ債券ヲ發行シテ之
ヲ内外銀商ニ取引セシムベシ是蓋シ定位通用ノ法ニ
優ラン

定位通用ノ法之ヲ行フノ始メヲ知リテ之ヲ發スルノ
終ヲ知ラザルモノ蓋シ際子然リトス既往ノ實歴ニ依
テ見ルキハ國家多事ノ日ニ際シテ此處分ヲ施シタル
國ニシテ七八年ヲ經スレテ乃至甚レキハ十五年二十
年ノ久レキヲ經スレテ正貨通用ニ復シタルモノハ殆
ント稀レナルヲ實証セリ惟佛國ハ曾テ此定位ノ法ヲ

施シ三四年ヲ経テ之ヲ廢シタリ是今日ニ至ルマテ他
ニ其例アルヲ知ラザル所ナリ然レ氏佛國ノ設例ハ絶
テ他ニ類例ナク却テ數十年ノ久シキヲ經過シテ猶廢
セザルノ例少カラザルヲ以テ佛國ノ例ハ世人ノ着目
スル所トナルト自ラ少レトス

英國ニ於テハ定位通用ノ法ヲ実行セシテ實ニ二三月
ニ過キザルモノ、如ク思惟セルモノ多シ故ニ其期限
ナク之ヲ行ヒタルヲ見ハ必ス驚異スル所ノ者アラン
千七百九十七年英國主銀行ノ窮困難ニ遭遇セシハ國
庫ニ貸出シタル金額異常ニシテ遂ニ公衆ノ驚慌ヲ引

起シ其銀券ヲ所有スル者ハ悉ク一時ニ銀行ノ門戸ニ
聚リ争テ其交換ヲ求ムルニ至レルニ依レリ而シテ國
庫ニ貸出シタル銀行ノ資金ノ外國庫ノ銀券ニ就テ主
替タル貸金額ハ七百五十八万五千六百四十五磅即佛
貨一億九千万「フラン」許ニ止リ銀行ノ庫中ニ藏スル所
ノ金銀等ハ漸ク減シテ僅ニ百二十七万二千磅即佛貨
三千二百万「フラン」ニ過キザル金額トナレリ然カモ此
徼々タル金額ハ數日ヲ出テズシテ消散シ去ラントセ
リ茲ニ於テ英廷ノ内閣ハ千七百九十七年二月二十六
日ヲ以テ議院ノ議ヲ請フ迄ハ英國銀行ノ正貨拂出ヲ

停止スルノ已ムヲ得ザル旨ヲ布令セリ
然ルニ千七百九十七年三月三日即前ニ言フ所ノ内閣
ノ布令アリシヨリ五日ニシテ該銀行ハ二磅乃至一磅
即佛貨五十乃至二十五「フラン」ノ銀券ヲ發行スルノ許
可ヲ得タリ従前ハ五磅即百二十五「フラン」ヨリ以下ノ
小銀券アリザリシヲ改メタルナリ蓋シ英廷ハ佛國政
府カ千八百七十年ニ定位銀券ヲ發シタルノ時ヨリモ
一層注意ヲ深クシ直キニ此處分ヲ施シタルナリ必竟
小銀券ヲ發行スルハ正貨ヲ驅逐スルノ法アルヨリ自
ラ隨從シ来ル所ノ成果ナリ是レ金銀貨ハ低落シタル

紙幣ト並ニ行ハレザルニ依レハナリ
千七百九十七年三月三日英國議院ハ此議ヲ付セラレ
乃チ決議シテ英國之銀行カ正貨ノ支拂ヲ回復スルヲ
一時免除シタリ然レ氏其支拂ノ停止ハ決シテ廣ク一
般ニ及ハズ又全躰ニ及ハズ二十志ニシテ以下ノ金額ハ尚ホ
正貨支拂ヲ為スノ法タリ又預メ銀行ニ五百磅以下ノ
正貨ヲ預ケタル者ハ其預ケ高ノ四分ノ三ハ正貨ヲ以
テ引出スヲ得タリ然レ氏此議決ハ五十二日間即千七
百九十七年六月廿四日迄ヲ期シテ行フノ筈タリレ此
期ヲ經過セハ必正貨通用ノ常躰ニ復スベシト自信シ

大
文
宮

タレハナリ然ルニ其六月二十二日即其期限二日前ニ
至テ更ニ法案ヲ議定シ議院次期ノ初月末ニ至ルマテ
正貨支拂ノ停止ヲ延期セリ然レ氏千七百九十七年十
一月ニ至リ議院ハ復タ議定シテ英佛和成ルノ月ヨリ
六ヶ月目ノ末ヲ期シテ更ニ延期ヲ為シ千八百二年ニ
アミヤン^{名地}ニ於テ兩國和成レリ然レ氏議院ハ又千八
百三年ニ至ルマテ此定位通用ノ法ヲ存置スルノ旨ヲ
議定セシカ千八百三年ニ至ルモ猶其議定ノ如ク履行
スルヲ能ハズレテ更ニ同一ナル議定ヲ為ス^一二回ニ
及ヘリ其第二回ノ議定ハ和議締約ノ確然タルニ至ル

ヨリ六ヶ月ヲ期シテ之ヲ延期セリ如此ク其戦時ノ中
ヲ期シテ延期シ来リタルニ其和議遂ニ空ク歟クモナ
クレテ復タ矢ヲ開クニ至レリ即チ千八百十五年議院
ハ之ヲ明年マテ延期シ其期年ニ迄レハ又之ヲ千八百
十八年ニ延期シ遂ニ漸ク延テ千八百十九年七月ニ至
リ又千八百二十年二月ニ及ヒ千八百二十一年五月一
日ニ至テ始メテ此停止ヲ解テ正貨支拂ヲ回復セリト
云フ之ヲ以テ見レハ英國ノ定位銀券ノ通用ハ千七百
九十七年始メテ五十二日間ヲ期シテ之ヲ行ヒ後千逐
次數日間ノ延期ヲ議定スル^一頻次ニシテ遂ニ前後二

十四年ノ久シキ此富強ナル英國ノ法トナレリ
其地位通用ノ法カ英國ニ行ハル、間ノ景況ヲ觀ルニ
其二十四年ノ久シキ逐年銀行ヨリ政府ニ貸出ヲ為シ
タリ其總額一千万磅ヨリ昇テ二千八百万磅ニ至ル即
チ佛貨二億五千万フランヨリ七億フランノ多キニ及
ヘリ英國立銀行ヲ發行ニ係ル所ノ銀券ノ額ハ定位通
用ノ法ヲ立ツルノ前千七百九十六年ニ於テハ一千七
十三万磅(即二億七十万フラン)ナリシカ爾後遽ニ年ヲ
逐テ増加シ千八百十五年ニ至テハ二千七百万磅餘即
チ六億八万フランニ昇リ千八百十七年ニ至テハ二千

八百四十七万磅(七億一千二百万フラン)ノ巨額ニ達セ
リ惟タ其以後ハ漸次減却セリ然レ氏茲ニ一ノ失却ス
可カラザルノ事アリ英國ノ銀券ハ英國立銀行ニ於テ
ノミ之ヲ發行セルニ非スシテ其他蘇格蘭愛耳蘭ハ勿
論英吉利本部ノ地ニ於テ巨大ノ銀行アリ殊ニ銀行商
人及六人以下ノ會社等其數少カラズ是皆銀券ヲ發行
セリ故ニ全國ノ諸會社ヨリ發行流通セル額ヲ合算ス
レハ其數前記ノ如キニアラザルナリ蓋シ英國立銀行
發行高ノ二倍ニ至ルベシ且英國當時ノ景況ハ之ヲ今
日ニ比較スレハ民口少ク産業殷富ナラズ故ニ流通ス

ル所ノ交換ノ具モ亦今日ノ如ク多キヲ要セズ思フニ
當時銀券ノ発行額ハ政府ノ需用多カリシト定位通用
ヨリ起ル所ノ投機ノ所為アルカ爲メニ必ス國民必需
ノ度ヲ超過シ其權衡ヲ得ザリシコト蓋シ疑ナレ
經濟ノ學理ニ拠レハ此景況ハ必ス銀券ノ價格ヲ低落
又可キノ理ニシテ又實ニ其低落ヲ爲シタルナリ然レ
氏其低落ヲ爲スヤ初メハ步緩ニシテ殆ニト著シキ觀
ヲ現サ、リシカ其低落ノ勢ハ毫モ断絶セズ步ヲ逐テ
急進セリ其初年ニ方テヤ其低落甚輕ク僅ニ百分ノ一
ニ過キザリキ千八百十年ニ至テハ百分ノ十二達シ夫ヨ

リ數年稍回復ノ勢アリ千八百九年ニ百分ノ十四タリ
シヲ其翌年千八百十年ニハ百分ノ八ニ下レリ然ルニ
千八百十一年ニ至テハ金貨ノ間ニ金又百ニ付二十ト
ナリ千八百十二年ニハ百ニ付キ二十五トナリ千八百
十三年ニハ百ニ付二十九、四分ノ一トナレリ之ヲ最高
度トス即茲ニ至テ英國立銀行ノ銀券ハ價格底ニト三
分ノ一ヲ失ヘリ千八百十四年ニ至テハ百ニ付十四ト
ナリ千八百十五年ニハ十六、二分ノ一トナリ是ヨリ速
ニ退却シテ千八百十七年ニ至テハ百ニ付二、四分ノ一
トナリ千八百二十年ニ及テハ僅ニ百ニ付〇、二分ノ一

トナレリ

之ヲ以テ見ルニ此銀券ノ價格甚シキ高低ヲ為シタリ
ト云フ可シ元來英國立銀行ハ兵發行銀券ノ保証トシ
テ取上等ノ商業手形及英國政府ノ一時公債券ヲ所有
スト雖^然終ニ^幾ニト百ニ付キ三十即チ價格三分ノ一
ヲ損失スルノ甚シキニ至レリ必竟此ノ如ク保障アリ
ト雖^氏定位通用ノ制ニ於テ絶テ保障ノ用ヲ為サズレ
ハナリ而シテ此低落ノ原因凡テ三アリ其一通貨増殖
シテ需用ノ度ヲ超過ス其二政事上安全ヲ闕ク其三外
國ニ兵兵ヲ備ヘ並大陸ノ同盟國ニ補助ヲ拂フニ付金

貨外出ス是ナリ

此三因アリテ緊于前述ノ低落ヲ為スモノナリト雖^氏
細ニ三因中ニ就テ輕重ヲ論スレハ自ラ其^効ヲ均一ニ
セザルモノアリ例ヘハ千八百十三年及千八百十四年
ノ如キ低落ノ取モ甚シキノ日ナリ而シテ當時ノ景况
ヲ觀察スルニ英兵並同盟諸國ノ諸軍ハ魯國及レイプ
シクニ於テ並佛國ノ役ニ於テ全勝ノ利アルノ秋ナレ
ハ政事上ノ安寧ヲ欠クノ日ニアラズ但タ銀券ノ通用
増殖シ及同盟諸國ニ補助金ヲ輸送セシカ為メニ金貨
ノ外出甚シカリレナリ

千七百九十七年ヨリ千八百十四年ニ至ルノ間英國ヨリ其同盟諸國ニ輸送セシ金額ハ大約三千七百万磅餘即佛貨九億二千五百万フラン餘ニ達セリ又其兵ヲ大陸諸國ニ備ヘンカ為ノニハ庶^幾ニト之ニ倍セルノ金額ヲ費セリ如此ク巨額ノ費用ヲ要セシヲ以テ其金貨ノ外出セシハ莫ニ鮮少ニ非ルナリ殊ニ加利福尼並大洋洲ノ銀山ハ當時未夕發見スルニ至ラズ烏拉嶺鑛山ノ發掘モ亦猶未夕盛ナラザルノ時ナレハ金屬ノ源洵今日ノ如ク富^ノルニ非ス又一方ヨリ視レハ當時此戦乱ニ際シテ歐洲諸國ノ諸市皆閉鎖シタルノ姿ナレハ英

國ノ此損失ヲ補償セントスルモ商品ヲ輸出スルノ道アルニ非サルナリ又英國ニ於テハカノ佛國カ償金ヲ拂フノ道ヲ得タルカ如キノ財源ヲ有スルニ非ス其財源トハ則チ動産ニ屬スル株券ノ類ニシテ英國ハ當時未夕此設ケ盛ナラザレハ此時ニ臨テ之ヲ輸出スルコト能ハズ早當時尙ホ萬國ニ通スル券証ノ類アラズ又外國ニ債ヲ募ルノ道アラズ如此クナルヲ以テ千八百七十年七十一^年ノ際ニ於テ定位銀券ノ法佛國ニ害少キニ拘ラズ千七百九十七年ヨリ千八百十九年ニ至ルノ間ノ英國ニ於テハ定位銀券ノ害アリシハ其理之ヲ以

テ明瞭ナルヲ得ベシ

又此二十四年ノ間行ヒタル定位銀券ノ利害ヲ經濟上ヨリ觀察スレハ其損害タル亦實ニ明瞭ナリ彼ノ交換ノ具タル銀券ニ二割乃至三割ノ減差ヲ生セシハ貿易上甚シキ妨害アリ商況變動シテ安固ナラサルヲ以テ永久ノ事業ヲ企圖スルノ道ニ使ナルヲ能ハズ且投機ノ念從テ盛ニ起ルニ至レリ然ルニ此景況ハ今日ニ在テハ甚シキ損害アルベシト雖氏當時外國貿易及外國ノ交際今日ノ如ク繁密ナラザルヲ以テ具損害モ亦自ラ今日ノ如キノ甚シキヲ致サ、ルナリ

又一面ヨリ觀レハ英國ノ為メニ定位銀券ノ損害ヲ輕クシタルノ事情アリ一時ノ事ニ屬スト雖氏亦實ニ英國ノ幸ナリ即チ英國ノ為メニ一大産業ノ發明ヲ得タル是ナリ其一大産業トハ即チ綿麻及毛布ノ紡絲機ノ發明成功シ、鹹ニ其業ヲ振張シタル是ナリ而シテ此時恰モ蒸氣運轉器ノ妙用亦創造ノ功ヲ奏シテ之ヲ諸器械ニ實用スルニ至レルノ日ナレハ此産業大ニ勢カラテ得テ商況ヲ一變シタルヲ以テ為メニ幾分カ定位銀券ノ大害ヲ輕減スルヲ得タルヲ明ナリ然レ氏要スルニ定位銀券ノ制ヲ施シタルカ為メニ著シキ損害ヲ蒙リ

變遷ニ遭遇セリト云ハ夫レテ謬見ニ非ヤルナリ

政府自己ノ損益上ヨリ論スレハ此定位ノ法ハ到底損
失ニ屬セシテ疑ナレ假令銀行ヨリ巨多ノ金額ヲ政府
ニ貸與シ其利銀ハ甚ク低下ナリト雖其巨万ノ金額
ハ皆二割乃至三割ヲ低落セル銀券タリシモ其定位ノ
法ヲ廢止セシ以上ハ之ニ支拂フ所ノ利銀ハ皆低落ナ
キ通貨タラザルヲ得ズ特リ利銀ノミナラズ其負債ヲ
償還セント欲セハ亦必ス其母銀ヲ併セラ通貨ヲ以テ
支給セザルヲ得ズ故ニ借入ヲ為ス毎ニ二割乃至三割
ノ損失アリト云フ可キナリ蓋シ定位通用ノ法ハ極メ

テ謹慎ヲ用ヒ特ニ價格ノ高低ヲ防止スルニ足ルノ事
状アルニ際シテ施行スルニ非レハ寧モ損失多ク寧モ
敗滅ヲ招クベキノ法ナリトス何ントナレハ全國ノ人
民皆通貨ノ高低ト永ク前途ノ景状ヲ豫期スルヲ能ハ
ザルノ故ヲ以テ自ラ其産業ノ活動カヲ毀損スルヲア
ルニ至ルヘシ惟タ政府ニ於テハ他日正位ノ通貨ヲ以
テ償辨スヘキノ金額ヲ低落セル銀券ヲ以テ借入ルノ
損失アリ是實ニ自己ノ計策ニ陥リテ自ラ禍ヲ招ケル
者ナリピットカ定位銀券ノ法ヲ以テ金山ヲ發見セリ
ト評セシハ其平生ノ卓見ニ似ザルノ言ナリト云フ可

三而シテ英國カ此困難ニ遭遇シタル
而シテ英國カ此困難ニ遭遇シタルノ後
終ニ困難ヲ脱シ得タルノ方法ト是状トヲ觀ルニ
千八百十五年和約始メテ成ルノ日ヨリ英國物産ノ輸出ハ日ヲ逐テ振
張レ遂ニ其盛大ニ達シタレハ金貨ハ陸續輸入シテ英
國ニ堆積シ又政事上ノ平安ハ如舊回復シタルヲ以テ
此時ニ際シテ政府ト銀行トニ於テ前途ヲ洞見シ更ニ
政府ニ貸與スルノナク割引交換ノ相場ヲ高クシ且人
民ノ貸金ヲ減シテ以テ銀券ノ流通高ヲ減殺スルヲ勉
メタランニハ必ス早ク正貨通用ノ法ニ復スルヲ得タ

ルナラン然ルニ一方ニ於テハ英廷ノ議ハ尚ホ公債償
却ノ方法ヲ行ントシテ前節既ニ述ヘタルカ如キ無益
ノ法ヲ信スルノ謬見ニ陷レリ於是テ徒ニ此目的ヲ哉
メントシテ又幾多ノ債ヲ負ヒ之カ為メニ是ヨリ勉メ
テ減却スヘキノ銀券ハ却テ之ヲ更ニ増殖スルニ至レ
リ且久トク定位銀券ノ法行ハレタルカ為メニ投機ノ
念ハ自ラ國民ノ意中ニ蔓延シテ憂シ難キニ際シ猶更
ニ銀券ヲ増發シタルヲ以テ益々投機ノ念ヲ起サシメ
タリ
如此キ是况タリレヲ以テ定位銀券ノ結局ハ數年ノ遅

緩ヲ成シタリ乃チ千八百十九年ピール氏ノ議ヲ以テ
法案ヲ草シ漸次正貨支拂ノ法ニ復スルノ議ヲ決ヒリ
於是テ千八百二十年二月ヨリ同年十月ニ至ルマテハ
金一「オンス」ニ付四磅一志ノ相場ヲ以テ正貨ニ交換ス
ルヲ得ナリ但シ千七百九十七年定位銀券発行ノ法ヲ
施スノ前ハ一「オンス」ノ金ハ其價三磅十七志六片半ヲ
リキ即チ銀券ノ所有者ハ金一「オンス」ニ付三志半ノ割
引ヲ以テ銀券ノ價運ヲ請ケ得ルノ姿ナリ譯者案定位
發行ノ前ハ
一「オンス」ノ金價三磅十七志六片半ニシテ此時ニ至テ
ハ四磅一志ニ昇リタレハ其差ハ則チ三志半許タリ是
其差ヲ以テ割引交換即チ百ニ付四分ノ交換料ナリ然
スル如キヲ云フ

ルニ千八百二十年十月ヨリ千八百二十一年三月マテ
金一「オンス」ニ付三磅十九志六片即百ニ付二半ノ相場
ヲ以テ交換シ千八百二十一年五月ヨリ千八百二十三
年五月マテ三磅十七志十片半即百ニ付〇半ノ相場ヲ
以テ交換セリ千八百二十三年五月ヨリ以後ハ其請求
ニ應ジテ直チニ正貨交換スルノ法トセリ而レテ英國
立銀行ハ更ニ其期限ヲ進メテ千八百二十一年五月一
日ヨリ正貨通用ノ法ニ復シタリ
此議決ハ則チ定位銀券ヲ廢絶シタルモノニレテ注意
至ラザル所ナキモ世議ハ之ヲ非難スルモノ頗ル多シ

トス蓋シ爾來跡ヲ逐テ生シタル所ノ困難ヲ見テ以テ
皆之カ責ニ歸シタルナリ抑定位銀券ヲ施シテ其價格
ヲ低落シ之ヲ高低スル片ハ特リ商工業自然ノ進歩ニ
妨害ヲ為スノミニ非スレテ民事上百端ノ關係ヲ顛敗
スベシ若シ夫ノ低落日ヲ逐テ進ムノ時ニ際シテハ負
債者ハ奇利ヲ占ムルノ僥倖アリ低落日ニ回復スルノ
秋ニ方テハ負債ノ責甚ク重キヲ加フ可シ（原注）若シ一
國ノ紙幣甚
シキ低落ヲ經タルノ後ニ貨通用ニ復シタル片ハ民間
貸借ノ負債ハ之ヲ正貨ヲ以テ支拂フニ臨テ其借入ノ
時ノ相場ヲ照シ其差額ハ之ヲ減却スルヲ以テ至當ト
ス若シ然ラズニハ負債者ノ困難實ニ言フ可カラザル
ンモ
トノ
アラ

千七百年代ノ末並千八百年代ノ首メニ方テハ英國ハ
紙幣發行ノ為メニ起リタル損害ヲ蒙ルト尤モ甚クシ
カルベキノ時ナリカノ發行銀券ハ百ニ付二十九、四分
ノ一ニマテ低落シ其昇降モ亦甚ク急遽ノ變動ヲ顯シ
加之其年數亦甚ク久シケレハナリ然ルニ終ニ甚シキ
不幸ニ陷ラズ之ヲ發行セシ銀行モ亦倒産スルニ及ハ
ザリシハ蓋亦幸ナリ然レ氏米佛澳等ノ如キハ然ルヲ
得ズ此三國ニ於テハ定位銀券ノ價直特ニ低減シタル
ノミナラズ全ク其價ヲ失亡シ政府ハ其約ヲ履行スル
ト能ハズ公然倒産ノ失敗ヲ為スニ至レリ而レテ其定

位銀券ノ損害ハ此三國ニ在テ英國ヨリモ更ニ甚シカ
リレ所以ノ者ハ其原因數多アリ惟フニ此三國當時ノ
執政家ハ之ヲ英國ノ執政家ニ比スレハ其識淺クシテ
事ニ輕動シ且自ラ事ヲ好ミ權ヲ弄スルノ弊ナキ能ハ
ズ且英國ノ定位銀券ハ政府ヨリ直ニ發行セズシテ私
立ノ設営即チ大銀行ヨリ之ヲ發行セシメタリ故ニ其
銀行ノ管理人ハ自ラ自己ノ利害ニ係ルヲ以テ其發行
銀券ノ定限ヲ弛放セズ其價格ノ低落ヲ防クニ急ラサ
ルナリ然ルニ此三國ニ在ラハ之ニ及レテ政府ヨリ之
ヲ發行セリ故ニ政府ハ自ラ銀行ノ管理ヲ自ラスルカ

如クニ親切ナル一能ハズ業務ニ明博ナル一能ハズ且
其執政家タル者屢更迭スル一アルヲ以テ銀券ノ價格
ヲ保持スルヲ勉ムル一私營ノ管理者ノ如キノ厚キヲ
得ル者少シ銀行ヨリ發行スル所ノ定位銀券スラ猶且
ツ危害アリトス况ニヤ其政府直チニ發行スル所ニ係
ルヲヤ其害重キヲ加フルハ亦論ヲ俟タザルナリ蓋シ
政府ヨリ銀行ニ定位發行ヲ許シ之ヲシテ割引交換ヲ
為サシムルキハ其管理者タル者ハ常ニ其政府ノ所為
ニ對シテ監督ヲ行ヒ之ヲ箝制ヲ為シ自ラ政府ノ為ス
所ヲシテ專ラナラシメザルナリ故ニ銀行ヨリ發行ス

大
文
宮

ルノ法ニ於テハ政府自ラ発行スルノ法ヨリ專恣ニ流
ル、ノ弊少カルベキナリ蓋シ銀行ヨリ之ヲ発行スル
ノ法ニシテ終ニ全ク破産ニ至リ若クハ四割乃至五割
ノ低落ノ甚シキニ至レルノ例アルヲ聞カザルナリ之
ニ及レテ政府ヨリ直ニ之ニ発行スルノ邦ニ於テハ概
テ破産ノ免ル可カラザルノ景況ニ陥ラサル者少シ如
此キ邦ニシテ其銀券ノ價格三分ノ二以上ニ降ラザル
モノアラハ蓋シ倖ヒナルノミ

今米合衆國ノ始メテ変位銀券ヲ発行セシ時ノ事迹ヲ
畧述セン千七百七十六年六月二十二日以来英國屬部

ノ及民カ自ラ政府ヲ立テ変位銀券ヲ発行セシハ軍費
ノ為メニ巨大ノ資金ヲ得ントセシニ非スシテ只其争
乱ノ初メニ方テ一時ノ欠乏ヲ救ハントセシニ外ナラ
ザリキ然ルニ其後遂ニ他ニ得策ナキヲ信シテ不得已
陸續之ヲ発行シ千七百八十年ニ至テハ流通銀券ノ價
額ニ億弗即佛貨十億フラン^餘ニ達シ^餘一若シ夫レ當時
米國人口ノ僅ニ三百万ニ過キズ其富未ク殷実ナラズ
且其商業上ノ信約未タ開ケザルノ日ニ在ルヲ参考シ
来ラハ其政府ノ発行ニ係ル銀券ノ價格ヲ失ヒ遂ニ破
産ニ至ラントスルニ臨ミタルモ亦甚ク怪トスルニ足

ラガル可シ

紙幣発行ノ為ニ生スル呀ノ災害ヲ蒙タルノ例少カ
ラスト雖氏孰中佛國ノ例家モ甚シトスベシ蓋シ千七
百年代ノ首ノニ方テラツ名ハヨニ蘇格蘭ノ人ナリ
十年佛國ニ未リテ割引交換銀行ヲ設ケ盛ニ銀券ヲ發
行シ遂ニ破産ヲ為スニ至佛國ノ商家之カ為ノニ瓦解
カスル者少シ理財法失敗ヲ取りタレハ我佛國ニ於ハ亦
再々此轍ヲ踐ムトナカルベキ苦ナリシニ千七百年代
ノ末ニ至テハ復タ此重重ニ出ルノ危難ニ遭ヘリ惟フニ
當時政事上狂妄ノ有様アリシヲ以テ前時王政ノ下ニ
在テ失敗ヲ取りシモ今共和政府ノ治下ニ在テハ則チ

功ヲ奏スベシト誤想セシモノ當時ノ議論空談ハ未タ
之ヲ排駁スルニ至ラズ當世ノ學理尚ホ之ヲ明晰ナラ
シムルト能ハザリシヲ以テ世譽テ之ニ惑溺セラレ、
ニ至リシナリ且加之此法ヲ実行スルノ始ノニ方テヤ
如此ク輕浮ニ如此ク太甚ニ施サントスルノ意志アリ
シニ非ルナリ
アツシギヤト千七百九十年四月一日議定ノ法律ヲ以
テ産法ヲ以テ之カ抵當ニ充テ行ハルノ濫觴ハ已ニ人ノ知
ル所タリ蓋シ「アツシギヤト」ナル者ハ紙幣ト云フ可カ
ラズ利銀ヲ拂ヘル抵當契券ノ類ニシテ或ル期限ヲ定

紙幣ノ名ニシテ官有

メテ償還スベキ者トス即千八百十四年バロニル井
一カ森林ヲ低償シテ発行シタル契券ノ如ク或ハ近年
意國ニ於テ作りタル僧侶ノ契券ノ如キノ類ナリ如此
ク此性質ヲ解スル中ハ頗ル巧奇ニシテ且無害ノ計策
ト云可キナリ但タ其契券ノ種類ヲ多クシ若クハ其利
銀ノ支拂ヲ停メ或ハ償還ノ定期ヲ誤ルカ如キアアル
ニ至テハ必ス然ルヲ得サルナリ

千七百八十九年十二月十九日ノ法律ヲ以テ官有地並
僧侶ノ財産價額凡ソ四億フランナルモノヲ賣却スル
ヲ令レ而シテ其賣却代金ヲ以テ早ク國庫ノ用ニ供セ

ント欲シテ其第十二條ニ左ノ一項ヲ載セタリ「國庫臨
時費ニ供センカ為メニ各一萬リゾル」ノ「アツシギヤ
」ヲ作りテ之ヲ発行ス但シ百ニ付五ノ利ヲ付シ其額
ハ賣地代金ノ額ヲ限度トス而シテ殊ニ前ニ言フ所ノ
賣品ヲ買受クルカ為メニ用フルモノトス「アツシギヤ
」ハコントリビウレヨンバトリオケツク(稅名未詳)追
考ノ収入及其他臨時ノ収入ヲ以テ之ヲ償却ス其償還
額ハ千七百九十一年及千七百九十二年ノ兩年各一億
フランツ、千七百九十三年ニ八千萬フラン及千七百
九十五年ニハ其餘更ニ多分ノ金額ヲ償却スルモノト

ス又「アツシギヤ」ハ政府ノ負債ニ属スル各種ノ證書
ニ交換スルヲ得可シ

「アツシギヤ」ノ法ハ其初ノノ方法ニ於テハ策モ正當
ナル良策ニ出テタリ然ルニ後遂ニ不幸ニシテ其景状
ヲ一變スルニ至レリ千七百九十年四月十七日ノ法律
ヲ見ルニ未タ「アツシギヤ」ノ性質ヲ變更スルニ至ラ
スト雖氏業ニ已ニ不良ノ方向ニ傾ケルヲ知ルベシ夫
ノ従前五分タリシ利銀ハ三分トナリ初ノハ一葉ノ額
面一萬「リール」ノ價タリシヲ改メテ一千「リール」ヨ
リ二百「リール」マテノ小價ノ紙票ニ降シタリ而シテ

其銀券ハ政府賣地ノ代價ヲ収入スル一百万ニ至ル
毎ニ直々ニ抽籤ヲ以テ之ヲ消還シ其利銀ハ臨時金庫
中ニ収入シタル賣却地ノ入額ヲ以テ支給スルノ法ヲ
リ然レ氏此時ハ未タ之ヲ紙幣ト同視スベカラスレテ
尚ホ契券ノ性質ヲ存セリ但其利銀ノ割ヲ減殺シ並價
額ヲ低減シテ少價額ノ銀票トナシタルヲ以テ惟タ危
峻ナル方鍼ニ一步ヲ為シタリト云フ可キノニ此時ニ
アツテ已ニ「アツシギヤ」モ子「リール」名アレハ自ラ之ヲ
以テ尋常交換ノ具トセントスルノ意アリレト判然ナ
リ惟タ當時國會議員ナル經濟學士ケウポンド、子ムー

ルナル者、獨り痛ク抗論セリ、其說ニ曰ク「アツシギヤ」
ノ益増殖スルニ從テ麥及麵包ノ類ハ勿論凡ソノ物價
ヲ騰貴スルニ至ルベシ云々ト

然ルニ當時一世ノ大家タルミラボウニシテ尚ホ且政
事上ノ狂妄ヲ免レズレテ遂ニ「アツシギヤ」ヲ施スノ
說ヲ主張シタルハ實ニ惜ム可キノ事タリ、蓋シ當時ノ
精神ハ只管速ニ國庫ニ官有物賣却代料ヲ収メ且其入
額ヲ抵償シタル契券ヲ以テ旧時ノ負債ヲ償還セント
スルニ、ノミ專ラナリキ、即チ其立憲議會ノ論者ノ所論
アリ在ニ抄録ス「惟フニ議負諸君ハ「アツシギヤ」ノ法

ヲ以テ今日ノ確然タル財政ナリト云ハ、必ス之ヲ首
肯セザルベシ、然レド「アツシギヤ」モ子「」ノ存スル所ニ
ハ必ス其安全ヲ保チ其價格ヲ損セシメザラントスル
ノ期望心アリ、公衆其期望心ヲ抱ケル所アラハ必ス其
期望ヲ遂ケシメント欲スルノ人アリ、且ツ我憲法ハ自
ラ此資金ノ安否ニ係リテ興廢ヲ為スベケレハ此「アツ
シギヤ」ノ存スル所ニハ必ス諸君ノ處分ヲ保持スル
ノ人アリ、諸君ノ奏功ヲ望ムノ人アルベキナリ」之ヲ以
テ觀レハ佛國革命ノ初メニ際シテ政府無限ニ紙幣ヲ
発行スルノ傾向ヲ取リシハ政事上已ムヲ得ザルノ事

情アルニ出テタルモノニシテ單ニ理財上ノ事ニ基ケルニ非ルナリ千七百九十年ニ政府一時有期ノ負債並ニ僧侶ニ屬スル負債ハ「アツレギヤ」ヲ以テ償却スルヲ許スノ法ヲ議シタルニ之ヲ非トスルモノ四百二十三名ニシテ之ヲ是トスルモノ五百八名タルヲ以テ即チ之ヲ可決施行セリ且更ニ八億「フラン」ノ銀券ヲ新ニ發行スルヲ決レタリ故ニ之ヲ既發ノ四億「フラン」ニ加算スレハ合計十二億「フラン」トス此時已ニ「アツレギヤ」モ子「」ノ名アリト雖氏未タ全ク紙幣ノ性質ヲ具備スルニハ至ラザリシナリ其券ハ無記名タリシモ未タ

瑣少ノ額面ニ降ラザリキ其額ハ二千「リ」ヴルノ「アツレギヤ」二十万枚五百「リ」ヴル四十万枚百「リ」ヴル四十万枚九十「リ」ヴル四十万枚及八十七十六十乃至五十「リ」ヴルノ分若干枚トセリ是此時ノ定數タリカ此後復タ之ヲ變セリ

是ヨリ幾ハクナラスシテ此紙票ハ其原性質ヲ失ヒタリ千七百九十年十月八日ノ議定ヲ以テ此月十五日以後「アツレギヤ」ノ利銀ヲ廢止シタリ此利銀ハ初ノ五分ノ利ニシテ後チ三分ニ減シ是ニ至テ全廢セラレタルナリ既ニ如此ク利銀ヲ廢シタル以上ハ「アツレギヤ」

「ノ性質一變シ金主タル者ノ利銀ヲ得ニカ為ノ預
ケ入レタル金額ノ券状タルノ性質ヲ失ヒタリ故ニ其
紙票ハ通貨ノ如ク尋常授受ノ便アルニ非レハ其用ヲ
為サ、ルナリ尤モ官有物ノ買受ケニ支拂フノ特別ノ
利用アルハ勿論ナリ故ニ此紙票ノ発行額多カラズレ
テ其制限アラハ此特用アルノミニ依テ善ク其著シキ
低落ヲ防クニ足ルベシト雖氏如何ニセシ其発行額遂
ニ限りナキニ流レタルヲ以テ其效ヲ有スル一能ハザ
ルニ至レリ千七百九十年四月十六日並十七日ノ議定
ヲ以テ四億フランヲ発行シ其年九月十八日更ニ八億

フランヲ發シ千七百九十一年六月六億ヲ發行シ其年
十一月二日又三億フランヲ發行セリ故ニ千七百九十
二年四月佛國公債ニ關シテ議院ニ朗誦シタルカムボ
シノ報告書ニ据テ前記ノ額ヨリ現ニ國庫ニ存シ又ハ
製造中ニ係ル所ノ額八千五百九十四万八千二百八十
一「リ」ヴル「セ」ス「六」デニエ「」ヲ差引クハ此時ニ於
テ「ア」ツシギ「ヤ」ノ高已ニ二十億一千四百〇五万一千
七百五十八「リ」ヴル「十」ス「六」デニエ「」ノ巨額ニ達
セルヲ知ルベシ但シ賣地代料ノ收入アルニ從テ燒却
シタル紙票總高四億五千七百万及其他ノ理由ヲ以テ

棄消シタルモノ即千初ノノ発行ニ際シテ抽籤ヲ以テ
除却シタルモノ七百五十七万六千三百〇七「リ」
十三「ス」ハ「デ」ニ「エ」トス故ニ更ニ之ヲ差引クハ現
在流通額拾五億四千九百四十七万五千四百四十八「リ」
「ダ」ル「十」ハ「ス」ト「デ」ニ「エ」ト「タ」リ

故ニ「ア」ツシギヤ「ハ」此時ニ至テ初ノテ之ヲ発行シタ
ル時ノ性質ヲ一變シ官有地賣却代ヲ收入スルマテ之
ニ代用セル契券ノ性質ヲ失ヘリ而シテ異幣ニ其額ヲ
増殖シテ遂ニ全國人民年々ノ貯金及資額ノ割合ニ照
シテ其需用ノ度ヲ超過シ定期抽籤ノ方法ヲ以テ償却

スルノ道ヲ失ヒ利銀ヲ拂ハズ其額面ハ日ニ小額ニ降
リ且加之ナラズ定位通用ノ券令アリテ其称記ノ金額
ヲ以テ通用セザルヲ得ザルニ至レルヲ以テ初ノテ通
貨ト競争ヲ為スニ至レリ

此時ニ至ラレバ前述べノ如キ景情ニ在リト雖氏然レ氏
千七百九十二年四月迄テハ猶ホ其害ヲ避クルノ道ナ
キニ非リシ此時ノ現存額十五億五千万餘ニ達セリト
雖氏尚ホ當時ニ在テハ漸次其額ヲ減少シ且其價格ヲ
昇ラシムルヲ得ベカリシ蓋シ其方法タル其発行ヲ止
メ五分ノ利銀ヲ付與シ抽籤ヲ以テ償還ノ期ヲ定メ賣

地代額ノ収入セシムハ其券ヲ棄廢シ以テ到底此銀券
ニ抵償契券ノ性質ヲ保有セシメ紙幣ノ性質ヲ去テシ
ムルヲ以テ足レリトス然ルニ實際是ノ如クセズシテ
却テ「コングハンシヨニ」佛國政府ノ時「コンスナウ
アント」及「レ」シスラ「チーヴ」共ニ佛國當時ノ議會ノ名ノ意ヲ更ニ廣
張シ遂ニ「アツシギヤ」ヲ以テ政府ノ欲スルマ、ニ金
額ヲ得ルノ便法ナリト視儼シタリ故ニ千七百九十二
年十月二十四日新ニ四億ノ「アツシギヤ」ヲ作り同年
十一月二十一日六億ヲ増發シ十二月十四日三億ヲ増
發シ翌年二月一日八億ヲ作り其年五月七日又更ニ七

億ヲ増發セリ爾來此紙幣ハ著ク低落セシラモ畏レズ
陸續此發行ヲ増進シタリ而シテ其低落ヲ防禦セント
欲シテ嚴刑ヲ設ケ紙幣ヨリ昂價ニ正貨ヲ取引セシ者
ハ徒三年ニ處スルカ如キノ法ヲ設ケタリシカ遂ニ其
功ヲ成サズ其低落ハ益甚シク「コングハンシヨニ」ノ末
葉ニ及テハニ拾四「リ」ヴルノ金貨ヲ賣買スルノ價「ア
ツシギヤ」ヲ以テスルハ千五百「リ」ヴルノ高点ニ
達シ夫ヨリ猶漸次昂昇シテ二千「リ」ヴルトナリ二千
五百乃至二千六百「リ」ヴルニ至レリ此時ニ至テハ「ア
ツシギヤ」ノ總額二百九十五億ノ巨額ニ迫ヘリ但シ

此総額ノ中五十億ハ製造中ニ係リ廢毀シタル高モ亦
此額ニ降ラズ故ニ現実流通ノ額ハ百八十九億二千三
百四十六万四千四百六十四「リ」ガ「ル」ナリ

千レク「ト」ア「ル」佛國往昔ノ時ニ至テハ金庫ノ空乏前

代ノ時ヨリモ更ニ甚レク「正」路ニ頼テ歳資ヲ得ルノ外
已ムヲ得ズ別ニ計策ヲ用ヒテ其不足ニ補填スルノ道
ヲ得ント欲レタリ即チ前代ノ紙幣發行ヲ廢停セント
ハ為サズシテ却テ此方法ニ據テ其補填ノ計策ヲ得ン
ト求メタリ千七百九十五年十二月二十日「コ」ン「セ」イ
ユ「デ」ー「セ」ン「サ」ン當時佛國ノ議院ノ名夫議ヲ以テ紙幣ノ流通高
ヲ擴張シテ四百億マテヲ限度トシ若シ此定額ニ達セ
ハ断然其擴張ヲ止メントセリ而シテ此回ハ實ニ此豫
約ヲ履ミタリ即チ此決議ヨリ僅ニニヶ月ニシテ千七

大
文
宮

百九十六年二月十九日ニ至テハ「アツレギヤ」ノ発行
総額千七百八十九年以來四百五十五億八千四百四十一
万二千の十八「リーゲル」トナリ其内現ニ流通ニ係ルモ
ノ四百億許ニ至レリ故ニ公然此法ヲ停止シタリ而シ
テ此ヨリ以前金貨ノ相場七千五百「リーゲル」タリシカ
遂ニ五千八百「リーゲル」ニ降レリ紙幣ノ額更ニ増ス
ナキノ期望ヲ得タルヲ以テ投機ノ念亦隨テ輕減セリ
且ツ此時ニ至リテハ「アツレギヤ」ノ市價其稱價ノ二
百五十分ノ一乃至三百分ノ一ニ低落シタル（即チ二十
四「リーゲル」ノ金貨ノ價「アツレギヤ」ニシテ六千乃至

七千二百「リーゲル」タリ）ヲ以テ速ニ其精算處分ヲ為ス
ノ必要ナルニ際會セリ乃チ千七百九十六年ニ始メテ
此銀券ニ代フルノ新票即更ニ官有地ヲ抵償シタル「マ
ンダー」テリトリアル^{土地抵償}ナル者ヲ發行シ^{尤モ前}
時ヨリ少額ニシテ以テ前時ノ「アツレギヤ」ヲ廢絶セ
ント決議セリ其額ハ土地抵償銀票二十四億ヲ發行シ
テ之ニ三十倍セル「アツレギヤ」ニ交換スベキニ定メ
タリ而シテ此新票ヲ所有スル者ハ千七百九十年ノ評
價ニ從テ同價ノ官有地ヲ購買スルノ權アリトシ且此
新票ハ定位通用ノ性質ヲ有スベキモノトセリ蓋シテ「ア

ツシギヤ^一ヨリモ其額甚タ少ク官地ヲ買得スルノ權
自ラ前時ノ券ヨリモ明確タリシヲ以テ其價格ヲ低落
スル^レテラガルベシト思惟シタルニ依レリ然ルニ此新
券ト雖氏通用紙幣トナリ交換ノ具ナリト視レハ國內
需用ノ度ニ比シテ甚過剩ノ額タリ又利銀ヲ得ンカ為
メニ資金ヲ入レタル契券ノ類ナリト視ントスレハ利
子ヲ付セズ且買地又ハ貸付等ノ契券ニ換ヘテ流通セ
ザル不動ノ資金ト為スヘキ全國人民ノ資産ノ量度ヲ
超過セリ故ニ實際ニ方テハ遂ニ豫メ思惟セシ^レ所ノ如
クナル^一能ハガルナリ如之ナラズ前時「アツレギヤ^一」

ノ發行如此キノ無限ニ至リタルカ為メニ甚シク公ノ
信任ヲ攪搖シ新券ヲ發行スルニ臨テモ猶ホ其量ヲ増
殖スルノ患甚タ免レ難キヲ思想シ未タ前キノ失信ヲ
回復スル^一能ハザリキ故ニ此新券モ幾クモナクシテ
遂ニ地ニ墮チタリ但タ之ヲ更發シタルカ為メニ夥多
ノ「アツレギヤ^一」ヲ廢毀スルヲ得タリ而シテ「アツレギ
ヤ^一」ハ千七百九十六年七月ヨリ定位銀券ノ性質ヲ廢
シ且此新券若クハ納租ニ依テ廢除シタルノ外猶流通
ニ殘レル所ノ分モ皆千七百九十七年五月二十一日ヲ
以テ確然廢止シタリ又此新券モ久シカラズシテ定位

通用ノ制ヲ廢シ但夕數月間ハ必ス官庫ニ收受スルヲ
許シタリ

既ニ「アツレギヤ」ヲ廢除スルニ付テハ其廢除ノ前價
格低落セシニ際シテ締結シタル契約ノ拂ヒ方ヲ規定
セザルヲ得ズ即チ其低落セシ際ノ時々ノ相場ヲ記記
シ契約ヲ結ヒタルノ時並ニ地方ノ相場ニ照シテ其契
約ニ依テ負債ニ屬スル金額ヲ減少スルヲ要セリ依テ
一表ヲ製シ千七百九十一年一月一日ヨリ新券ヲ發行
スルノ時即チ千七百九十六年ニ至ルマテノ相場ノ高
低ヲ記載セリ而シテ千七百九十一年一月一日以前ニ

屬スル負債額ハ之ヲ減少スルナク其額面ノ高皆正
貨ヲ以テ之ヲ支拂フベキモノトセリ又此他凡ソ金貨
ヲ以テ返金スト明約セルモノハ其契約ノ前後ニ拘ラ
ズ必ス其減殺ナク正貨ヲ以テ支拂フベキノ前ニ同シ
其他ノ分ハ皆各時各處ノ金貨ノ相場ヲ明記シタル表
面ニ從テ其減少ノ割合ヲ定メタリ

千七百八十九年以來「アツレギヤ」ノ實價ノ高低左ノ
如シ千七百八十九年十一月ニ於テハ「アツレギヤ」百
リ「ヴル」ノ價正貨ノ九十五リ「ヴル」ニ當リ千七百九
十年一月ニハ九十六リ「ヴル」タリシカ其年七月ニハ

又九十五「リ」グ「ル」ニ至リ千七百九十一年一月ニ至テ
ハ九十一「リ」グ「ル」其七月ニハ八十「リ」グ「ル」ニ至リ
千七百九十二年一月ニハ七十二「リ」グ「ル」ニ其七月ニ
ハ七十一「リ」グ「ル」ニ降リ千七百九十三年一月ニハ五
十一「リ」グ「ル」ニ其七月ニハ更ニ降リテ二十三「リ」グ
「ル」ニ及ヘリ然ルニ千七百九十四年一月後夕昂リテ四
十「リ」グ「ル」ニ至リシカ其七月ニ及テハ再ヒ三十四「リ」
「グ」ニ降リ千七百九十五年ニハ已ニ十八「リ」グ「ル」
ニ及ヒ其七月ニ至テハ此百「リ」グ「ル」ニシテ遂ニ正貨
一「リ」グ「ル」ノ價ニ過キザルニ迄ヒ其翌千七百九十六

年ニハ百「リ」グ「ル」ニシテ僅ニ三四十「リ」グ「ル」ノ甚
シキニ達セリ

由之觀ルニ千七百八十九年及九十年ノ際「ア」ツシギヤ
「リ」ヲ発行セシヨリ十五ヶ月ノ間ハ其價ノ低落著シカ
ラズ其間金ハ僅ニ百分ノ四乃至五ニ過キザリシ蓋シ
當時ニ在テハ未タ真ニ紙幣ノ性質ヲ有スルニ至ラズ
其利銀ヲ拂ヒ期ヲ定メノ抽籤シテ償還スベキモノタレ
ハ則チ寧ロ資金ヲ貸付ケタル契券ノ類タリキ且其當
時ニ在テハ其発行額未タ甚多カラズ初メ四億ニシテ
其後千七百九十年ノ末ニ至ルモ尚ホ十二億ニ止レリ

然ルニ具翌千七百九十一年ニ至テハ低落一層ノ甚シ
キヲ致シ其年ノ央ニハ百分ノ十三トナリ其年ノ末ニ
ハ百分ノ二十八トナレリ是蓋シ契券ノ性質ヲ一變シ
利銀ノ拂方ヲ廢シ全ク流通紙幣ノ性質ヲ得タルニ依
ル且其年未ノ發行額ヲ見ルニ已ニ大約二十億ニ至リ
其内廢毀シタル分ヲ除クモ現ニ公衆ノ手ニアルモノ
十五億ニ降ラガリシナリ然レハ此時低落ノ度猶ホ此
点ニ止リ更ニ甚シキヲ致サ、リシハ却テ奇トスベキ
ナリト雖氏惟フニ公衆ノ意ニ於テハ官地ヲ賣却セハ
多少ノ金額ヲ國庫ニ收入シ隨テ夥多ノ銀券ヲ廢除ス

ルヲ得シ一疑ヒナレト信シタルニ因ル夫ヨリ千七百
九十二年ニ至リ其上半季間ハ低落ヲ見ズ下半季ニ至
リ著シク下落シタルヲ以テ具翌千七百九十三年ノ初
メニ當テハ百「グーヴル」ニシテ殆ント正貨五十一「リ」
ヴルノ價ニ降レリ是レ蓋シ千七百九十二年ノ末ニ至
テ「コ」ヴ「ン」シヨ「ン」政府ニ於テ大ニ之ヲ増發セシニ
依ル又千七百九十三年及千七百九十四年ニ至テハ更
ニ一層ノ低落ヲ為シ數多ノ變動ヲ歷テ千七百九十五
年ニ及テ真ニ潰裂ノ有様ヲ成スニ至リシナリ
今又佛國「アツシギヤ」ノ制度ノ為メニ當時ノ財政ハ

奈何ノノ願ヲ有セシヤ又奈何ノ失敗ヲ招キシヤヲ察
觀スルニ高工等之カ為ノニ産ヲ傾キ家ヲ失フモノ其
數幾千ナルヲ知ラズ必竟貸金ノ期限ニ在リテ返済ヲ
受クルモ其低落ノ時ニ在テハ其多少ノ額ヲ失却シ定
額ノ所得アルモノハ其所得悉ク地ヲ拂テ價ヲ失ヒ
高工業ハ交換ノ具壓落セルニ依テ信用ノ途絶ユルニ
至リ事業ノ防碍ヲ蒙ルト少カラズ又政府ハ破産ノ為
ノニ名聲ヲ汚セルノミナラズ之ヲ以テ拂出ヲ為セハ
亦之ヲ以テ収納ヲ為サ、ルヲ得ズ且不動ノ價額ヲ有
スル歳入ヲ得ルト能ハズレテ到底此制度ノ為ノニ損

失ヲ蒙ルト多シトス故ニ政府自己ノ得失ノ上ヨリ論
スルモ一般ノ擾動ヲ生ス可キ方法ニ憑ラザルノ優レ
ルニ若カザルナリ
蓋シ此損害ヲ蒙ルニ至リタル所以ノ者ハ終始佛國政
府ノ失策ニ出タル者ニシテ其責ハ政府決シテ免ル可
カラザルナリ惟フニ當時ニ指三億許ノ一時公債ヲ負
ヒ且一方ニ於テハ少クモ之ニ均シキノ價額ニ當ル可
キ官地ヲ所有セリ故ニ此地ヲ賣却セハ必其資金ヲ以
テ此公債ヲ償還スルヲ得トシト思惟セシナラン然レ
氏彼ノ政變擾亂ノ時ニ際シ且ツ動産ノ富未タ開達セ

ガルの日ニ在テハ數月乃至數年ヲ出テズシテ巨大ノ
官地ヲ賣却セントスルハ期望スベキノ事ニ非ルノ理
ヲ失忘セシニ出テタルナラン蓋シ利息ヲ附シ定期消
還ノ約アル契約ヲ以テ始メヨリ四億乃至五億ノ額ヲ
作ルニ止マラシメハ必ス賣地代金ノ一部分ニ代用ス
ルヲ得タリシナラン

然ルヲ賣地代金ノ額ニ均シキ價額ノ紙幣ヲ作ラント
欲シタルハ實ニ失敗ノ原因ナリト云フ可シ假令へ當
初ニ在テハ未タ紙幣ノ性質ヲ有セズ資金ヲ貸付ケタ
ル契券ノ類ナリシト雖氏顧テ全國民カノ如何ヲ察ス

レハ決シテ少時ノ間ニ在テ其金額ヲ運用スルノカア
ルノ景況ニアラズ是ヲ以テ見レハ終ニ著シキ低落ヲ
致セルニ至リシモ亦宜ナリ加之ナラズ此契券ヲ以テ
定位通用ノ紙幣ト為スニ至テハ尤モ淺識ノ譏ヲ免ル
可カラザルナリ蓋其失誤ニ陥リタルノ点ニアリ其一
ニ貸ノ補助トシテ公衆ノ手ニ通用スベキ紙幣ハ土地
ヲ以テ抵償トスレハ充全ナル保障アリトス是ナリ蓋
シ此種ノ紙幣ニシテ低落ナカラシメント欲セハ宜ク
即時若クハ少時ニシテ容ク実收シ得ラルベキノ物ヲ
以テ之ニ抵償スベシ然レハ官地ノ如キ殊ニ改変多事

ノ日ニ際シテハ少時ニシテ実収シ難キノモノヲ以テ
多ク之ニ抵償スルカ如キハ抵償ノ実功ナキモ亦異ム
ニ是ラザルナリ其ニ國ノ通貨ハ幾多ノ増額ヲ為スモ
國ニ害スルナク其價格モ亦著シキ損失ヲ為スナカ
ルベシト思惟シタル是ナリ蓋シ交換ノ具ト其實際取
引ノ繁閑並物産ノ盛衰ハ自ラ相關係シテ權衡ヲ失フ
可カラザルナリ故ニ物産ハ未タ繁殖セザルニ際シテ
交換ノ具ノミヲ増加スルハ頗ル危峻ヲ免ル可カラザ
ルナリ且況ニヤ諸國ノ実際ヲ見ルニ定位銀券ノ需用
ハ正貨ノ需用ヨリモ常ニ少カルベキト判然タルニ於

テヲヤ即チ之ヲ詳言スレハ銀券ヲ發行シテ定位通用
セシメ正貨交換ノ義務ナカラシムルハ公衆ノ之ヲ
需用スル正貨ヲ需用スルヨリモ其額ヲ減少スベシ蓋
シ正貨ハ二種ノ作用アリ流通運用スルト蓄積貯藏ス
ルト是ナリ佛國等ノ如キ民主國ニ於テハ細微ノ貯蓄
ヲ為ス者甚タ多ク其蓄積ハ積テ堆キヲ成スニ至ルベ
シ而シテ公衆ノ資金ヲ貸付タルヲ好マザル者ハ必
ス金銀ノ價一定不動ナルヲ信用シテ以テ之ヲ蓄積ス
レハナリ之ニ及シテ定位銀券ノ制度ニ於テハ必ス其
紙票ヲ貯蓄スルモノナカルベシ定位銀券ナルモノハ

素ヨリ実價ヲ有スル物品並ニ貨等ニ對シテ交換スル
ヲ得サルヲ以テ之ニ信用ヲ置クヲ能ハザレハナリ故
ニ何人ト雖氏目下日用ノ交換ニ要用ナルモノノミヲ
存シテ其他ハ之ヲ自己ノ庫中ニ留メザランコトヲ勉
メ其交換ノ際ニ在ルモ常ニ其低落アラントヲ遲疑シ
テ措カザルナリ故ニ定位銀券ヲ行テ其低落ヲ未サバ
ラントヲ欲セハ宜ク其之ヲ行ハザルノ前ニ於テ存在
セシニ貨ノ稱呼ノ額ニ比較シテ之ヨリ多カラザルノ
額ニ止ム可キナリ

「アツレギヤ」ノ事述ハ定位銀券ノ危害アルヲ明示ス
ベキ龜鑑ニシテ古今是ヨリ瞭然タルモノアラザルベ
シ然ルニ殆ント之ト同時ニシテ澳國ニ於テモ同一轍
ノ變遷ニ遭遇セリ

澳國ニ於テ定位銀券ヲ行ヒタルハ抑十五年来乃至二
十五年来ノ近事ニアラズシテ殆ント一百年間ニ涉リ
多年ノ經歷ニ係ルモノトス今其千七百年代ノ末ニ遡
リテ其變遷ヲ記述スル片ハ頗ル冗長ニ渉ルベキヲ以
テ今ハ惟タ千八百年代以降ノ變遷ヲ畧述セン抑澳國
ハ千七百九十二年以來兵戈絶ヘズ國庫為ナニ充實ナ
ルヲ能ハズ定位銀券ノ發行ヲ増加スルヲ甚タ多シト

ス而シテ具銀券ハ銀行ノ名ヲ記スルヲ以テ具銀行ノ
 介媒スルアルカ如シト雖氏實ハ皆政府ノ直接発行ス
 ル所ニ係レリ然レ氏千七百年代ノ末ニ在テハ猶具低
 落見夕微ニシテ千七百九十九年一月ニハ銀貨ニ以シ
 テ價格百分ノ三ヲ減失セシニ止ル即チ銀貨ノ百ノ三
 タルノ義ニシテ銀貨百「フロリン」ハ紙幣百ノ三「フロリ
 ン」ニ交換セリ又千七百九十九年十二月ニ至テハ銀貨
 百十三ニ至リ夫ヨリ年ヲ逐テ低落セルト甚急ナリ

千八百年十二月銀貨 百十八「フロリン」
 千八百一年十二月銀貨 百十七「フロリン」

千八百二年十二月銀貨 百二十八「フロリン」
 千八百三年十二月銀貨 百三十三「フロリン」
 千八百四年十二月銀貨 百三十四「フロリン」
 千八百五年十二月銀貨 百四十九「フロリン」
 千八百六年十二月銀貨 百八十四「フロリン」
 千八百七年十二月銀貨 二百三「フロリン」
 千八百八年十二月銀貨 二百廿二「フロリン」
 千八百九年十二月銀貨 四百五「フロリン」
 千八百十年十二月銀貨 五百「フロリン」
 即チ千八百十年ノ末ニ至テハ百「フロリン」ノ銀貨ニシ

テ之ヲ銀券ニシテハ五百「フロリン」ノ價スルニ至レリ
故ニ其呼價ノ五分ノ四ヲ失ヒタルナリ此時ニ當リテ
銀券ノ發行高十億〇六千〇七十九万八千七百五十三
「フロリン」即佛貨二十七億「フラン」餘ノ巨額ニ達シタリ
其銀券ハ澳語之ヲ「バンコゼツテル」ト稱シ銀行銀券ノ
義ニシテ政府自ラ之ヲ發行シ定位通用ノ法タリ故ニ
其通用確然不動タルヲ能ハズレテ變動多ク今日ト明
日トノ間ニ於テ往々二割三割ノ差ヲ見ルカ如キモノ
アリ就中其尤モ甚シキモノハ千二百ノ相場ニ昂リタ
リ即千百「フロリン」ノ銀ヲ得ニカ為ナニハ紙幣千二百

「フロリン」ヲ拂ハザルヲ得サルニ至レリ茲ニ至テハ殆
ント我佛國ノ「アツレギヤ」ノ低落ト其景情相彷彿タ
リ乃千千八百十一年二月二十日勅令ヲ以テ銀券ヲ燒
棄シ及殆ント破産ノ如キ處分ヲ行ヒ以テ此景情ヲ改
復セント欲シタリ其顯著ナル告諭ノ一ニテ左ニ抄録
ス「澳國皇帝フランツアー第一世云々朕庶民ノ禍社ヲ
祈ルノ念絶ヘズ茲ニ本邦紙幣ノ低落ヲ患フル久シ曩
キニ千八百十年二月二十六日ノ令ヲ以テ其増發ヲ止
メタルノミナラズ尙未既發ノ銀券ヲ減却スルノ法ヲ
求メタリ云々」中然ルニ意外ノ情状アルカ為ナニ其市

價ヲ回復スルヲ得サルノミナラズ却テ益其低壓ヲ来
スノ状アリ其價格ハ日ニ其高低ヲ一ニセズ一時ハ銀
貨百ニ付紙票一千二百ニ當ルノ甚シキモノアルニ至
レリ云々 吾如此キハ庶民ノ私産ヲ傾ケ物産工業ヲ障
碍シ社會ノ關係ヲ壞シ信用ノ途ヲ絶ツニ至ラントス
故ニ此高低ヲ抑止シ此紙幣ノ價格ヲ昂騰セシメ以テ
庶民ノ利便ヲ保チ其損敗ヲ極極ハガル可カラズ是朕カ
今日ニ期滿スル所ナリ云々

即チ此目的ヲ達セシカ為メニ千八百十一年二月二十
日ノ勅令ニ定ムル所ノ方策アリ左ニ抄録ス「バンコク、セ

ツテル」即銀行銀券ハ千八百十二年一月三十一日ニ至
テ其發行ヲ停止シ其銀券ハ「エインルソングス」エイ
子引換銀券ノ義ト五分一ノ價ヲ以テ交換スベキモノトセリ
故ニ其新券ニ交換スル片ハ其負額ハ旧券ノ五分ノ一
ニ減セルナリ是ヲ以テ旧券五百「フロリン」ヲ所有スル
者ニハ素ト銀貨五百「フロリン」ヲ拂渡ス可カリシヲ特
ニ一百「フロリン」ヲ拂渡スニ過キサルノミナラス銀貨
ヲ以テセズシテ新券ヲ以テスルニ至レリ故ニ茲ニ至
テ真ニ破産ヲ為シタリト云フベシ猶ホ我佛國ニ於テ
嘗テ「アツシギヤ」ラ土地抵償ノ銀券ニ交換セシ方策

ト略相類セルナリ且佛國ニ於テ「アツシギヤー」ノ破産
ヲ為シタル所ハ之ニ次テ國債三分ノ二ノ損敗ヲ招キ
タルカ如ク澳國ニ於テモ亦同ク「バンコゼツテル」ノ破
産ノ為メニ公債ノ半額ハ次テ破産ヲ来セリ是亦此ニ
國ノ事情相近似セル所以ナリ此件ニ關シテ千八百十
一年二月廿日ノ勅令ニ言フ所ヲ見ルニ曰ク「方今財政
ノ困難ニ際シテハ公債ヲ減却スルモ固ヨリ為シ難キ
ノ事ニ非ス然レモ朕今減債ノ方法ヲ施スラフ欲セズ
故ニ其公債ノ母額ハ決シテ之ヲ減却セザルベシ惟タ
政府ノ歳入ト其一般ノ會計ト權衡ヲ相ヒ保チ且一方

ニ於テハ可及的租稅ヲ輕減セント期望スルニ汲々タ
ルヲ以テ特ニ政府ノ義務ニ屬スル負債額ノ利銀ヲ現
額ノ半ニ減スルヲ以テ已ムヲ得ザルモノナリト視認
メリリ云ニト

引替銀券ハ佛國ノ土地抵償銀券トハ進退ノ景狀ヲ全
ク同一ニスルニ非スト雖モ旧銀券ニ引替テノ後幾ッ
モナクシテ亦多少ノ低落ヲ蒙レリ即チ定額銀券ノ通
用價額凡ソ十億六千〇七十九万八千七百五十三「フロ
リ」ナリシカ引替銀券ニ至テ遂ニ其五分ノ一ニ減シ
テ二億千二百十五万九千七百五十三「フロリ」ニ至レリ

然ルニ此金額ニ止リテ更ニ増發セラル、トナクンハ
其銀券ハ大抵低落スル、アラザリシナルベシト雖氏
政府ハ猶之ヲ發行スル、ト陸續斷、ズ以テ軍費ノ為メ
ニ欠乏セル澳國官庫ノ補填トセリ即チ千八百十六年
ニ至テハ現ニ流通セル銀券ノ高六億三千八百七十一
万五千九百二十五「フロリン」即佛貨凡ソ十六億「フラン」
許ナリ此時ニ於テ己ニ甚ク低落ヲ來セリ依テ一ノ勅
令ヲ以テ相場ヲ定メテ百ニ付六十即チ銀券二百五十
「フロリン」ノ價銀貨百「フロリン」トナセリ之ヲ千八百年
代第二回ノ低落トス故ニ千七百九十九年ニ於テ銀券

ノ高六億三千八百七十一万五千九百二十五「フロリン」、
即佛貨凡ソ十六億「フラン」許ナリ此時、於テ己ニ甚ク
低落ヲ來セリ依テ一ノ勅令ヲ以テ相場ヲ定メテ百ニ付
六十即チ銀券二百五十「フロリン」ノ價銀貨百「フロリン」
トナセリ之ヲ千八百年代第二回ノ低落トス故ニ千七百
九十九年ニ於テ銀券一萬「フロリン」ヲ所有セシモノ
ハ當時ニ在テハ平準ノ價ヲ保チシカ千八百十一年ニ
於テハ其五分一即チ二千「フロリン」ニ減シ千八百十六
年ニ至テハ百ニ付六十即チ僅ニ八百「フロリン」トナレ
リ

此景况ヲ改良セシカ為メニ澳國主銀行ナル特權アル
一大銀舗ヲ創設セリ其株主ハ一株ニ付紙幣ヲ以テ一
千「フロリン」ヲ拂込ニ更ニ其銀行ト政府トノ契約ヲ以
テ其紙幣ヲ廢毀セリ而シテ公眾ヲシテ銀行ヨリ發行
セル銀券ニ向テ紙幣ヲ交換セシメ其交換スル毎ニ銀
行ニ收入スル所ノ紙幣ハ皆之ヲ廢毀セリ如此クシテ
政府ノ紙幣ヲ減少セルト甚少シトセズ千八百三十九
年ニ至テハ其流通高僅ニ千三百五十万「フロリン」ニ過
キガリシ其他ハ即今悉ク定位通用ニ非ル銀行銀券ヲ
以テ交換シタリ故ニ千八百四十八年ニ至ルノ間ノ景

况ヲ見ルニ二種ノ銀券同時ニ存在シ其一ハ政府ノ紙
幣ニシテ定位通用ノ制ニ在リテ銀貨ニ對セル相場屢
々變動シテ一定セザルモノト又一ハ銀行銀券ニシテ
定位通用ノ制ナク銀行ニ於テ常ニ正貨ト交換スルノ
義務アルモノナルハ價格モ亦銀貨ト平準ヲ保テルモ
ノト此ニ様ノ通用ヲ為セリ
千八百四十八年以來ハ其景况又一變シタリ即銀行ヨ
リ政府ニ貸出シタル金額甚タ巨額ニ昂リ遂ニ其銀券
ノ定位通用ヲ令セザルヲ得ザルニ至リ一方ニ於テハ
政府其約束ヲ履マズ負債ヲ償却スルノ義務ヲ怠リ其

歳計豫算ハ年々欠乏ヲ告クルヲ以テ終ニ定位通用ノ
 制ヲ永續シ為メニ著シク銀行銀券ノ價格ヲ損失スル
 ニ至レリ。ホルン著万国公債年報千八百六十一年ノ部
 ヲ見ルニ澳國立銀行千八百四十八年ヨリ千八百六十
 年ニ至ルノ間ノ景况ヲ述フルヲ詳悉ニシテ有益ナリ
 依テ左ニ抄出ス

千八百四十八年ヨリ千八百六十年ニ至ルノ間銀行ヨ
 リ政府ニ貸出シタル金額並其種類左表ノ如シ但シ其
 年一月一日ノ景况ヲ録ス蓋シ此表ヲ細閲セハ必ス定
 位通用ノ法ヲ行ヒ並ニ之ヲ永續シタル所以ノ理由ヲ

詳ニスルヲ得ン但左表「ハ百万位トス例ハ「ハ二五ト
 アルハ八千二百五十万ニシテ澳貨「フロリン佛貨ニ「フ
 ルヲ以テ記ス

銀行ニ對スル政府ノ公債表

千	千	千	千	千	千
八	十	四	百	八	千
九	十	四	百	八	千
一	十	五	百	八	千
二	十	五	百	八	千
三	十	五	百	八	千
四	十	五	百	八	千
五	十	五	百	八	千
六	十	五	百	八	千
七	十	五	百	八	千
八	十	五	百	八	千
九	十	五	百	八	千
一	十	六	百	八	千

以上記スル所ノ表ニ就テ其末項合計ノ一欄ヲ看來
ハ其公債ハ果シテ改竄ノ為メニ用ヒラレタルヲ記ス
ルニ是ルベシ千八百四十八年及千八百四十九年ノ國
乱アリテ為メニ一億三千五百萬「フロリン」(即佛貨三億
三千七百五十萬「フラン」)ヨリ漸次其額ヲ嵩メテ千八百
五十年ニ至テハ二億の五百萬「フロリン」(即佛貨五億一
千二百五十萬「フラン」)ノ巨額ニ昂リ千八百五十年ヨリ
クリノアノ役ニ至ルマテ八年ヲ逐テ此種ノ公債ヲ消
却シ頗ル其額ヲ減少セリ故ニ千八百五十四年ニ至テ
ハ一億二千一百「フロリン」(即佛貨三億の二百五十萬「フ

ラン」ニ降レリ即千八百四十八年ノ額ヨリモ減少セ
ルナリ故ニ若シ此ヨリ連年公平ヲ保タシメタランニ
ハ必ス數年ヲ出デズレテ具多額ヲ消還シ再ヒ公債拂
出ラ復シ得タルヲ推テ知ルベキナリ然ルニ此時ニ際
シテクリノアノ役起ルニ會シタレハ復タ銀行ニ對シ
テ國債ノ額ヲ増加セシメ更ニ千八百五十年ヨリモ超
過スルニ至ラシメタリ即千八百五十五年ニ於テハ
二億九千四百萬「フロリン」(即佛貨七億三千五百萬「フ
ラン」)ナル巨額ニ達セリ然レド夫ヨリ四年間無事ノ日ニ
際會シタルヲ以テ復タ著シク減退シ千八百五十九年

ニ至テハ一億四千五百万「フロリン」佛貨三億六千二百
万「フラン」即千八百四十八年ノ旧額ト殆ント相近キニ
至レリ然ルニ此時ニ際シテ意太利ニ事アリ遂ニ澳國
政府ヲシテ更ニ銀行ヨリ公債ヲ募ルノ已ムヲ得ザル
ニ至ラシメタリ即チ此新公債ハ二億四千四百万「フロ
リン」佛貨六億一千二百万「フラン」タルヲ以テ千八百六
十年ノ銀行ニ對スル公債總額ハ復タ殆ント千八百五
十五年ノ大數ニ昂レリ然レハ爾來逐年減少シ千八百
七十四年十二月三十一日ニ至テハ僅ニ八千万「フロリ
ン」即佛貨ニ億「フラン」ニ過キズ此有様ニシテ永ク保續

スルヲ得ハ定位通用ノ制ヲ脱スルヲ得ルニ至ランモ
亦必ス難キニ非ルベシ蓋シ永ク正貨ノ拂出ヲ停止ス
ルノ原由ハ特ニ銀行ヨリ政府ニ貸出ヲ為シ及政府直
チニ銀券ヲ發行スルニ在レハ其銀券ヲ廢除スルヲ得
ルニ至ラハ定位通用ノ法ヲ停ムルニ至ルベキヲ亦必
然ナリ

澳國定位通用ノ制ハ今此章ニ於テ之ヲ詳述スルノ違
アラズト雖モ銀行ニ對スル公債ノ各類ニ就テ各項畧
説ヲ為スハ必ス無益ノ業ニアラザルベシ
銀行ニ對セル政府ノ無期公債即チ上ニ記シタル公債

表ノ第一項ニ記載セル公債ハ八百二十年三月二十日ノ締約ニ源キタル者ニシテ之ニ依テ銀行ニ於テハ定位通用ヲ以テ政府ヨリ発行シタル紙幣ヲ引換ユルノ義務ヲ負擔セリ而シテ此目的ノ為ニ銀行ヨリ政府ニ立替ヘタル金額ハ僅ニ其一部分ノ直ニ消還セラレ其他ハ千八百七十一年マテヲ期シテ年賦ノ消却ニ属セリ其利銀ハ半ハ百分ノ四トシ半ハ無利子トセリ其年賦消却ノ高ハ初メハ百四十万「フロリン」佛貨三百五十万「フラン」トシ爾後ハ公債ノ半額有利ノ分既ニ消還シタル高ノ利銀ヲ以テ益増加スベキ者タリ即チ前

記ノ表ニ就テ見ルハ此豫期スル所ノ如ク実行セラレタルヲ知ルベシ

前記ノ表中第二項ハ千八百四十八年以前ノ公債ヲ記載セリ銀行ハ政府有期ノ公債手形ヲ割引スルニ際シテ其期限ヲ延伸スルノ習慣アリ即チ一時有期タリシ公債ヲ一變シテ無期公債ニ類似セル性質トセルモノナリ其銀行ニ拂ヒタル利銀ハ百分ノ三タリ千八百五十一年政府ハ一千〇五万「フロリン」ヲ引キ去リ千八百五十二年ハ二百五十万ヲ引去リ其餘ハ千八百五十二年二月二十三日ノ締約ヲ以テ他ノ銀券ニ交換セリ

第三項ニ記述スル所ノ新公債ナル者ハ千八百四十八年ヨリ四十九年ノ間ニ十四回ニ銀行ヨリ募集シタル公債ニシテ千八百四十九年九月十八日ニ至テ一種ノ公債ニ交換シタル者ナリ此時其母額ハ九千七百万フロリンニシテ其銀行ニ拂ヒタル利銀ハ百ニ付ニタリ此公債ハ更ニ六千万フロリンノ公債ヲ為シ並ビエモ^地ノ債金等ヨリ成立シタル資金ヲ以テ速ニ消逐セリ

第四項ニ記載セル有期公債ハ其根源一ナラズ今之ヲ記述スルノ緊要ナキヲ以テ畧ス

第五項ニ記載セル政府ノ紙幣ハ千八百四十八年新ニ政府ヨリ発行シタル者ナリ此紙幣ハ定位通用ノ法ヲリシヲ以テ諸般ノ拂方ノ為ニ銀行ニ於テ受授スベキモノトセリ然ルニ千八百五十二年ニ至テ其性質ヲ一變シ且次項ニ記スル所ノ部中ニ包含セリ

第六項ニ記セル所ノ精算負債高トハ第三項千八百四十八九兩年締約ノ二分利付公債第二項中央國庫ノ三分利付ノ有期負債手形及第五項政府発行ノ紙幣以上三種公債ノ消逐殘額ヲ精算シテ組替ヘタル負債ヲ謂フ即チ其組替ノ方法タル此諸種ノ公債殘額ヲ集メテ

之ヲ一様同種ノ公債ニ組替ヘタルモノニシテ其利銀
ハ咸ナ同クニ分トシ製塩局ヲ以テ之ニ抵償シ若シ年
々ノ歳入ヲ以テ償還ニ足ラザルハ別ニ公債ヲ募リ
テ速ニ消却スベキモノト定メタリ而シテ其消却ハ千
八百五十二年及五十三年ニ於テハ約ノ如ク履行シタ
リト雖氏千八百五十四年ニ至テハ之ヲ停止シ千八百
五十五年ニ至テハ更ニ精算組替ヲ為シタルヲ以テ自
ラ別種ノ公債ニ變シタリ而シテ千八百五十二年二月
二十三日以來ハ政府發行ノ紙幣ニシテ銀行ノ金庫ニ
收受スルハ皆銀行ニ於テ之ヲ自己ノ銀券ニ交換レ

其紙幣ハ之ヲ政府ニ返還スルヲ得タリ
第七項ハ千八百五十四年二月二十三日ノ締約ヲ以テ
作りタル公債トス蓋シ此時ニ際シテ政府ハ全ク定位
通用ノ制ヲ脱却セント欲シタリ然ルニ銀行銀券ノ行
ハル、傍ラ亦政府ノ紙幣世上ニ流通セルモノ少カラ
ズ仍テ銀行ハ其自己銀券ヲ以テ其紙幣ヲ交換セント
約シタリ但シ銀行ハ此交換ヲ為スニ付キ別ニ利益ス
ル所ナシト雖氏如此クシテ政府ニ貸與シタル金額ハ
海關稅ノ収額中ヨリ前引ヲ以テ必ス年々一千万「フロ
リ」ノ年賦消却ヲ受クルノ約タリ千八百五十四年六

月二十六日一大公債ノ募集ヲ發令セリ其目的タルヤ
即チ主トシテ銀行ニ對セル負債ヲ消還セントスルニ
在リ此時政府ノ銀行ニ對セル負債高ト二億六千八百
万「フロリン」佛貨六億七千万「フラン」タリ然ルニ其内一
億八千八百万「フロリン」ハ千八百五十八年前ニ消却ス
ルノ約タリ即チ其方法タル一億三千四百五十万「フロ
リン」ハ國債ヨリ引去リ四千万「フロリン」ハ一千万ツハ
四ヶ年賦消却其餘ハ無期公債ト稱スル部類即第一項
ノ公債ノ順序ニ從テ消還スルノ法タリ而シテ此約ハ
緊于約ノ如ク履行セラレタリ然レハ政府ハ現存ノ公

債ヲ消還セント同時ニ更ニ其消還額ト殆ント同額ノ
新負債ヲ銀行ト締約シタリ
第八項ニ記スル所ノ公債ハ當時現ニ集募中ニ屬セシ
五億ノ國債ノ未收額ニ充ツル前借トシテ銀行ヨリ立
替ノ公債八千万「フロリン」ニ億「フラン」ヲ謂フ而シテ此
種ノ公債ハ固ヨリ短期ニシテ消還スベキノ筈ナリシ
カ遂ニ然ルヲ得ズシテ千八百五十五年ニ至テ更ニ二
千万「フロリン」ヲ増額シテ之ヲ次項ニ組込ミタリ
第九項ニ記載セル公債ハ千八百五十二年二月二十三
日二分利付公債ノ残額(第六項)及銀行ヨリ一時ノ立替

金一億「フロリン」以上二種ノ旧公債ヲ組替合併シタル
額ナリ而シテ其二種合計額一億五千五百万「フロリン」
即佛貸三億八千七百万「フラン」ハ特殊ノ處分ヲ設
ケテ消還方法ヲ為セリ其方法タルヤ政府ハ夥多ノ官
有地ヲ以テ銀行ニ附與シ銀行ヲシテ之ヲ賣却セシメ
其賣却代金ヲ以テ即チ其貸高ノ消還ニ充テシメタリ
蓋シ之ヲ賣却シテ以テ消還ニ充ツルハ消還ヲ速ニス
ルノ便法ナリト思想セシニ由ルナラン然ルニ夥多ノ
官地ヲ賣却スルハ決シテ一時ニ辨シ得ルノ事ニ非ス
故ニ千八百五十六年ヨリ千八百六十年ニ至ル四年間

ニシテ銀行ニ對スル政府ノ負債ヲ此方法ニ依テ消還
セシハ其額總ニ一千六百万「フロリン」佛貸四千万「フ
ラン」ニ過キザルナリ故ニ若シ此方法ヲ以テ此金額ヲ消
還セント欲セハ必ス尚ホ四十年ノ久シキヲ費サザル
ヲ得サルベシ乃チ政府ハ此消却ヲ速ニセント欲シテ
銀行ニ委シテ更ニ三千万「フロリン」ノ負債ヲ起サシメ
タリ但其金額ハ南部地方ノ鉄道ヲ賣却千八百六十年
ヨリ千八百六十五年マテ年賦收入ノ約アルヲ以テ之
ヲ以テ其公債ニ充ツベキモノトシ且ツ二千三百万「フ
ロリン」ノ官有地ヲ以テ之ニ抵償セリ

千八百五十九年又意國ニ事アリ政府ヲシテ更ニ銀行ヨリ新債ヲ買ハシムルニ至レリ即前記ノ表末ニ項ニ記スル所是ナリ其第十項ニ記スル所ハ千八百五十九年四月二十九日ノ公債ヲ立替ヘタル前貸金是レナリ此時政府ハ二億「フロリン」ノ公債ヲ募集シタレ其地集収ハ尤モ適宜ノ時機ヲ計ルカ為メ豫メ其集収ノ定期ヲ約セザリキ故ニ銀行ハ其未集ノ公債金ノ稱價三分ノ二ニ對シテ銀券ヲ以テ立替ヘザルヲ得ザリシ且同時再ヒ正貨拂出ヲ停止シ以後復タ嘗テ其制ヲ回復シタルナレ千八百五十九年ノ末ニ至ルマデニ

其新ニ為シタル前貸金ハ総額一億三千三百万「フロリン」ニ至リ二分ノ利息ヲ附セリ惟タ此前借金ヲ為スノ契約中一奇事アリ其金額ハ悉ク「フロリン」^五即十二「フロリン」ノ銀券ヲ以テス可シトセル是ナリ然レ氏市場ノ景況ヲ見ルニ其運用ノ量ハ此小額面ノ銀券ノミヲ以テ如斯ク夥多ノ通用ヲ為スニ堪ユベキニ非ザルヲ以テ其銀券ハ終ニ悉ク銀行ノ庫中ニ復歸シタリ而シテ其前貸金ノ辨償ニ充ツベキ公債ハ募集ニ應スル者逐ニ是タ少ク僅ニ其三分一ニダモ及ハズシテ其目的ヲ達スルヲ能ハズ故ニ政府ハ不得已シテ種々ノ抵償物

ヲ銀行ニ付シタリ

第十一項ニ記スル所ノ前貸金ハ其額ニ千万フロリン
即佛貨五千万フロラニニシテ千八百五十九年一月龍動
府ニ於テ募債スベキ公債券ヲ抵償シタルナリ其金額
ハ千八百六十年一月中政府ヨリ消還ヲ受クベキモノ
タリシカ遂ニ其約ヲ完了スルヲ能ハザリキ
以上記スル所千八百四十八年ヨリ千八百六十一年ニ
至ルノ間澳國政府カ維也納銀行ニ對スル關繫ヲ論說
セルト甚其詳細ニ涉レリ蓋シ如此キ政變多難ノ秋ニ
際會シ如此キ繁雜ノ關繫ヲ觀察スルハ頗ル將來ニ裨

補スル所アレハナリ一タビ定位通用ノ法ヲ立ツルノ
後再々將ニ正貨拂出ノ制ニ回復セントスルノ景況ニ
至ルモ内憂外患復々起レハ遂ニ回復ノ一步ヲ遂ケル
ヲ能ハズシテ更ニ又定位通用ノ制ニ步ヲ進ムルニ至
ルノ情狀及ビ假令動産不動産ノ抵償アルモ皆以テ政
府消還ノ義務ヲ實踐セシメ銀行ヲシテ定位通用ノ制
ヲ廢除セシムルノ効ナキノ理ハ之ヲ以テ明知ス可シ
又銀行ニ於テハ元資ヲ要セズシテ二分乃至三分ノ利
銀ヲ収得シ幾多ノ奇利ヲ占ムルヲ以テ銀行ニ於テハ
自ラ政府ニ阿諛シテ其利源ヲ求ムルニ至ルベシ此利

銀ハ佛國ニ於テハ百分ノ一意太利ニ於テハ百分ノ〇、
六タレハ之ヲ以テ比照スルモ百分ノ二乃至三トセル
ハ異常ノ昂利ナリト云フ可シ

澳國銀行ノ斯ク久シキヲ經テ漸ク銀行ノ本業ヲ衰シ
專ラ政府ノ貸主タル者トナリシカ為メ遂ニ其商業
ノ資金ヲ流通スルノ本業ヲ營ムノ困難ナルニ至レリ
蓋シ一人ニシテ二人ノ主家ヲ奉ズルヲ能ハズ一銀行
ニシテ已ニ政府ニ貸金ヲ為スニ任スル片ハ自ラ商工
者ニ對シテ其意ヲ満足セシムルヲ能ハザルベシ
澳國銀行券ノ流通高並ニ之ト權衡ヲ保ツベキ抵償通

貨ノ高ハ時ニ隨テ増減一ナラズ今左ニ之ヲ列記セン
千八百四十八年七月一日ノ其流通高二億一千八百九
十一千「フロリン」ニシテ其中正貨及銀行ノ蓄積並貸金
等ノ抵償アルモノ一億二千三百萬餘未タ集収セザル
政府ノ公債ノミヲ抵償トセルモノ九千五百十一萬三
千「フロリン」タリ千八百五十九年一月一日即銀行ニ於
テ正貨拂出ニ回渡セントシタルノ日ニ在テ流通額三
億七千〇〇二萬二千「フロリン」ニシテ其内正貨等ノ保
障アル者ハ二億二千〇七十八萬五千「フロリン」即流通
総額ノ百分ノ七十ナリ其他ハ惟タ政府ノ約束ヲ以テ

政
信

之カ保証トセルノミ千八百六十一年一月一日ニ至テ
ハ流通高四億五千二百二十四万九千百「フロリン」ノ内
其抵償アルモノハ一億九千八百十七万八千「フロリン」
即総高ノ百分ノ四十三ト八分ニシテ其餘ハ惟タ根源
ヲ政府ノ約束ニ突レ之ヲ以テ保証トセルノミ然ルニ
千八百七十四年十二月三十一日ニ至テハ流通高減シ
テ二億九千三百万「フロリン」ニ至リ正貨ノ貯藏一億三
千九百万銀券ノ庫中ニ現在セルモノ一億四千六百万
ニ昂リタレハ則チ殆ント其金額抵償ヲ有セルニ近シ
而シテ當時政府ニ貸典シタル金額ハ八千万ニ降リタ

レハ此景況ヲ以テ永續スルヲ得ハ從テ正貨拂出ヲ回
復シ得ニ「必ス期スベキガ如シ然レハ銀行銀券ノ外
政府発行スル所ノ許多ノ銀券アリ是亦計算ノ外ニ措
ク可カラズ千八百七十三年六月三十日政府ノ銀券ニ
シテ定位通用ノ法タルモノ三億七千三百万ニシテ其
定位通用ノ制ニ在ル所ノ銀券ノ總額ハ六億乃至七億
「フロリン」即チ佛貨十五億乃至十七億五千万「フラン」ニ
當レリ故ニ正貨拂出ノ制ヲ回復セントスルニハ必ス
先ツ夥多ノ政府ノ銀券ヲ廢除セサルヲ得ズ之ヲ要ス
ルニ銀行ノ發行高ニ於テハ過太ノ額ト云フ可カラズ

シテ且多年ノ間大ナル増減アルヲ見ズ千八百七十四
年十二月三十一日ノ額ノ如キハ已ニ前述ノ如ク千八
百七十八年九月三十日ニ至ルモ亦殆ント之ト同額ニ
シテ即チ其高二億九千七百万ナリ但シ其内正貨ノ貯
藏並ニ銀行ノ庫中ニ藏セルモノ各一億三千八百万ナ
リ而シテ政府ヨリ銀行ニ對セル負債ハ常ニ八千万餘
ニシテ銀行ノ資金九千万ト外ニ準備ヲ合セテ一億〇
八百万ナリ故ニ政府ノ負債ハ其資金ニ及ハザルモノ
トス是ヲ以テ見レハ澳國ノ困難ハ銀行ヨリ起ルニ非
スシテ銀行銀券ト同時ニ政府ヨリ直接發行セル銀券
アルカ為ノナリ故ニ若シ此定位通用ヲ廢セント欲セ
ハ宜ク政府發行ノ銀券ヲ減シテ其半額ニ至ラシムベ
シ
然ルニ千八百七十六年以來東方諸國ノ間ニ一大葛藤
ヲ生シテ未タ其終局ヲ見ルニ至ラズ若シ此事件ヲシ
テ此際ニ發セシメザリセハ澳國ノ此定位通用ノ制ハ
必ス既ニ脱却シ若クハ將ニ脱却セントスルニ際シタ
ルナルベシ不幸ニシテホスニ一ヘルゼゴヴヒースノ
占取領棄アリシカ為ニ遂ニ再ヒ澳匈帝國ノ財政ヲ
撼動セリ特リ此事件ノ為ニ困難ヲ起シタルノミナ

ラズ澳國ニ於テハ當時異常ノ大土功ヲ起シタルカ為
ノニ恰モ財政ノ困難ナルニ際會シテ此多難ニ遭遇セ
リ(澳國ハ各國ノ常例ニ倣テ鐵道ヲ建築スル一一年七
八百「キロメートル」ノ常數ニ居ルヲ足レリトセズシテ
二千乃至三千「キロメートル」ノ築造ヲ舉行セリ)此書印
行ニ付スルニ際シ(千八百七十九年四月)澳國ハ土耳其
事件ニ關スル諸費ニ充ツルカ為メ外國ノ市場ニ向
テ公債ノ募集ヲ開ケリ而シテ其通用タル定位銀券ト
本位銀貨ト同價ノ通用ヲ為スト雖氏金貨ニ對シテハ
百分ノ十七ヲ低落セリ蓋シ銀貨ノ價一般價格ヲ損失

シタルニ出ツルナリ故ニ此時ニ際シテ之ヲ銀貨拂出
ノ制ニ回復スルハ猶得易キノ事アリト雖氏之ヲ行フ
モ亦必ス其益ナカルベシ千八百七十八年十二月政府
ノ紙幣流通高三億六千四百万「フロリン」定位通用ノ銀
行銀券二億八千八百万「フロリン」即合計六億五千二百
万「フロリン」佛貨十六億三千万「フラン」ナリ試ニ見ヨ前
年普國意國ノ役アルノ前ハ殆ント定位通用ノ制ヲ晚
却セントスルノ是狀ニシテ其間ニ金ハ僅ニ百分ノ三
ニ過キガリレカ故ニ千八百六十七年一月ヨリハ正貨
拂出ヲ回復セント決シタルニ非スヤ然ルニ此時ニ至

リ復タ此景況ニ陥レリ具兵事ノ為ニ古来此回復ノ
期望ヲ破ラル、千八百七十九年四月十九日之ヲ以テ明知スベシ
佛國エコロミスト新聞中澳國貨幣ノ論ト題セルマニ、ス、パ、ラ、ール氏ノ通信書ニ詳ナリトシ
千八百四十八年以未澳國ニ於テハ定位通用ノ制ナル
銀券ノ高低ノ變動ニ遭ヒタルハ固ヨリ其當然ニシテ
異レムニ足ラザルナリ然レ共其流通高決シテ非常ノ
高額ニ至ラザリシヲ以テ千八百年代ノ始ノニ方リテ
佛國紙幣ノ低落セシカ如キノ甚キニハ至ラザルナリ
其高低ヲ為シタルノ原由ハ就中國事ノ變動ノ為ニ
無限ノ發行ヲ為スニ至リ國家ノ困難ニ遭フテ破産ヲ

為スニ至ラントスルノ恐レアルニ因レリ其高低ノ度
ヲ見ルニ大約左ノ如シ千八百四十八年三月五日ニハ
銀貨百ト八分ノ一タリ即チ百「フロリン」ノ銀貨ハ紙幣
百「フロリン」ト八分一ヲ以テ交換セリ千八百四十八年
五月二十二日（即チ銀行銀券ノ定位通用ヲ發令セシ日）
ニハ銀貨百ノ相場ナリ即チ銀貨百「フロリン」ハ紙幣百
「フロリン」ヲ以テ交換セリ千八百四十九年八月十三日
（即チ匈牙利及謀ノ時）ニハ銀貨百二十七ト二分ノ一タリ
千八百五十年十一月二十六日（即普國ノ葛藤アルノ日）
八百五十二トシ千八百五十九年六月六日（意大利戰爭）

ノ際ハ百四十四トナリ千八百六十一年一月三十日(白
牙利紛乱ノ日)ハ復タ百五十二ニ昇リ千八百六十六年
六月十日(普國ト戦争ノ日)ニ至テハ百四十五即チ百「フ
ロリン」ノ銀貨百四十五「フロリン」ヲ以テ交換セリ是ヨ
リ漸次ニ銀貨ノ間ニ金ハ百分ノ九乃至十ニ降レリ故
ニ此間ノ高低ハ皆國事ノ變動ニ原因セルモノニシテ
其低落ノ極モ遂ニ百ニ付五十二ヨリ降レル「ナレ然
ルニ近年ニ至リ東洋土耳其ノ事件起ルニ及テ澳國單
一本位ナル銀貨ノ低落ヲ来タレ之カ為メニ金貨ニ對
シテ銀券ノ低落ヲ加ヘタリ千八百七十七年ノ秋ニ當

リ金貨二十「フラン」ハ元トハ「フロリン」ニテ平準クルヲ
此時ニ於テハ維也納ノ相場九「フロリン」九十三ニ至レ
リ故ニ金貨ニ對セル銀券ノ低落ハ殆ント百分ノ二十
三ニ當レリト雖モ銀貨ニ對シテハ只僅ニ百分ノ七乃
至八ニ過キガリキ然レモ爾来ホスニ及ヘルゼコヴ
「」又ノ事件アルニモ拘ラス貨幣ノ相場ハ漸ク以テ
鞏固ナルヲ得ルニ至レリ千八百七十八年九月ニハ金
貨二十「フラン」ノ價維也納ニ於テ九「フロリン」三十タリ
故ニ其紙幣ハ百ニ付十九ノ損失アルノミトス
澳國ニ於テ定位銀券ノ制如斯ク永ク行ハレテ通貨ノ

價格ヲ變動セシメタルハ實ニ慨嘆スベキノ事ナリ蓋
シ此邦ニ於テハ一タヒ此車轍ニ陥リタルモ其線外ニ
脱出スルハ必ス難キニ非リシナルベシ惠フニ其之ヲ
脱出スルノ方法タル豫算中ニ餘贏ヲ設ケテ以テ嚴ニ
銀行ニ對セル約束ヲ履行シ且政府發行ノ銀券ノ一部
分ヲ廢除スルヲ以テ足レリトスベシ然ルニ不幸ニシ
テ澳國ノ歲計ハ連年欠乏ヲ告ケルノ景狀タリキホル
ニ氏印行ノ萬國公債年報千八百六十一年ノ卷ニ千八
百三十一年ヨリ千八百五十九年ニ至ルノ間澳國歲計
豫算ノ景狀ヲ畧述セリ左ニ抄録セシ此間凡ソ二十九

年ノ時期ハ分テ之ヲ二期トセザルヲ得ズ即チ千八百
四十八年ノ事件ヨリ以前及其以後是ナリ千八百四十
八年以前ハ大平無事ノ日ニ際スト雖氏其欠乏ヲ見ル
ト殆ント連年ノ景狀タリ千八百三十一年ヨリ千八百
四十七年ニ至ルノ間凡テ十七年歲計ニ殘餘アリシハ
僅ニ四年ノミ此數年間ノ不足總額ハ餘贏ノ額ヲ引去
リテ一億四千三百万「フロリン」即佛貨三億五千七百五
十万「フラン」トス其年々平均額ハ八百四十五万「フロリ
ン」即二千一百万「フラン」餘ナリ又千八百四十八年ヨリ
千八百五十九年ニ至ル十二年間ハ更ニ其景況ヲ甚ク

ス其一期間一年モ絶テ出入ノ平準ヲ得タルヲナシ其
欠額十二年間ノ總計十二億三千二百五十二万四千五
百「フロリン」即佛貨三十億〇八千一百万「フラン」ニシテ
年々ノ平均ハ一億〇二百七十一万〇三百八十三「フロリ
ン」即佛貨二億五千五百「フラン」トス又此一期間尤モ不
足ノ少キ年度ハ千八百五十八年ニシテ其額五千八百
十二萬一千四百八十一「フロリン」即佛貨一億四千五百
万「フラン」タリ如斯ク歲計ノ瑕瑾連年見シキヲ極メタ
レハ定位通用ノ制ヲ脱却スルヲ得ルノ勢カヲ有セザ
ルヲ亦異ムニ足ラザルナリ

又一面ヨリ視レハ難也納銀行ハ自己ノ利害ニ於テハ
決シテ正貨通用ノ制ヲ回復スルヲ急トセザルヲ明カ
ナリ特ニ其回復ヲ急トセザルノミナラズ其政府ニ貸
出シタル金額ハ素ト自ラ費用ヲ要セズレテ巨多ノ利
益ヲ占ムベキモノタレハナリ且政府ハ之ニ抵償ヲ下
付セリ然レテ其抵償ハ多クハ多年ノ間ニ於テ之ヲ賣
却シテ以テ銀券ノ多數ヲ廢除シ隨テ其流通高ヲ輕減
スルヲ得ヘキモノタリ然レ氏銀行ニ於テハ此目的ヲ
実践スルニ於テ毫モ自ラ急トスルヲアラザルベシ
今試ニ澳國政府ノ為メニ計ルニ此抵償ナルモノハ悉

ク銀行ニ付與スベキニ非シテ政府自ラ之ヲ使用シ
テ資金ヲ收入スルノ方法ニ供用シ其入額ヲ以テ銀行
ニ消逐ス可キノ筈タリキ而シテ又内國又ハ外國ニ於
テ公債ヲ開キ利銀八分乃至九分ノ高度ニ達スルニ拘
ラス断然五六億「フラン」ノ公債公債ヲ募集スルノ決心
ヲ有セザル可カラズ如此クセハ必ス定位通用ノ制ヲ
脱スルノ道ヲ見出シタルナラン而シテ其利銀ヲ拂フ
ニ供シタル損失ハ緊子其後ニ至テ公債ヲ以テ租稅ヲ
收入スベキニ付キ其剩餘ヲ以テ自ラ其損失ヲ補償ス
ルニ足ルベキナリ

然ルニ澳國政府ハ是ニ出テズシテ好テ急ナラザルノ
土木ヲ起シ加之政署上ノ為ニ日ヲ逐テ兵備ヲ増加
セザルヲ得ザルニ至レリ惟フニ定位通用ノ法ハ臨時
急速ノ資金ヲ得ルノ一時ノ便法タルニ過キザルナリ
然ルニ澳國政府ハ之ヲ其一時ノ便法ト思惟セザリシ
ハ抑該政府此失誤ニ陥リタルノ原因ナリ
此制ヲ施シ隨テ通貨ノ高低ヲ惹キ起シタルヨリ澳國
ノ為ニハ特ニ有形ノ損失ヲ加ヘタルノミナラス亦
無形ノ損害モ決シテ之ヨリ甚シカラストセサルナリ
澳國ノ俗相場ヲ好ミ投機ノ所業アルト上下風ヲ為シ

甚レキハ上ニ將帥ヨリガブレント大將遂ニ自殺セシ
カ如キノ事アリ下暗昧ナル野民ニ至ルマテ擧テ之ニ
熱心ス蓋シ如此キモノハ幾分カ此制ヲ施シタルニ原
因セルナリ千八百七十三年維也納ノ銀舗ニ於テ此大
變動ニ遭遇セシカ如キノ通貨定價ナク日々ノ投機ニ
高低セラレノ邦ニ在ラザレハ此景情ヲ生スルナ
シ千八百七十四年以來銀貨大ニ低落セラヨリ銀貨ノ
ハ勢アリ故ニ此國ニ於テハ正貨通用ノ制ニ回没スル
ハ亦決シテ難キニ非ルベシト雖氏金貨ヲ以テ榮子文
明國ノ本位ト定ムルヲ以テ自ラ
復タ金貨ト高低ヲ為スニ至ルヘシ
澳國ノ定位銀券ノ事跡ハ之ヲ説述スルニ易カラズト

雖氏猶之ヲ為スベシ特ク魯國ノ定位銀券ニ至テハ具
事跡全ク言フ可カラズ蓋シ此社會ノ此通病此國ニ傳
播セシハ其起源甚ク遠シ千七百六十八年十二月二十
九日勅章ニ魯國新ニ紙幣ヲ行フノ事アリ當時此大國
ノ版圖内ニ普通セル通貨ハ銅貨タリシヲ以テ政府ハ
銅貨ノ通用ニ不便ニシテ運搬ニ易カラザルニ口ヲ藉
リテ以テ「アツレギヤ」ト稱セル紙幣ヲ發行セリ此紙
幣ハ國庫ニ於テハ通貨ト同價ヲ以テ受収スベキノミ
ナラズ租稅ヲ納ムル者ハ其納額十分ノ一ハ必ス此
紙幣ヲ以テ納ムベキノ法タリ而シテ此紙幣ハ銅貨ト

交換スベキ者ニシテ其交換局ヲ聖彼得堡府莫斯科府
等其他各地方ニ設置シ以テ其交換ノ便ニ供セリ千七
百七十四年一月十日ノ「ユカリーズ」魯帝勅令ノ名ヲ以テ「アツシ
ギヤール」ノ発行額ハ二千万「ル」トブル即佛貨ハ千万「フ」ラ
ニ」ヲ超ユベカラズトセリ而シテ其発行ノ當初ニ於テ
僅々タル低落ヲ為シタルニ止リテ其他曾テ大ナル高
低ヲ為シタルトナシ也竟紙幣ト稱スト雖其実ハ國
ノ通貨即チ銅貨ニ交換スベキヲ以テ嚴ニ字義ヲ論ス
ルキハ之ヲ紙幣ナルモノニ非スト云フテ可ナリ
然ルニ「アツシギヤール」ノ発行額ノ制限ヲ定メタル豫約ハ

此後幾ハクモナクシテ違背セラレタリ即チ土耳其ノ
役起ルニ及テ國費少カラズ不得已シテ政府ハ此流通
ヲ擴張シ以テ其歳資ヲ増補スルヲ謀ルニ至レリ千七
百八十六年六月二十六日ノ勅章ヲ以テ「アツシギヤール」
ノ発行限度ヲ一億「ル」トブルト改制セリ是ヨリ始メテ
低落ヲ為スニ至レリ

千七百年代ノ末魯國紙幣流通額並銀貨「ル」トブルノ
價格表千八百六十四年一月十五日「ル」グヰウ、ド、ヅ、
モ、ハ、ド、(雜誌ノ名)所載ウホロス、キ氏著ノ魯國
定位銀券ノ起原ヲ論
スル書中ニ詳ナリ

アツシギヤ年度内紙幣ニ對セ

年	流通額	新発行額	銀貨ノ價
千七百八十八年	四〇〇 <small>（百万位）</small>	六〇 <small>（百万位）</small>	一〇三 <small>（ポツク）</small>
千七百九十年	一〇〇	一一	一一五
千七百九十一年	一一一	六	一二三
千七百九十二年	一一七	三	一二六
千七百九十三年	一二〇	四	一三五
千七百九十四年	一二四	二一、五	一四一
千七百九十五年	一四五、五	四、五	一四六
千七百九十六年	一五〇	七、七	一四七

原註 銀貨「ル」ハ其量ニナシテラハレシハ其分量ナ分ノ八百七十八トス佛貨ニハ較スレハ「ル」ハ百分レタル貨幣ヲ「ゴ」ツク「ト」云フ

之ニヨツテ見レハ千七百九十六年ニ於テ已ニ銀貨一「ル」ブルニ交換スルニ殆ント紙幣一「ル」ブル半ヲ要セリ其低落ノ急ナリシ「ト」推テ知ルベシ從テ物價並勞カモ從テ騰貴セリ故ニ政府ハ其發明施行シタル方法ニ依テ自ラ損失ヲ蒙ル「ト」ナカランカ為メニ千七百九十四年六月二十三日ノ勅令ヲ以テ農夫ノ分頭稅ヲ増加セザルヲ得ザルニ至レリ蓋シ産スル所ノ物自ラ其價ヲ増シタルヲ以テ農夫モ亦自ラ其農耕其他ノ業ニ

依テ多分ノ利ヲ得ルヲ得ベケレハナリ又其他多ク増
税シタリ

千七百八十六年ニ定メタル「アツシギヤ」発行制限一
億「ル」ブルハ復タ初ノ二千万ノ限度ヲ超ヘタルト同
ク容易ニ超越セリ蓋シ魯帝「カテリ」スノ崩セラレタ
ルハ紙幣ノ額現ニ一億五千七百七十万^〇三千「ル」
ブル即佛貨凡ソ三億三千万「フラン」タリシト云フ思フ
ニ此負額ハ當時戸口疎ニシテ商工ノ業未タ盛ナラザ
ルノ邦ニ於テハ過太ノ數ナリト云フベシ而ルニ尚ホ
千八百年代ノ初ノニ當テ歐洲諸國争乱相繼キ之カ為

ノニ此発行ヲ増加セシムルニ至レリ千八百十年ニ至
テハ其流通額五億七千七百万「ル」ブル佛貨二十三億
〇八百万「フラン」タリ西歴山帝一世ニ至ラ此諸券ヲ認
メテ政府ノ公債ト為シ公ケノ資産ヲ擧ケテ之カ保証
ニ充テ且爾後更ニ之ヲ発行スルヲナキヲ約セリ然レ
氏千八百十七年ニ於テ其流通高ヲ見ルニ八億三千六
百万「ル」ブル^〇三十三億四千四百万「フラン」アリ而シテ
此時ニ及テハ紙幣ノ價格ハ銀貨ノ四分ノ一ニ降レリ
ト云フ

此紙幣ハ種々ノ財政處分ヲ以テ具一部分ヲ廢棄セシ

トスルノ意アルヲ表シタルト少カラズ即チ千八百十
年五月二十七日ノ勅章ヲ見ルニ「アツシギヤ」ノ流通
高ヲ減殺セシカ為メニ内國公債ヲ起シ並ニ官有地ノ
一部分ヲ賣却スルノ件ヲ示シタリ但シ千八百十七年
ニ至テ始テ此種ノ事業ヲ施行セリ即チ八十三、三分一
ノ價額ヲ以テ六分利付ノ債券ヲ發行シ之ヲ募集セリ
而シテ其債券ハ紙幣ヲ以テシタルヲ以テ無利子公債
ヲ改メテ有利公債ニ變改シタルニ異ナラザルナリ又
千八百十八年ニ八十五ノ相場ヲ以テ更ニ公債ヲ募リ
千八百二十年ニ至テ七十二ノ價額ヲ以テ五分利付ノ

外國債ヲ開ケリ又此他ノ公債ハ七十七乃至七十七半
ノ價額ヲ以テ之ヲ募集セリ而シテ其公債ヨリ成立シ
タル収金ノ一部分ハ之ヲ以テ紙幣ノ總額中幾多ノ流
通ヲ廢除スルニ供セリ故ニ千八百二十二年ニハ銀券
ノ總額五億九千五百七十七万「ル」ブル（即チ二十三億
八千三百万「フラン」ニ減少セリ然シテ此金額ハ猶多キ
ニ過クト雖氏之ヲ此公債以前ニ比スレハ殆ント其三
分一ヲ減セルナリ

當時魯廷ニ在リテ財政ヲ經理スル者ハカンクレン侯
タリ侯ハ公債ヲ募リテ紙幣ヲ廢除スルノ策ヲ欲セズ

其無利子公債ヲ有利ノ公債ニ變スルノ損失タルヲ恐
レタリ其見甚タ隘小ナリト云フ可シ惟タ候ハ在職ノ
間土耳其波斯及波瀾ノ役等相繼テ起リ為メ勢ハ紙
幣ノ増發ヲ企ツベキノ情勢ニ在リシニモ拘ラズ猶能ク
十三年ノ久シキ之ヲ増發セス其流通高ラシテ同額ニ
保チタルハ實ニ其功勞ト稱スベシ當時其紙幣ノ價格
ハ銀貨ノ四分ノ一ニシテ國庫ノ受取モ亦一「ル」ブル
ノ銀貨ハ三「ル」ブル「六」十「コ」ベツクノ價格トシ市場ノ
通用ハ四「ル」ブル「三」十乃至四十「コ」ベツクトセリ
千八百三十九年七月一日ニ至リ政府ハ更ニ一ノ處分

ヲ施行シ以テ紙幣ノ低落ヲ確認スルニ至レリ即チ其處
分ハ銀貨「ル」ブルヲ以テ以テ後一定シテ帝國ノ通貨ト
ナシ之ヲ以テ單一ニ歸シテ他ノ通用ヲ止メ且紙幣ハ
銀貨一「ル」ブルノ價格三「ル」ブル半ト確定セリ且民
間ノ諸契約ハ勿論政府ニ對スルモノニ至ルマテ契約
ハ皆必ス銀貨ノ「ル」ブルヲ以テ定ムベシトセリ之ヲ
要スルニ半ハ破産セリト云フモ取テ不可ナル「十」カ
ルベシ

此處分ヲ施シタルノ後チ更ニ一ノ方法ヲ行ヒタリ其
方法タルヤ嘗テ澳佛二國失敗ヲ取リタルノ覆轍アリ

本
效
六

即チ我佛國ノ例舊紙幣ヲ廢シテ更ニ減額シタル他ノ
新紙幣ヲ以テ之ニ代ヘタルカ如キ即チ其「アツシギヤ
」ナル者ニ代ルニ土地抵償銀券ヲ以テセシカ如キノ
類是ナリ如此クスルハ其新紙幣（旧紙幣ノ）ハ三十分ノ一ヲ以
テ交換シ得ルノ割合ナレハナリ又澳國ノ例「バンコゼ
」ツテルヲ廢シテ更ニ引替銀券ヲ発行シタルカ如キ是
ナリ即チ引替銀券ハ旧券ヨリモ五分ノ一ヲ減スベケ
レハナリ魯國ニ於テハ乃チ此諸例ニ倣テ銀貨ト價格
ヲ同スベキ信用銀券ト名クル一種ノ新紙幣ヲ発行シ
テ以テ旧券「アツシギヤ」ニ代ヘシメント欲シタリ乃

チ千八百四十三年六月一日「アツシギヤ」ヲ引替棄廢
スルノ令ヲ發シ更ニ信用銀券ヲ以テ其三分一ノ額
ヲ發行シテ之ニ代ヘタリ而シテ信用銀券ナル者ハ官
有地ヲ以テ之カ保証ニ充テ且ツ其價格ヲ維持スルカ
為メニ千八百四十四年十二月金銀貨七千〇四十六万
四千二百四十五「ルーブル」九十九「コベツク」ヲ魯都聖彼
得堡ニ輸入シ之ヲ以テ銀行ノ委員二十四人ノ監督ニ
付セリ又千八百四十五年七月十四日此資金一千二百
十八万「ルーブル」ヲ増加シ即チ之ヲ合計スレハ一億七
千万「ルーブル」ノ紙幣ニ對シテ正貨八千二百五十万「ル

「ブル」ヲ保存セルニ過キズト雖氏當時ニ在テハ之ヲ以テ信用銀券ノ價格ヲ維持シ及正貨ノ交換ヲ保証スルニ足レリトセルナリ

匈牙利ノ遠征起ルニ至ルマテハ魯國紙幣ノ流通ハ大ナル高低變動ヲ蒙レリト云フ可シ當時魯國ノ資金外國ニ出テタル者其額一億「フラン」ニ降ラズ就中千八百四十七年ニ至テハ五分利付ノ佛國ノ年金五千萬「フラン」ヲ百十五「フラン」七十五「サンチム」ノ相場ヲ以テ購買セリ然レ氏千八百四十九年ニ於テ信用銀券ノ流通高ハ殆ント百分ノ八十ヲ増加シテ遂ニ三億「ル」ブル

ノ巨額ニ昂レリ

此後東洋ノ役^{土耳其}アリテ為メニ復タ信用銀券ノ土崩瓦解ノ景况ヲ招ケリ千八百五十四年三月ノ計ヲ見ルニ保証ノ為メニ備ヘタル銀貨一億五千九百九十一万八千「ル」ブルタリシカ其九月ニ至テハ一億四千六百五十六万三千「ル」ブルニ降り信用銀券ノ現高ハ此際三億四千五百九十二万七千「ル」ブルニ昇レリ此數ト云ヘ氏已ニ過太ノ巨額ナルニ爾後猶益多キヲ加ヘ千八百五十五年ニハ五億〇九百万「ル」ブルニ千八百五十六年ニハ六億八千九百万ニ至リ千八百五十七年

ニ至テハ更ニ増加シテ七億三千五百万「ル」ブル（即佛
貨二十九億四千万「フラン」ノ多キニ至レリ
蓋シ魯國ノ財カラ觀察スルニ蓋シ紙幣ノ流通三十億
「フラン」ノ需用アラザルハ論スルヲ疑タザルベシ故ニ
初メ發行シタル「アツレギヤ」ニ代用スベキ信用銀券
ト雖氏亦其旧券ヨリモ更ニ確實ナル「能」ハズシテ遂
ニ多年ヲ出テズシテ其價格ヲ低落スルニ至レリ是実
ニ佛國ノ土地抵債ノ銀券並澳國ノ引替銀券ト其類ヲ
同セルモノナリ

信用銀券ヲ正貨ニ交換スルハ「クリメア」ノ役以前ニ在

テハ未タ之ヲ全廢レタル「アラズ」ト雖氏當時已ニ多
少ノ制限アリ其制限トハ地方ニ設クル官庫ニ於テ正
貨ト交換スルハ「ル」ブル「マテ」ヲ以テ其足限トセ
ルカ如キ是ナリ但夕聖彼得堡府ノ官庫ハ交換ノ請求
ニ應シテ其全額ヲ拂出シ莫斯科府ノ銀行ニ於テハ三
千「ル」ブル「マテ」正貨ヲ拂出セリ尤モ如此キ制限アル
ニ拘ラズ銀券ノ發行高異常ニ増殖スルニ至ルマテハ
尚ホ能ク其價格ヲ保存スルヲ得タリ
和成リ兵解クルニ及テヨリ數年ニシテ（紙幣ノ價格一
時四分ノ三ヲ損失セシ「アル」ニ依リ）其改良ノ方案ヲ

立ツルノ急ナルヲ知り之ニ大ニカヲ致セリ然レ氏具
方案タル嘗テ澳國ニ於テセレカ如ク一大國立銀行ヲ
設立セハ必ス改良ノ功ヲ奏スベレト信レタリ故ニ千
八百六十年國立銀行ヲ設置シタリ千八百六十一年五
月一日ノ計算ニ据レハ該行ノ準備正貨八千六百万ル
ーブル^{三億四千四百萬フラン}ニシテ之ニ對セル流通
高ハ七億一千四百六十二万七千〇六十九ルーブルニ
十八億五千六百万フラン^ニタリ而レテ一ルーブルノ紙
幣四フラン^{銀貨ノ如ク}ノ價格ヲ保有セズレテ三^三フラ
ン^{三十}サンチムト三^三フラン^{六十}サンチムトノ間

ニ在テ上下セリ於是テ當時國立銀行ノ副管長ラマン
スキ氏ハ官有ノ土地森林製造所器械所及鐵道等ヲ賣
却スルノ權ヲ以テ該銀行ニ付與セニ^一ヲ發議セリ然
レ氏澳國ノ前例ニ拠テ考フルハ此賣却ヲ為スハ許
多ノ時日ヲ費スヘキ者タルヲ以テ此方法ハ未タ以テ
急ニ定位通用ヲ廢スルノ便ヲ為スニ足ラザルナリ且
ラマンスキ氏ハ國立銀行ノ性質ヲ一變シテ株金銀行
トナシ且銀券發行ノ特權ヲ付與セント欲セリ又同氏
ハ逐次遞減ノ法ヲ以テ政府發行ノ銀券ヲ消還スルノ
方法ヲ直チニ施行セン^一ヲ建議セリ金貨半^{アム}マリ

ヤルノ貨幣名ハ銀貨五「ル」トブル十五「コ」ベツクタルヲ千八百六十二年中ハ紙幣五「ル」トブル七十「コ」ベツクニ千八百六十三年上半年中ハ五「ル」トブル五十「コ」ベツクニ同年下半年間ハ五「ル」トブル三十五「コ」ベツクニ千八百六十四年中ハ五「ル」トブル二十五「コ」ベツクニ交換シ千八百六十五年一月一日ヨリ始メテ五「ル」トブル十五「コ」ベツクノ平價ヲ以テ交換スベシトセリ
此遞減ノ法ハ固ヨリ奇巧ノ方按トス英國ニ於テモ亦嘗テ此法ヲ施行シタル「ル」トアリ魯國政府ハ乃チ此種ノ計策ヲ用ヒシ「ル」トヲ決シ五分ノ利銀ヲ以テ一千五百万

磅ノ公債ヲ起シ具入ル所ヲ以テ千八百六十二年四月四日ノ議定ニ從テ銀行ノ準備正貨ノ増補ニ充テタリ即チ其準備ノ金庫ヲ見ルニ其金銀ノ「ル」トブル七千九百万アリ及其外公債ニ登記セルモノ一千二百万アリ而シテ募集ノ公債ニ依テ收受シタル銀券ハ悉ク廢毀スベキモノトシ又銀行ハ金銀貨及其他ノ銀券ニ換テ更ニ紙幣ヲ増發スルヲ止メタリ加之ナラズ千八百六十二年五月一日以降左ノ定價ニ隨テ正貨ニ交換スベシトセリ具表如左シ

千八百六十二年五月一日 銀貨一「ル」トブルニ付

紙幣百十「コベツク」半

千八百六十二年十月一日 銀貨一「ル」ブルニ付

紙幣百七「コベツク」半

千八百六十二年十月一日 銀貨一「ル」ブルニ付

紙幣百七「コベツク」

千八百六十二年十二月一日 銀貨一「ル」ブルニ付

紙幣百六「コベツク」半

千八百六十三年一月一日 銀貨一「ル」ブルニ付

紙幣百六「コベツク」

千八百六十三年八月一日 銀貨一「ル」ブルニ付

紙幣百ニ「コベツク」半

千八百六十三年九月一日 銀貨一「ル」ブルニ付

紙幣百ニ「コベツク」

千八百六十三年十月一日 銀貨一「ル」ブルニ付

紙幣百一「コベツク」三分ノ一

千八百六十三年十一月一日 銀貨一「ル」ブルニ付

紙幣百一「コベツク」

千八百六十四年一月一日 銀貨一「ル」ブルニ付

紙幣百「コベツク」

蓋シ此方案ヲシテ具效功ヲ遂ケシメンカ為メニハ大

ニ公債ヲ起シテ巨額ノ金ヲ收入シ以テ其銀券ヲ悉ク
廢棄セサルヲ得ス加之ナラス外國ノ市場ニ於テ其價
格ヲ保有スルヲ必要トセリ而シテ其実況ヲ見ルニ其
初メニ方テハ頗ル順適ナル景狀ヲ見ハセリ從テ平準
ノ價格ヲ以テ正貨ヲ拂出スノ期限ヲ數月間短縮スル
ヲ得ベシト思惟セリ然ルニ幾クナラズシテ一大困難
ニ遭遇セリ即チ銀行ヨリ毎月拂出ス所ノ正貨ハ其收
入スル所ヨリモ甚タ多キニ至レリ千八百六十二年五
月一日ヨリ千八百六十三年一月一日ニ至ルマテニ其
入出ニ及ハザル一十千〇三十七万「ル」即一月平

均百二十五万「ル」ナリ又千八百六十三年一月ハ
其出額ノ超過二百二十八万七千「ル」其二月ハ四
百九十二万一千「ル」其三月ハ七百七十二万三千
「ル」其四月ハ一千〇二十万三千「ル」五月ハ
一千〇三十六万七千「ル」其六月ハ二百二十三万
三千「ル」七月ハ六百七十五万一千「ル」又八
月上旬ニハ四百四十万八千タリ又金ヲ以テセズシテ
銀貨ヲ拂出サント試ミタリト雖氏尚ホ未タ其目的ヲ
達スルヲ能ハザリキ依テ千八百六十三年十一月十九
日ノ勅令ヲ以テ復タ全ク銀券ノ交換ヲ停止セリ故ニ

其計ル所モ亦遂ニ其功ヲ奏セザリキ抑千八百六十二年五月中ハ巴里ノ為換百「ル」一「ブル」ニ付三百五十五「フラン」五十「サ」ニ「チ」一「ム」タリシカ其六月ニ至テハ三百五十八「フラン」八十「サ」ニ「チ」一「ム」ニ七月ハ三百六十二「フラン」八月ニハ三百六十四「フラン」九月ニハ三百六十八「フラン」ニ至レリ故ニ漸次平準ノ價格ニ接近スルニ至レリ千八百六十三年十月二十九日ニハ三百九十八「フラン」タリシカ僅々三

日ヲ經テ十一月一日ニ至テハ三百六十七「フラン」ニ降り遂ニ復タ三百五十「フラン」ニ降り爾後終始此間ニ上下セリ此計策固ヨリ其十全ノ功ヲ奏スルニ足ラズト雖氏信用銀券ノ流通高ハ之カ為メニ多少ノ減額ヲ成シ千八百六十三年十一月三十一日ニハ其流通高六億三千四百七十七万三千九百二十九「ル」一「ブル」ニ過キガハ未タ以テ過當ニ非スト云フ可ラズ

爾後其景状ヲ察スルニ猶改良ニ至ラズ千八百七十五年及千八百七十六年ノ初メニ於テ紙幣ノ價格ハ佛貨

三「フラン」二十「サンチム」ヨリ三「フラン」五十「サンチム」ノ間ニアリ即チ其称價ノ百分ノ十二乃至二十ヲ損減セルナリ然ルニ千八百七十六年十月以来没夕開戦ノ機ヲ顯シ人心益洶々タルノミナラス魯廷ハ此時ニ至リ必ス紙幣ヲ増發シタルナルベシ之ヲ以テ又遽ニ其低落ヲ招キタリ千八百七十六年ノ春ヨリ此書ヲ再閱スルニ至ルマテ千八百七十九年四月巴里ヨリ聖彼得堡へノ為替相場ハ百「ルーブル」ニ付キ三百「フラン」乃至二百四十「フラン」タリ即チ元来平準百「ルーブル」ニ付四百「フラン」ノ相場タルヲ當時ハ時價ニ從ヒ三百乃至

二百四十「フラン」ノ相場トナリシナリ且東方事件ノ有無ハ姑ク措キ魯廷ハ十四年末嘗テ紙幣ノ廢絶ニ力ヲ致ス「ナシ」蓋千八百六十三年信用銀券ノ高ハ已ニ前述ニ知ルベキヲ以テ今又爾後ノ増額ヲ示サン千八百七十三年經濟統計年表ニ据レハ千八百七十二一年一月一日ノ現額紙幣七億二千四百二十一萬四千「ルーブル」佛貨二十八億九千六百八十五萬六千六百六十「フラン」トス其細別如左ニ

紙幣額	紙幣枚數	價額
面高		但ルーブル

一「ル」ブル	七四、八〇九、五一〇	七四、八〇九、五一〇
三「ル」ブル	三一、八二四、七六〇	九五、四七四、二八〇
五「ル」ブル	二二、三九五、二〇二	一一一、九七六、〇一〇
十「ル」ブル	一〇、四七〇、九五四	一〇、四七〇、九五四
廿五「ル」ブル	五、八四七、九八八	一四六、一九九、七〇〇
五十「ル」ブル	二、〇八一、〇六四	一〇、四〇五、三二〇
百「ル」ブル	八六九、九一八	八六、九九一、八〇〇
合計	一四八、二九九、三九六	七二四、二一四、〇四〇

此表ヲ以テ見ルニ其総額ノ内百「フラン」以下ノ額面ノ小紙幣殆ント其五分ノ三ヲ占メタリ而シテ此全額ハ

千八百七十一年一月一日ノ流通総額ニ比スレハ八百四十万四千百五十六「ル」ブルノ増加ニシテ其額ヲ保証スル所ノ正貨ノ額ハ千八百七十二一年一月一日ノ計一億五千八百七十二万七千六百四十五「ル」ブル佛貨六億三千二百五十一万〇五百八十「フラン」タレハ其流通紙幣ヲ保証スル丁其称價ノ四分ノ一ニ及ハズ是ヨリ爾後ノ計ハヴェスロウスキ氏著魯國財政年報ニ據ルニ千八百七十四年一月一日ニ於テ流通銀券ノ額七億九千二百二十六万二千五百「ル」ブル佛貨三十一億六千八百万「フラン」詩ニシテ其年十二月三十一日ニ至テ

ハ七億九千七百三十一万三千五百「ル」ブル佛貨三十
二億「フ」ラン「タ」リ即チ其一年ノ間ニ増加セシ「フ」大約三
百万「ル」ブル「ト」ス又之ヲ保証スル所ノ正貨額モ亦從
テ同一ノ割合ヲ以テ増進セリ即チ千八百七十四年十
二月三十一日ノ計ハ三億三千百二十二万七千「ル」ブ
ル「タ」リ然レハ流通總額ノ内全ク正貨ノ保証ナキモノ
大約五億六千六百万「ル」ブル佛貨二十二億六千四百
万「フ」ラン「ニ」シテ其正貨額ノ準備ハ流通額ノ三分一ニ
及ハザルナリ

東洋ノ後ニ際シ千八百七十七年七十八年ノ間及其前

年中魯國ハ兵備ノ為メニ費セシ所甚タ少カラズ就中
紙幣ヲ増發シテ之ヲ支辨セシモノ之カ多キニ在リ千
八百七十六年七月一日ノ計ニ据テ見ルニ其紙幣ノ流
通額六億九千三百万「ル」ブル即佛貨二十七億七千二
百万「フ」ラン「タ」リシカ千八百七十八年四月一日ニ至テ
ハ十七億一千万「ル」ブル即佛貨四十二億八千四百万
「フ」ラン「ニ」及ヒ夫ヨリニケ月ヲ経テ又二千二百万「ル」
ブルヲ増發セリ龍動「エ」コ「ト」新聞之ニ由テ見レ
ニ據テ此數ヲ抄記ス
ハ魯國ノ紙幣ハ僅ニニケ年ヲ經ズシテ四億「ル」ブル
即チ稱價佛貨十六億「フ」ラン「ヲ」増加セリ故ニ此増發ア

ルニ付テハ自ラ十六億フランノ正貨ヲ備ヘテ之ヲ政
府ノ手ニ有セサル可カラズ然ルニ此準備ヲ設ケザリ
シカ為メニ開戦中百ニ付三十乃至四十ヲ低落シタリ
故ニ之ヲ要スルニ此時魯國政府ノ収得シタル金額ハ
大約実價十一億フラン^レ餘タルベシ且銀券ニ抵償セル
地金銀ヲ以テ貨幣ヲ鑄造セリ故ニ地金銀ノ數千八百
七十六年一月一日ノ計ニ億三千一百万ル^レブル^レ即チ
佛貨九億二千四百万フラン^レタリシカ其年末ニ至リテ
ハ減シテ一億八千万ニ過キズ即チ魯國ハ此方法ヲ以
テ亦許多ノ金額ヲ得タルナリ又千八百七十八年十月

二十三日^レデ^レハ^レ新聞アルチウル^レヲハロク^レエツチノ論

説ニ據テ見ルニ戦争中國立銀行ヨリ國庫ノ為メニ發
行シタル紙幣ノ額大約五億^レル^レブル^レ即チ稱價二十億
フラン^レ實價九十三億フラン^レタリトス
然レ氏國將ニ千戈ノ事アラントスルニ際シテハ定位
銀券ノ法ヲ行フモ其益ナレト云フハ亦甚タ考ヘザル
ノ説ト云フ可レ試ニ佛國千八百七十年七十年ノ事
跡等ニ就テ之ヲ替フルモ亦此便ニ拠ルノ益アルヲ証
明スルニ足ルベシ千八百七十六年十一月ヨリ千八百
七十八年十月ニ至ルノ間ニ於テ魯國ハ紙幣發行ト公

債券集トノニ途ヲ以テ國資ヲ得タリ就中紙幣ノ額ハ
前ニモ述ヘタルカ如クヲハロウエツチノ説ニ據レハ
五億^リル^ハブル^ニレテ公債ノ額ハ稱價七億^リル^ハブル^ナ
リ^ハハ百七十六年公債一億^ニ据レハ其細別左ノ如シ千
百七十^ニブル^年千五百^公磅^債ノ公債一億^リル^ハブル^ニ以上^内國債^千ハ
七億^リトス^而レテ^ル一^億ブル^ノ低落アルヲ以テ之ヲ計算
スレハ全計ニ拾億ニ及ハズレテ其東洋ノ役ニ係ル費
用總額ノ三分一ハ紙幣ヲ以テ支給セシナリ
東洋ノ役ヲ以テ見ルハ實ニ魯國人民カ其財政ノ壞
亂セルニ拘ラズ久シク其困難ニ堪ユルノ力アルヲ証

明スルニ足ルベシ是蓋シ深慮アル識者ハ固ヨリ豫知
セル所タリ而シテ如此キ效蹟ヲ見ハス所以ノモノハ
特ニ其戰ハ國民ノ是認スル所ニ係リ其人民ハ國ニ尽
スノ信意ヲ存セルニ由ル而シテ果シテ如此クナルヲ
得ハ其兵軍ノ費用ハ惟タ其一部ノミヲ支出シ受負人
ノ拂方ハ姑ク其期ヲ延遷スルモ亦實ニ妨ケナシ加之
ナラズ永ク紙幣ノ通用ニ慣シテ多ク正貨ヲ用ヒザル
人民ハ假令紙幣ノ増發アルモ甚タ之ヲ憂慮スル^ア
ラザルナリ魯國ノ如キ即チ是ナリ其生計ノ景況其賣
買ヲ方法ヲ變スル^アアラザルナリ^ル一^億ブル^ノ低落ノ

如キモ外國ニハ大ニ関觸スル所アリト雖ハ内地ニ在
テハ關繫スル所却テ更ニ少シトスカノ商賈銀舗ノ如
キハ其低落ニ着目スト雖ハ細民常人ニ至テハ毫モ之
ニ影響セザルナリ故ニ日用通常ノ賣品ノ類ハ「ルト
」ノ低落セシニ以テ却テ騰貴ヲ招キタル「アテザ
ルナリ

財政ノ困難殆ント堪ヘ難キニ至リテ一國ノ衰頽ヲ来
スノ時期ハ人往々之ヲ誤ル者アリ蓋シ其時期ハ開戦
ノ初メニアラズ又争鬭ノ央ニアラズ則チ和成リ兵息
ミテ軍費ノ出納ヲ精算シ常計ニ回復セントスルノ時

ニ在リ爰ニ至テ始メテ其國資ノ欠乏ニ感觸シ便法ニ
依テ其財計ヲ為スノ已ムヲ得ザルニ及フベシ魯國ノ
東洋ニ事アルニ方テヤ千八百七十六年ヨリ千八百七
十八年ノ末ニ至ルマテハ其兵食ヲ給シ軍備ヲ辨スル
ヨリ其公債ノ利銀ヲ拂フニ至ルマテ格別ノ困難ヲ蒙
リタル「大ニ」惟タ一旦和成テノ後ハ公債ヲ以テ其臨
時諸費ヲ支辨シ且其紙幣ノ價格ヲ昂昇セシメ其減却
シタル歳入ヲ以テ増加シタル歳出ニ供セザルヲ得ザ
ルニ至テ兵事ノ損害始メテ感觸ヲ生シ頗ル艱苦ヲ惹
起セリ茲ニ至テ經濟上ノ困厄其重キヲ極メタリ元来

戦後ノ經濟ハ兵ハ假令ヘ利アリト雖氏戦闘中ヨリモ甚シキ困難ヲ被ルハ其例甚タ少シトセザルナリ
土耳其ニ於テモ其國庫ノ景状魯國ト同ク富実ナラズト雖氏亦能ク資金ヲ求メテ補助ヲ求ムルヲ云フ借リ紙幣ヲ發行シ又ハ常務ヲ停止スル等ノ方法ヲ以テセハ永ク戦闘ニ堪ヘ且兵軍ノ支給ヲ辨スルノ必シモ難キニ非ルハ此役ニ由テ証明セラル、ヲ得タリ
此役ニ由テ取新ノ變動ニ遭遇スルノ前魯國ノ經濟ハ著シク改進シ五分以内ノ利ヲ以テ外債ヲ募ルヲ得ルノ景況ニ至リタルハ正貨拂出ヲ回復スルノ計ヲ立ツ

ルハ取モ其急務ニシテ且之ヲ難シトセザリシナリ此時ニ方テヤ魯國政府ハ内外公債ヲ募リテ總額一十億フランヲ得ルモ決シテ難キニ非ルナリ而シテ其内國債ハ其収集シタル紙幣ヲ廢棄シ得ベク外國債ハ正貨ヲ以テ收受スベシ即チ兩ツナカラ紙幣ノ價格ヲ昂昇スルニ足ルヘキモノトス且ツ加之定位通用ノ制ヲ廢スルカ為メニ巨大ノ正貨ヲ必要トスルヲアラザルベシ蓋シ魯國人民ハ古ヘヨリ銀券ヲ使用スルニ馴ルヲ以テ當時二十億乃至二十五億ノ紙幣ヲ有スルモ亦決シテ之ヲ壓忌スルヲアラザルベシ假令ヘ其定位ノ

制已ニ停止シタルノ後ト雖氏猶之ヲ甘受セシムルニ
難カラザルベシ其状況如此キカ故ニ果シテ此方法ヲ
行ハ、必ス一百年餘ノ間脱出シタル正路ニ復帰シ通
貨ヲ確然不動ニスルヲ得テ以テ著シク商業百工ヲ勸
奨シ之カ開進ヲ補成セシナラン然ルニ魯廷ハ此方法
ヲ行フノ計ヲ抹ラズシテ急遽ニ非常ノ土功ヲ起サン
ト欲シタリ是其廟堂ノ兵略ト魯帝累代ノ籌策ニ依ル
ト云フト雖氏之ヲ經濟上ヨリ見ルハ夫ノ大土功ノ
如キハ數年ヲ遲緩スルモ尚大害アルヲナシ低落シタ
ル紙幣ヲ廢毀スルニ至テハ更ニ一層ノ急務ナリトス

而シテ現今魯國ハ通貨價格ノ改良ヲ計レカ為メニ海
關稅ヲ納ムル者ハ必ス金貨ヲ以テスベシト定メタリ
但夕余輩ハ之ヲ以テ良策ト思惟スルヲ能ハザル所ナ
リ
定位通用ノ法ハ地球ヲ一週セントスルモノ、如シ特
リ旧世界ノ歐洲ニ行ハレタルノミナラス移テ新米洲
ニ行ハル、ニ至レリ前ニモ述ヘタルカ如ク北米合衆
國ノ尚ホ幼稚ナリシ時其獨立戰爭中ニ於テ既ニ此法
ヲ施シタルヲアリ當時其法ヲ施シテ其功績ヲ充分ニ
見ハスヲナカリシニモ拘ハラヌ後今復タ之ヲ再ヒス

大
改

ルニ至レリ具之ヲ再ヒ行フニ至リレモ亦兵戰ノ事アルカ為メノミ然レ氏具南並戰爭ノ初起ニ方テハ尚ホ未夕之ヲ施スニ至ラズ其初年末ニ至ルマテ真ノ紙幣ヲ發行シタルハ只僅ニ「ドマンドノート」五千万弗ニ過ギズ「ドマントノート」トハ五十弗以下ノ無利息ノ銀券ニシテ普國ニ行ハル、「カッセン」今エイ子^{紙幣}ノ類ナリ千八百六十二年二月ノ法律ヲ以テ始メテカノ有名ナル「グリーンバンク」^{緑背券}其色ノ緑ナルニ依テ名ク^ノ作り始メテ定位通用ノ制ヲ舉行セリ其綠背券ノ發行額ハ一億五千万弗^{佛貨}七億七千万^{フラン}ヲ限リテ法

ノ許ス所タリ但シ此發行ニ從テ「ドマンドノート」ヲ廢毀スベキヲ以テ紙幣流通額ノ實ニ増加セシハ一億弗ニ過キガルナリ綠背券ハ利息ヲ付セズ無記名ニテ一葉額面五弗^{佛貨}廿五^{フラン}餘以上十進ノ割ヲ以テ漸次増額セル銀券ナリ此法律ヲ發シテヨリ僅ニ六ヶ月ヲ経テ七月十一日ヲ以テ復タ再ヒ同一ノ法律ヲ發行シ合衆國銀券一億五千万弗ノ増發ヲ決セリ其銀券ハ無記名ニシテ利息ナク且其額面ハ國庫ノ使ニ任セテ一定セズ即チ先ツ一弗及ニ弗ノ銀券ヲ發行シタリ但シ五弗以下ノ銀券ハ流通総額三千五百万弗一億七千

五百萬フランヲ超ユ可カラザルノ法タリ是ヨリ以後
復タ數回ノ法律ヲ以テ紙幣ノ増發ヲ許シ流通總額合
計八億五千萬弗ニ及ヘリ故ニ其紙幣ハ皆一様ナル
能ハズカノ綠背券並無利息銀券ヲ取モ多シトシテ其
他國庫銀券ナル者アリテ利息ヲ付シ定位通用ノ制
リ又地金預リ券ナル者アリテ公署ノ收受ハ勿論世間
ノ通用ニ至ルマテ全ク通貨ト同ク通用セリ
又此餘ニ小銀券五千萬弗アリ之ヲ以テ細貨ニ代用シ
郵便切手及商業切手(商業切手ハ該國ニ於テ一時小額
ノ拂方ニ用フルノ例タリシモノ)ニ換用セリ

如斯ク政府ヨリ發行セシ紙幣アリト雖氏更ニ銀行銀
券ノ流通セルモノアリテ兩者並行ハレタリ但タ米國
ノ銀行ハ其制ヲ立ツル自ラ異別ナル所アリ今其詳細
ニ論及スルニ違アラザルヲ以テ其繁畧ヲ述ヘン千八
百六十二年法律ニ據レハ銀行ノ銀券ヲ發行スルハ
其保証トシテ合衆國政府ノ官庫ニ合衆國ノ公債券ヲ
預ルルノ義務アリ而シテ銀行ハ其預ケ高ノ百分ノ九
十ヲ定限トシテ其限内紙幣ヲ發行スルノ權アリ其銀
券ハ皆官府ノ製造スル所ニシテ之ヲ銀行ニ下付シテ
其發行ニ供ス銀券流通ノ總額ハ三億弗ヲ超ユ可カラ

蓋シ近年三十年餘ノ間魯國ノクリノアノ役アルニ際
 シ及キウバ島ノ如キラ除クノ外紙幣ノ價格昇降ノ急
 ナル低落ノ甚キ合衆國ヨリ甚キハナカルベシ歲入委
 負ウエルス氏ノ説ニ據レハ金貨ニ對スル價格左表ノ
 如シ

千八百六十一年三月一日	金貨價格	平準
千八百六十二年三月	金貨價格	百九乃至百廿
千八百六十二年十月	金貨價格	百三十七
千八百六十三年一月一日	金貨價格	百三十五

千八百六十三年一月末	金貨價格	百六十
千八百六十三年二月廿一日	金貨價格	百六十三、四分ノ三
千八百六十三年三月	金貨價格	百七十一
千八百六十三年八月一日	金貨價格	百二十九半
千八百六十三年九月十七日	金貨價格	百二十八、八分ノ三
千八百六十三年十月	金貨價格	百五十六
千八百六十四年一月一日	金貨價格	百五十二
千八百六十四年三月	金貨價格	百六十九
千八百六十四年四月一日	金貨價格	百六十七半
千八百六十四年四月廿二日	金貨價格	百七十三、四分ノ三

千八百六十四年六月一日	金貨價格	百八十八半
千八百六十四年七月一日	金貨價格	二百八十八
千八百六十四年八月一日	金貨價格	二百五十五
千八百六十四年十月	金貨價格	二百二十九
千八百六十四年十一月	金貨價格	二百六十
千八百六十四年十二月	金貨價格	二百四十四
千八百六十五年一月二日	金貨價格	二百二十八
千八百六十六年二月十六日	金貨價格	百三十七、四分ノ一
千八百六十六年九月十七日	金貨價格	百四十五
千八百六十七年一月十四日	金貨價格	百三十四半

千八百六十七年六月四日	金貨價格	百三十七半
千八百六十七年九月十六日	金貨價格	百四十四、四分ノ一
千八百六十八年四月一日	金貨價格	百三十八半
千八百六十八年七月一日	金貨價格	百三十八、四分ノ三

(原注) 本表中例へハ百九乃至百廿アルハ金貨一百弗ハ紙幣百九弗乃至百二十弗替へナルヲ云フ餘ハ皆之ニ同

此非常ノ昇降ヲ来レタル所以ノ原由ハ佛國ノ「アツシキヤ」及澳國紙幣ノ千八百年代ノ始ノ於ケルカ如キニ及レテ經濟上ノ影響ニ出テズレテ寧口政署上ノ情狀ニ在リト云フ可キナリ千八百六十三年一月ノ末

ニ於テ低落ノ度甚シキヲ致シ遂ニ百分ノ六十ニ至リ
タレ氏此年ウヒクスボルクヲ略取シ及ゼツテスボリ
ノ勝利アリシカ為メニ又一時二十九ノ相場ニ復シ
タリ然ルニ千八百六十三年末及千八百六十四年ノ始
メニ方テハ戰報甚タ利アラザルヲ以テ遂ニ千八百六
十四年七月ニ至テ其低落ノ極度二百八十六ニ及ハシ
メタリ即チ百弗ノ金貨ヲ得シカ為メニ二百八十六弗
ノ紙幣ヲ與ヘザルヲ得ザルモノニシテ稱價ノ三分ノ
二許ヲ損失セシモノナリ爾後同年八月九月十月ノ交
ハ中間ニ上下シテ甚シキ變動ヲ見ズ十一月ニ至テ復

是夕低落ヲ致セリ是レカノセルマンヌカアトランチ
ノクニ向テ有名ナル進軍ヲ始メタルノ時ニシテ此時
リンコルン再ヒ大統領ノ撰舉ヲ受ケタリ千八百六十
五年ノ春ニハ百五十タリレカリンコルンノ殺害ニ遇
ヒシ片ハ百四十五タリ爾後和成ルニ及テハ復タ國事
ノ影響スルヲナクシテ單ニ經濟上ノ關係ニ止ルヲ以
テ大ニ平準ニ接近シ後チ此書稿成ルニ及テハ千八百
七十九年四月合衆國內復タ定位通用ノ法ヲ用フル所
ナシ
南北戦争和成ルノ後ト雖氏猶紙幣ノ高低ヲ為スナク少

カラズ蓋シ米國政府綠背券ノ通用ヲ廢シテ以テ定位
銀券ノ制ヲ絶ツノ計ヲ為サズレテ別ニ無期公債ヲ償
却スルノ政策ヲ取りタルニ依ル蓋シ財政ヲ處スル爲
ヨリ不幸ナルモノアラザル可シ然レモ米國當時ノ景
況ヲ考フルニ經濟ノ理未タ全ク明晰ナラズ加之漸次
紙幣ヲ増發シタルカ爲メニ國民一般投機ノ念ヲ生シ
タルヲ以テ遂ニ政府ヲシテ此失策ニ出テシノタリ投
機者流ニ在テハ定位銀券ノ益擴張スルトキハ物價ヲ
騰貴セシメ時々ノ相場ヲ昇降セシメテ以テ其間ニ立
テ異常ノ奇利ヲ博シ却テ其定位銀券ヲ以テ已レテ利

此ニトス故ニ愈其盛ニナランヲ希圖スルナリ

經濟ノ大家クレマン、ジウケラル氏ハ更ニ一步ヲ進メ
テ之ヲ論シテ曰ク米國政府ハ無期公債ヲ償却スルノ
處分ヲ行ヒタルカ爲メニ紙幣ヲ増發セザルヲ得サル
ニ至レリト其計數ヲ見ニ千八百七十三年六月三十日
ヨリ千八百七十四年五月三十一日ニ至ルマテノ間ニ
其無期公債元金一千九百一十一万七千五百弗即一億フ
ラン許ヲ減セリ然レモ之ニ及シテ綠背券即政府發行
紙幣ノ流通額ハ此同一時間ニシテ二千六百三十四万
一千八百一十一弗即一億三千二百万フラン許ヲ増加セ

リ米國大藏省公行ノ合衆政府公債景况ノ月報ニ据
テシウクラル氏編製ノ表アリ左ニ掲ク

無期公債増減表

	千八百七十三年六月三十日	千八百七十四年五月三十一日
六分利付公債	一、二八一、二三八、六五〇弗	一、二一三、九六七、九〇〇弗
五分利付公債	四一四、五六七、三〇〇弗	五一〇、二七九、〇〇〇弗
扣籤ヲ經テ未タ償還ヲ經サル公債	五〇、五五八、五〇〇弗	三、〇〇〇、〇〇〇弗
合計	一、七四六、三六四、四五〇弗	一、七二七、二四六、九〇〇弗
千八百七十四年五月三十一日現存ノ公債額ヲ差引減額		一九、二七、五〇〇弗

國庫發行紙幣ノ流通増減表

	千八百七十三年六月卅日	千八百七十四年五月卅一日
綠背券	三五六、〇七九、九六七弗	三八二、〇七六、七七七弗
小數綠背券	四四、七九九、三六五弗	四六、五三八、六二〇弗
合計	四〇〇、八七九、三三二弗	四二八、六一五、三九七弗
内綠背券國庫準備	九、七八三、五二九弗	一一、一七七、七〇三弗
差引流通額	三九一、〇九五、八〇三弗	四一七、四三七、六九四弗

千八百七十四年五月三十一日流通額増加 二六、三〇一、八一弗

是ヲ以テ見ルニ米國政府ハ永期公債ニ代フルニ即時
拂出公債銀券ヲ以テシ其即時拂出レヌラ遂亦停止

スルニ至レリ実ニ奇異ノ計ナリト云フ可シ
 十月ハ日佛國エ出ツノ故ニ米國ハ紙幣ヲ発行シテ以テ無
 期公債ノ一部ヲ消還セリト云フ可キナリ
 又合衆國ニ流通シタル政府発行ノ諸銀券ノ額左表ノ
 如シ

同上セルチケート 証券	二〇五、八二二、三四五弗	七一、一四〇、〇〇〇弗	五五、三三八、〇〇〇弗
ドルドセルチケート 金貨証券	二八、七七五、五六〇弗	二九、六五七、五〇〇弗	
緑背券ノト	四七三、二四七、九九弗	三五六、〇二一、〇七三弗	三五六、〇〇一、八六弗
月一日	千八百六十五年八月一日	千八百六十九年三月一日	千八百七十年三月一日

少額銀券	二五七、五〇〇、三三弗	三六、七八一、五四七弗	四〇、五七三、七四八弗
補助銀券	一七、二六三、二二〇弗	六、四二二、四六四弗	三、二六一、一二二弗
合計	七二一、九五〇、二九六弗	四九九、二四〇、六四四弗	四八四、八三〇、五四六弗

由之觀之ルニ政府ノ發行ニシテ通貨ト同ク流通ス
 ル銀券ノ總額ハ三十六億「フラン」ヲ超エタリ蓋シ「ゲリ
 ン」バツク券綠背券セルチケートハ綠背券ト重複ノ用
 フ為シタリト云フテ可ナリ然レ氏既ニ發行シタル綠
 券並少額ノ銀券ノ「ミ」ヲ以テ計算スレハ近年ノ平均流
 通高必ス二十一億「フラン」ニ過クベシ
 蓋紙幣ノ價格低落シ尙ホ此定位通用ノ制ヲ保存スル

財政

カ為ノニ生スル危殆ノ情況ヲ脱スルハ合衆國政府ニ
於テハ甚ク難キニ非ルナリ合衆國政府ハ歲出入ノ額
巨多ノ餘贏アリ之ヲ以テ紙幣廢絶ノ資ニ充用セハ必
ス數年ヲ出テズシテ聚子縁券ノ大部分ヲ毀廢スルヲ
得ベシ遂ニ千八百七十九年ニ至テ正貨拂出ヲ報告ス
ルノ議ヲ決セリ故ニ米國ノ定位銀券ハ二十年間連続
シ其間價格ノ高低著シク畏ルベキ變動ヲ見ハシタリ
今殊ニ注意スベキハ萬國ノ中財政上ト商業上ニ於テ
寧モ困難ヲ蒙リタル米澳二國ハ共ニ同ク定位通用ノ
制ヲ施シタルトアル是ナリ蓋シ通貨ヲ非常ニ増加シ

其價格ノ變動アルハ自ラ投機僥倖ノ心ヲ惹起レ國
民ヲシテ經濟上大變動ニ遭遇スルニ及テ之ニ抗拒ス
ルノカヲ失ハシムルヤ必セリ

我隣邦ニ於テ定位銀券ヲ行ヒ亦多少ノ困難ヲ蒙リタ
ルモノアリ意國是ナリ蓋佛國ノ例ハ萬國比例スル所
アラサル幸福ナル實歴ニ係ル故ニ米國ノ例ニ次テ先
ツ意國ノ事迹ヲ述ヘ次テ佛國ニ及ハントスル所以ナ
リ意國ニ於テハ嘗テ大ニ定位銀券ノ成迹ヲ審査シ其
利害ヲ研究セリ其委負ハセイスイツトドタニコルド
ウハ アレクサンドロロシー セラ ノセググリア

本
改
三

ラムベルチコ等ノ諸氏ニシテ皆當時ノ經濟家タリ
委員ヲ博ク衆人ノ所見ヲ問ヒ以テ其考案ヲ確實セリ
今其書類ニ就テ二三ノ事迹ト考案トヲ抄録セン
意國當時ノ大藏卿シアロイア氏カ定位通用ノ法ヲ施
シタル片其理由トスル所左ノ如シ千八百六十六年四
月八日普國意國ト同盟ノ約成レリ而シテ此約ハ意太
利ハ四月十四日ニ普魯士ハ二十日ヲ以テ各皇帝ノ批
准ヲ經タリ然ルニ意國ノ國庫ハ甚夕困難ノ景状ニ臨
ミシカ故ニ外國ニ在ル意國年金ノ七月以後半年季ノ
利息拂方ヲ保証シタレ氏奈何ンセン國庫所存ノ金額

ハ他ノ使用ニ供セルモノ九千五百八十万フランヲ存
セルニ過キズ且其中正貨ハ二千八百万ニ止リテ其餘
ハ國內發行銀行ノ銀券ノ諸種タリ定期拂渡ノ國庫ノ
債券ハ其發行總額一億九千五百万フランニ及ヘリ是
亦皆割引ヲ以テ交換セリ又澳國ノ戰爭ニ關スル費途
大約六億フラン内政ノ費用三億フラン合セテ九億ノ
需用アリテ之ニ充ツルノ國庫準備ハ九千五百八十万
フランニ過キガリシト云フ
於茲テ四月下旬ニ至リ多クノ銀鋪ヨリ二億五千万ノ
國債ニ應センヲ發言セリ然レ氏當時歐洲一般財政

ノ変動ニ遭遇セシヲ以テ遂ニ此方策ヲ廢停スルニ至
レリ殊ニ財政商業上ノ変動ニ加ハリタル政署上ノ憂
慮忽チ意國ノ版圖ニ波及シタレハ内國到ル處倒産ノ
聞ヘアリ乃チ其四月三十一日ヲ以テシアロイア氏ハ
議院ノ委任ヲ受ケテ自ラ定位通用ヲ發令シ國立銀行
ハ二億五千万フランヲ以テ政府ニ貸與セリ然ルニ其
戰爭タル數日ヲ出テズシテ鎮靜シタリ己ニ日耳曼人
之ヲ称シテ七日ノ戰ト謂フト云實ニ一ヶ月ヲ經スレ
テ解兵セリシアロイア氏ハ嘗テ調査委員ニ告クルニ
定位通用ノ制ハ兵備ニ要スルニ億五千万ノ限内ニ於

テスベシ且正貨拂出ヲ回復スルハ必ス迫ニアルベク
千八百六十七年ニ至テハ少クモ其一部分ヲ交換スル
ハ必然タリト云フヲ以テセリ然レ氏戰後ニ企タル國
債募集ノ完功ヲ羨セガルヲ以テ遂ニ此期望ヲ達スル
ト能ハザリキ

余輩ヲ以テ之ヲ見レハ意國政府ノ定位通用ノ法ヲ施
シタルハ猶恕ス可シ其解兵ニ及テ直チニ其法ヲ停廢
セザリシハ甚タ不可ナリ當時歐洲各國ノ銀舗ニ就テ
公債ヲ募ラハ五億乃至六億ノ額ヲ得ルモ亦甚タ難シ
トセザルナリ殊ニ其利一割ノ高キニ至ルモ之ヲ募ル

ヲ利益アリトス何ントナレハ其歳入ノ全躰若クハ少
クモ其外國ニ拂出ス所ノ総高ノ中近年十二年未ノ損
失百分ノ五ヨリ百分ノ二十ニ至リタレハナリ
然レ氏定位通用ノ法ヲ存スルハ當時ノ須要タリシ乎
又千八百六十六年四月中其高利ヲ拂フヲ壓ハガルモ
尚ホ期スル所ノ全額ヲ得ルニ苦ムヤ否ヲ知ラザル可
カラズ調査委員ノ言フ所ニ据レハ定位通用ノ制ハ當
時國政上及理財上ニ於テ之ヲ行フヲ必要トセズ又國
民ノ經濟上ニ於テ亦之ヲ期望スルヲナレト加フルニ
一方ニ於テハ定位通用ノ法ヲ行ヒタルカ為メニ忽チ

財政上ノ變動ヲ惹起シ國內ノ正貨ヲ拂底スルノ成果
ヲ生セリフロランス商法議會ノ長泉ノ言フ所ニ据レ
ハ千八百六十六年五月一日後五月一日定位令ス意國通貨
ノ價格ニ關係ヲ有セル外國ノ金主ハ急遽ニ其証券ヲ
意國ノ市場ニ送り其價ノ昂低ヲ論セズ先ヲ争テ之ヲ
賣却セリ又意國ニ貸方ノ債アルモノハ財主商賈皆一
時ニ正金拂渡ヲ求ムルニ至リ意國內外ノ取引ハ悉ク
一時ニ精算ヲ行ヒ信用ヲ以テ取引スルノ道全ク塞カ
レリ故ニ正貨ノ輸出スベキモノ其額非常ニ多シテ少
シクニシテ工業委員ノ言フ所モ亦之ニ同シ其説ニ曰ク定

位通用ノ布令一トタヒ發スルヤ忽チ意國ノ商賈ト取
引セシ外商銀舗等皆直チニ金銀貸ヲ以テ具拂出ヲ請
求セリト當時具相場ハ百分ノ二十二ニ割ニ達セリト
云フ

蓋シ定位通用ノ法ハ人ヲレテ愈驚慌ノ念ヲ抱カレム
ルモノナリ故ニ假令高利ヲ拂フモ寧ロ公債ヲ募リテ
之ヲ避クルノ優レルニ非スマ意國ノ市場ハ外國ヨリ
送り来ル所ノ公債券ノ多數ヲ買得スルヲ得ベケレハ
政府發行ノ証券ヲ直接ニ購買スルモ豈亦得難シトス
可ケンヤ惟フニ意國公債券ノ價格五分利ノ公債ニシ

テ四十ニマテ低落セシハ前述ノ証言ニ据レハ其原因
多クハ定位通用ヲ行ヒ外國ノ債主カ一般ニ正貨交換
ヲ求メタルニ由ルト云フ可シ

意國ノ定位通用ヲ定メタルノ濫觴並原由ハ千八百六
十六年該國立銀行ヨリ二億五千万フランヲ以テ政府
ニ貸與シタルニ出テタリ而シテ其後尚ホ其發行ヲ茲
ニ止メズ千八百七十二年十二月三十一日ノ計ニ据レ
ハ流通總額十三億ニ昇レリ但シ其內國立銀行ノ發行
ニ係ルモノ十一億三千六百万ニシテ其他ハ渾テ他ノ
銀行ノ發行スル所ナリ且流通紙幣ノ内七億四千万ハ

政府ニ貸付シタルモノナリ
 意國紙幣ノ價格ハ高低ノ變動ヲ為スル米魯若クハ澳
 國ノ如ク久シカラスト雖其政變又ハ經濟上ノ状況
 ニ感動スルヲ著クシテ其降昇ハ頗ル甚シトス
 千八百六十六年五月一日ヨリ千八百七十年九月羅馬
 府政界ノ日ニ至ルマテ金貨ニ對セル相場左表ノ如シ
 且意國ノ紙幣ト公債トハ密接ノ關係ヲ有シ其價格ノ
 上下相並行セルヲ以テ併テ同時公債ノ相場ヲ掲載セ
 リ且之ヲ以テ見ルニ意國ノ紙幣低落セシハ通貨ノ増
 殖セシニ因ルヲ少クシテ主トシテ政事上ノ状況ニ關

察セルヲ知ル可シ

年月	五分利公債相場	金貨對紙幣價格	事跡
千八百六十六年五月一日	百分ノ四十	百分ノ二十二	定位銀券ノ制ヲ發令ス 澳國ト開兵
千八百六十六年七月	百分ノ六十一	百分ノ十一	澳國ト和成維尼新謀典
千八百六十六年九月	百分ノ六十二半	百分ノ五	
千八百六十七年三月	百分ノ五十八	百分ノ五	
千八百六十七年四月	百分ノ四十七	百分ノ十二	内閣更迭
千八百六十七年五月	百分ノ五十五	百分ノ十	
千八百六十七年八月	百分ノ五十三	百分ノ七	
千八百六十七年九月	百分ノ四十九	百分ノ十二	メシタノ領府遠征

大政

千八百六十八年一月	百分四十八	百分十六	内政變動
千八百六十八年四月	百分五十五	百分九	
千八百六十八年五月	百分五十二	百分十三	
千八百六十八年七月	百分五十九	百分九	磨穀稅ヲ設ク
千八百六十八年十月	百分六十	百分七	
千八百六十九年一月	百分五十九	百分五	公債券稅ヲ設ク
千八百七十年一月	百分五十八	百分五	
千八百七十年六月	百分六十半	百分五	
千八百七十年七月	百分六十二	百分五	
千八百七十年七月末	百分四十八	百分十二	佛普兩國開戰ヲ宣告ス

千八百七十年九月 百分五十六 百分十七 羅馬ヲ占畧ス

之ニ由テ觀レハ此年間金貨ニ對セル紙幣ノ相場ハ卑キハ百ニ付五ヨリ高キハ百ニ付二十二マテ及ヘリ而レ氏政事上ノ變動靜謐ニ帰シ若クハ豫算ノ平準ヲ保タシムルノ目的ヲ以テ稅法ヲ改正スル片ハ隨テ自ラ其頗下ヲ輕減セルヲ見ル可シ

千八百七十五年二月十五日出版「エコノミスト」千イタリア誌ニ定位銀券ノ計表アリ且有益ナル考案ヲ付録セリ今其雜誌ニ載スル所ニ據テ定位通用ノ期限十一年間金貨ニ對セル平均ノ價格ヲ左ニ掲ク

大 改 第

千八百六十六年	百 = 付七、九九
千八百六十七年	百 = 付七、三七
千八百六十八年	百 = 付九、八二
千八百六十九年	百 = 付三、九四
千八百七十年	百 = 付四、四八
千八百七十一年	百 = 付五、三五
千八百七十二年	百 = 付八、六六
千八百七十三年	百 = 付一四、四三
千八百七十四年	百 = 付一〇、三五

又記者ノ文ニ附言スル所ヲ見ルニ識者ノ考察スル所

ニ据レハ定位通用ノ法ヲ存スル所以ノ理ヲ以テ左ノ
 三因ニ基クトセリ第一流通銀券ノ増加第二銀券ノ固
 有スル所ノ信用即チ之ヲ発行スル所ノ銀舗及之ヲ許
 可スル所ノ政府ノ安危ヲ云第三内外通商萬國交通ノ
 權衡是ナリ然ルニ記者ハ前記年間平均ノ數額ニ据テ
 之ヲ考照スル片ハ此說ヲ確証スルノ能ハストセリ例
 へハ千八百六十八年ト千八百七十四年トハ同ク百ニ
 付十タリ然ルニ諸種ノ銀券ノ流通總額ハ千八百六十
 八年ハ九億〇三百万「フラン」ヲ超ヘズト雖氏千八百七
 十四年ニ至テハ十六億ノ巨額ニ達セリ又輸入ノ輸出

大
 改
 當

ニ超過スルヲ千八百六十八年ニ於テハ一億九千万ヲ
リシカ千八百七十四年ニ至テハ三億ヲ過キタリ是レ
之ヲ以テ前説ヲ証認スルニ足ラズトスル所以ナリ
定位銀券ノ價格ヲ變動セシムル所以ノモノハ其理由
少カラズ故ニ其成果モ亦縦横錯雜シテ一ナルヲ能ハ
ズ然レ氏其流通額未タ過甚ニ至ラザルノ間ハ之ニ家
モ感動ヲ有スル所ノ原因ハ政府ノ安危ト其定位ノ法
ヲ停廢スルノ意思有無トヲ考察スルニ在リト云フ可
シ千八百七十一年以來我佛國ニ銀行ノ定位銀券ノ價
格ヲ平準ニ保チタルハ職ヲ此考察ニ在リテ実事ニ照

レテ其政府ノ安固ナルト定位通用ノ廢停ヲ必スヘキ
モノトヲ信セシニ由ル然ルニ魯米澳意ノ諸國ニ至テ
ハ政府定位銀券ヲ廢停スルノ意アルヤ否未タ公衆ノ
信ヲ置カザル所タルヲ以テ流通ノ額未タ太タ多キニ
至ラザルニ早ク已ニ低落ノ災ヲ蒙ルニ及ヘリ政府若
シ實ニ漸ク以テ正貨交換ヲ回復スルノ堅実不撓ノ意
ヲ表スルニ非レハ又一且豫期セザルノ大事ニ遇遭ス
ルニ及テハ再ヒ其發行ヲ為スニ至ランモ亦未タ知ル
可カラズ仮令現存ノ額未タ多シトセザルモ後増額ス
ルヲアラント豫想スルカ如キハ則チ低落ノ一原因ト

云フ可キナリ

意太利ノ如キハ遠カラズレテ定位銀券ヲ廢傳スルニ
至ルモ亦必ス難キニ非ル可シ千八百七十五年以來意
國ノ歲計表ヲ見ルニ尚ホ數千万ノ餘金アラハ必ス之
ヲ廢スルノ資ニ供スヘケレハ爾後更ニ兩三年間連續
シラ餘贏ヲ得ルヲ得ハ可ナリ此書ヲ發スルニ方リ意
國大藏卿ノ報告ニ千八百
七十五年五月ニ據レハ千八百七十九年ニ至テハ二千万
ノ過剩見サレト雖氏千八百七十九年ニ至テハ二千万
ノ過剩ヲ有ス可シ蓋シ意國ノ
然レ氏特リ歲出入ノ權衡ヲ得タルノミヲ以テ正貨ノ
通用ヲ回復スルヲ能ハザルハ固ヨリ言フヲ族タザル

ナリ蓋シ定位銀券ヲ施スルハ意國人ト取引ヲ為ス所
ノ外國人ハ皆直ニ其出入ヲ精算シ遽ニ正貨ヲ以テ其
拂渡ヲ受ケント求ムルニ至リ意國ノ公債券ハ外國人
ノ有ニ歸セシ分悉ク賣却スルニ至リ爾來其市場ニ於
テ外國人所有ノ分ヲ買入ル、一陸續絶ヘズ千八百六
十六年ニ於テハ無期公債ノ年金總額ニ億七千八百万
フランノ内外國人ニ拂渡シタル分九千八百万フラン
タリ千八百七十一年年金ニ億九千万フランノ内外國
ニ拂出シタルモノ六千一百五十万フランアリ又千八
百七十二年ニハ五千四百万フランニ降レリ如此ク多

大
改
三

額ノ債券ヲ買戻シタルヲ以テ随テ巨額ノ正貨ヲ輸出
スルノ原因ヲ成ス。又其他意國ノ諸國ノ諸契券皆之
ト同ク買戻ノ運轉ヲ為セリ就中鉄道銀券ノ如キハ多
クハ外國ニ存セシヲ以テ其買戻ヲ為セルノ頗ル巨額
ニ至レリ

此他又一ノ正貨輸出ノ原因アリ千八百六十二年ヨリ
千八百七十四年ニ至ルマテ輸入ノ輸出ニ超過スル連
年ノ常況タリシ是ナリ此間十三年ニシテ輸出ノ輸入
ヨリモ多カリシハ只千八百七十一年ノ一歳ノミニシ
テ其過額ハ一億二千一百万フランノ多キニ至レリ其

額蓋シサレトセガルナリ其次年千八百七十二年ノ計
ハ之ニ亞テ利多シトス其輸出ノ超過額ハ僅ニ一千九
百万フランニ止マレリ其他ノ年度ニ至テハ輸入ノ超
過一億ヨリ四億一千万ノ間ニ在リ然レ氏千八百六十
七年ヨリ千八百七十三年マテノ間ハ多少ノ改良アリ
輸出ノ不足額平均一億ヲ超ヘタルトナレトス
元來税関ノ報告ハ負額ノ実否大ニ信ヲ置クベキニ非
ス且ツ何レノ國ニ於テモ輸出品ノ申立ハ其実數ヨリ
モ少ク輸入ノ額ハ一層ノ正確ヲ得易キハ蓋シ常ニ免
レ難キ所ナリト雖氏此十二年間輸出入ノ差ハ甚夕細

小ニアラザレハ多少正貨ノ輸出ヲ促シタルニアラズ
トハ云フ可カラザルナリ

然レ氏歳出入ノ權衡全ク整立シテ具宜ヲ得ルニ至ラ
ハ正貨通用ヲ回復スル亦決シテ難キニ非ル一疑ナシ
且政府ノ年金外國ニ拂出ス所ノ金額年々減省セリ是
為換ノ相場ヲ改復セル所以ナリ假令輸入ノ輸出ニ超
過スル額尚減却セザルモ外國人ノ内地ニ周遊スル者
國內ニ入テ消費スル所頗ル巨額ナルヲ以テ少クモ二
億「フ」ラニト豫計スベシ是ヲ以テ其輸入ノ超過ヲ償フ
テ尚餘リアリトス(原注)輸入ノ超過額近年漸ク減却セ
リ加之ナラズ意國ノ船舶ヲ以テス

ル所ノ海上貿易ノ額亦甚ク少トセズ是レ亦大ニ輸
出入ノ差ヲ輕クスルニ足ルモノトス又周遊者及外國
人等ノ此國ニ未テ消費スル且此定位通用ノ銀券ヲ發
所亦ニ億ニ下ラザルナリ
スルカ為ノニ非常ニ巨多ノ正貨ヲ要スル「ア」ラザル
ナリ且一國人民一トタヒ定位銀券ノ通用ニ慣習スル
キハ異日具定制ヲ解キタルノ日ニ於テモ其習慣ノ餘
猶ホ自ラ之ヲ日受シテ異マザルナリ故ニ二十「フ」ラニ
以下ノ正貨ヲ廢スルニ足ルベキ正貨ヲ有スレバ已ニ
足レリトスベシ而シテ今現ニ國債ニ屬スル定位銀券
ノ総額九億四千「フ」ラニタリ故ニ政府更ニ内外公債
合セテ六億ヲ募リ半ハ内國債トシ以テ之ヲ折半ニ具
半ハ外國債トス

大正
文
三

紙幣三億ハ之ヲ廢毀シ其正貨三億ハ之ヲ以テ紙幣ニ
交換シテ流通ニ供シ又ハ銀行ノ準備ニ充テシムヘシ
此ノ如クセハ必ス定位通用ノ銀券ヲ廢停スルヲ得ヘ
シ其餘ノ國債ニ屬スル紙幣ハ年賦ヲ以テ年々五六千
万ツ、ヲ拂ハ、五六年度ヲ經テ之ヲ廢除スル亦難キ
非ル可シ但タ此方按ヲ以テスルハ多少國庫ノ負担
ヲ加フルハ固ヨリナリ紙幣通用ナレハ利息ヲ拂フ
ナレト雖氏其新債六億ハ其利ヲ六分トシテ大約四千
万「フラン」許ヲ給セザルヲ得ス然レ氏庶堂若シ実理ニ
通曉スルノ人ナラシメバ此等ノ損益ノ為メニ大計ヲ

ヲ誤ルコトナカルヘキナリ

意國ノ財政一變シテ安全ナル通貨ヲ有スルニ至テハ
其經濟上ノ景況ハ必ス前ニ超ユルノ改良ヲ致スベシ
現ニ外國ノ拂出ニ於テ相場ノ高低ヲ被ルト雖氏爾後
ハ此高低ヲ受クルコトナキニ至ルヘシ前内閣議官長デ
アレツチ氏ハ其職ニ在ルニ當テ可及的定位銀券ヲ廢
除セントスルノ意アルヲ表セリ而シテ同氏ノ廢除方
按ハ公債ヲ債ルニ在ラスシテ千八百七拾一年以來佛
國ニ實行シタル所ニ模倣シテ年賦消還ノ方法ヲ以テ
シ其年額ハ之ヲ年々ノ豫算中ニ組入ル、ニ在リ此方

債

本
收
信

按ニ依テ遠カラスレテ消還ノ成功ヲ遂ケント欲スル
ニハ年額六千万以ニテラザルヲ得ス果シテ六千万以
上ヲ年賦拂出スヲ得ハ必ス七八年ヲ出テスレテ定
位銀券ノ通用ヲ廢停スルヲ得ヘシ又已ニ一トタヒ
豫算中ノ載ノ年額ヲ以テ銀券引換ニ着手セハ數年ノ
後ケ其終局ニ迄キニ至テハ更ニ公債證書ヲ發行シテ
以テ其末段ヲ処分スルモ妨ケナシ殊ニ其公債證書ノ
價格昂昇スルノ景况判災タレハ尤モ便ナリ故ニ時機
ニ依テハ必シモ七八年ヲ待タズシテ其廢除ヲ望ム可
キナリ然ルニ意圖ノ定位通用ノ銀券ヲ廢除スルノ遲

緩ナリシハ魯澳二國ノ如ク公ケノ土功ヲ起シタルニ
由ル夫ノ兵備ノ盛ニシ土功ヲ興シ定位銀券ヲ廢スル
等此三事ノ如キハ決シテ同時ニ企及スヘキモノニ非
ルナリ然ルヲ今日ノ政事家任々之ヲ併行セント希圖
スル者アリ蓋シ政事家ノ通病ナリ今若シ定位銀券ノ
改革ヲ行ハント欲セハ必ス先ツ國費ヲ節制スルヲ務
メサル可カラズ歲出入豫算ノ平準ヲ保チ其欠乏ノ患
ナカラシムルカ如キモ亦實ニ定位銀券ヲ廢スルニ至
ルノ一要件タルヨリナリ然ルニデプレツチ氏ノ
内閣ハ皆テ朝ヲ退キ磨穀稅ハ廢セラレテ之ニ代ルモ

大
改
正
官

ノナク軍備土功ノ費用ハ前時ニ倍蕪レタレハ正貨交
換ノ回復ハ己ニ令由ニマテ遷延セルノミナラス尚亦
廢停ノ日ハ未タ其期ノ見ル可カラサルカ如シツテ
ハ此書ヲ公行スルノ日ニ方テ復タ内閣ノ長トナリテ
改テ執レリ千八百七十九年五月然レ氏此回ハ未タ其
前案ヲ施サントスルノ意アルヲ聞カスト雖氏思フニ
意國令日ノ景情ハ前ニ述ベタルカ如ク景良ノ好機
ニ在リト云 今左ニ佛國ノ例ヲ記セン定位銀券ヲ行フ
テ國難ヲ醸カハリシハ蓋シ他ニ其比例ヲ見サル所ナ
リ定位銀券ハ英澳魯意並合衆國等ノ諸國之ヲ行フテ
皆其大害ヲ蒙レリ佛國獨リ之カ危厄ヲ招カザリシ所
以ノ者ハ果シテ如何ンソヤ佛國ハ今ヲ去ル七十年ヲ

ウノ理財術ヲ施シ「アツレギヤ」ヲ發行シテ災厄ヲ蒙
リシニ特リ此回ニ至テ三十億「フラン」余ノ紙幣ヲ發行
シテ尚ホ能ク安全ナルハ實ニ公衆ヲ驚異セシムルニ
足ルヘシ

佛國ノ法第一ニ注目スヘキハ定位銀券ヲ發行スル者
魯米兩國ノ如ク直クニ政府ニ於テセズ特權ヲ占有セ
ル一大銀行ニ於テセルト是ナリ其銀行ハ全國各縣ニ
支行ヲ設ケ其實産ノ力アルノミナラス其信ヲ世上ニ
受クルト甚タ大ナリトス其公衆ノ信用ヲ繫持スル所
以ノ者ハ法律ヲ以テ諸般ノ特權ヲ永ク此銀行ニ付与

大改

シタレハナリ隨テ幼年婦女子ハ其株券ヲ得テ以テ貯
積ノ便ニ供シ此良ニ於テハ自ラ政府公債ノ年金ト粗
同視セラルレハナリ故ニ佛國立銀行ノ繁盛ハ千八百
年代ノ初ノヨリコノカタ日ヲ追テ旺盛ニ趨キタレハ
隨テ其株券ノ價格ハ漸ク上進シテ間断アルナリ此
等ノ事實アルカ為メニ遂ニ佛國立銀行ナル者ハ無比
ノ堅実ナル設營ナリトシ之ニ物ヲ托スレハ確乎不変ノ
安全ヲ得ベキモノタルハ普ク公衆ノ信認スル所トナ
リタリ且千八百四十八年少時ノ間定位銀券ヲ行フテ
其好結果ヲ成セシヲ以テ更ニ該銀行ノ名聲ヲ加ヘ其

実登ハ則チ銀券低落ヲ防クノ具トナレリ今銀券發行
ノ專權ヲ有スル單一銀行ノ利害得失ハ今姑ク措テ論
セス該銀行ニシテ殊別ノ景状ヲ保有シ持權ヲ占握セ
ルハ之ヲ佛國公衆ノ眼ヨリ看ルハ其甚ク尊重スベ
クモノ、如キ觀ヲ為シ之カ為メニ其信用ヲ世間ニ維持
スト云フモ可ナリ

抑佛國ハ普國ト兵端ヲ開キタルノ始メヨリ已ニ定位
銀券ノ通用ヲ令セリ是レ蓋シ銀行ヨリ公債ヲ募ルノ
計アルニアラズシテ銀行ニ對シテ世間ノ安堵ヲ傷ヒ
其驚慌ヲ激シテ為メニ其銀庫ヲシテ巨多ノ損害ヲ受

大
改
第

ケレノザランカ為ノナリ惟タ政府ハ當時八億ノ公債ヲ發行シ之ヲ以テ少クモ當初ノ軍費ニ供スルニ足ルベシト思惟シタリ

戰爭ノ第一期ノ後即チ千八百七拾年九月四日以後ツル及ホルドウニ設營セル後設政府ハ資銀ニ欠乏シ且巨額ノ公債ヲ募ルノ信用ヲ世上ニ有セサルヲ以テ乃チ佛國立銀行ニ委シテ許多ノ前借ヲ求メタリ如此クシテ資金ヲ得ルハ其方法固ヨリ失費少クシテ即時ニ危害ヲ生セザルモノナリ且戰時ニ際シテ當時金貨ノ相場ヲ立テザリシヲ以テ銀行銀券ハ未タ低落セズ

シテ平準ノ價格又ハ一二分乃至三分ノ少損ヲ以テ金貨ニ交換スルモ必難カラサリト云フ且具少損ト云ヘ氏相場ニ依ルニ非レハ一商行ニ於テ具損アルモ交換ヲ求ムルモノ他ノ商行ニ至テハ又平準ノ價格ヲ以テ交換スルヲ得ヘシ然レ氏素ト公然此相場アルニ非サルヲ以テ其損益必ス一定スルヲ能ハサルナリ解兵ノ後ニ至テ銀行ヨリ借入タル國債ヲ擴張シ且其前後ノ出納ヲ精算シタリ其計數合セテ十五億三千万フランニシテ其六千万フランノ千八百五十七年銀行ヨリ借入タルモノナリ故ニ開戰後該銀行ヨリ借入タ

ル額ハ十四億七千万フラントス其利銀ハ開戦中ハ六
分タリシカ其後三分ニ減シ又十分ニ減セリ而シテ政
府ハ屢々銀行ニ募債セント欲シタレ氏該行ノ管理者
ハ其際限ナク募債ニ応スルヲ拒抗セリ是レ亦実ニ着
眼ス可キノ点ニシテ佛國銀行銀券ノ價格ヲ保存セシ
一大原因ナリト云フ可シ

此公債額十四億七千万フランノ外尚ホ銀行ノ本業ニ
係ル所ノ流通額即チ商業手形ノ割引又ハ地金銀株券
等ノ前貸ノ為メニ發行スル所ノ銀券アレハ發行ノ總
額ハ更ニ巨額ニ至レリ然レ氏銀券流通額ノ制限ハ法

律ヲ以テ定ムヘキモノニシテ千八百七十一年十二月
二十九日法律ニ定ムル所ハ廿八億トシ千八百七十二
年七月十五日法律ニ據レハ三十二億トスレハ未タ其
限度ヲ超ユルニ至ラサルナリ

千八百七十一年十二月廿六日ノ計ニ據レハ流通總額
二十二億九千三百三十九万フランニシテ爾後増減ア
リト雖氏千八百七十二年中ノ最高額ハ二十六億七千
八百五万五千フラン十一月三十日ノ計ニシテ其最少
額ハ二十二億一千二百五十一万七千フラン六月二十
四日ノ計ナリ千八百七十三年ハ其年始二十六億五千

大
改
言

六百二十五万七千「フラン」ニ起リテ其年ノ最高數ハ三十億七千九十一万二千「フラン」ニ上リ(十月三十一日)爾後ハ漸次減却セリ然レ氏千八百七拾五年二月以來ハ大概二十五億乃至二十六億ノ間ニ在リ即チ千八百七十三年中ニ達シタル最高點ヨリモ五千万ノ下ニ在ルナリ(原注)正貨拂出ヲ回復シタルノ後十三ヶ月ニ流通高ハ二十一億七千二百萬ニ過キス而シテ正貨ノ準備金額ハ二十一億七千一百萬タレハ其流通高ト準備高トハ殆ント同額ニ在リ

千八百七十三年一月三十日銀券發行額ノ最モ高度ニ達シタル際ノ發行券ノ種類ヲ左表ニ掲載セシ其發行

總額ハ二十八億五千八百六十一万九千二百七十「フラン」ニシテ券數ハ六千八百〇三万一千三百四十枚タレハ即チ悉ク同額ノ券面トスレハ平均二十四「フラン」ニ當ルベキナリ然ルニ其額面甚等差アリ多キハ五千「フラン」少キハ五「フラン」トス

一枚ノ額面	券數	金額
五〇〇〇フラン	七	三五〇〇〇フラン
一〇〇〇	七五五、四一二	七七五、四一、〇〇〇
五〇〇	四二七、三五四	二一三、六七七、〇〇〇
二〇〇	六、八三〇	一、三六六、〇〇〇

収

一〇〇、	八、〇五九、七一九	八、〇五九、七一〇、〇
五〇、	六、一三六、九〇五	三、〇六八、四四五、二五〇、
二五、	四、四五七、四六六	一一一、四三六、六五〇、
二〇、	二六、八三九、一五八	五三六、七八三、一六〇、
五、	二一、三二七、二一二	一〇六、六三六、〇六〇、
合計	六八、〇三〇、〇六三	二八五八、一六三、〇二〇、

如此ク巨額ノ流通高ニ至ルト雖氏唯其始ノニ方テ些
 少ノ低落ヲ為シタルノ其低落スラ尚幾クモナク回
 復シテ其平準ニ帰レタリ而シテ斯ク其價格ヲ保有シ
 タルノ理由ハ之ノ枚舉スレハ其數少シトセズ第一佛

國並位銀券ヲ發スルヤ一時ノ便法トスルニ過キス故
 ニ政府ハ勿論銀行ト公衆トニ於テモ同ク其永遠ノ定
 法ナラスト信用セリ之ヲ廢除スルノ方ハ年賦ハソニ
 億「フラン」ヲ以テ年々銀行ニ消還スヘキノ「ヲ」断然議
 決セリ而シテ其年額ハ消還ノ最少額ヲ示レタルモノ
 ニレテ必三四年ヲ經過セハ別ニ公債ヲ募テ以テ其全
 額ノ消還ニ充ツヘシト豫期セリ如此キ情狀タリレテ
 以テ定位銀券通用ノ期ハ特リ理論上ノ「ミ」ナラス其実
 際上ニ於テモ亦甚々接近シタル期限ヲ以テセリ
 第二此流通額二十八億乃至三億ノ多キニ至ルモ全國

ノ需用ニ較シテ未タ其權衡ヲ失ハス何トナレハ軍費
ノ償金ヲ拂ヒ及巴里其他ノ都府ヨリ敵國ニ拂ヒタル
金額一時殆ント十億ノ多キニ至レリ而シテ其正貨ハ
則チ銀行銀券就中小額ノ銀券ヲ以テ代用セサルヲ得
ス但シ其小額ノ銀券ト云ヘハ澳意諸國ノ如ク細微ニ
至ルニ非ス皆五フランヨリ小ナルモノアラサルナリ
而シテ之ヲ行フヤ公衆ハ之ヲ拒絕スルヲアラサルノ
ミナラス却テ之ヲ愛シテ甘受シ今日之ヲ廢スルニ及
テハ却テ之ヲ憾トスルモノアルニ至レリ且其金銀ノ
正貨漸ク以テ内國ニ淺帰セントスルニ及テ恰モ好シ

政府ヨリ銀行ニ年賦消還セルヲ以テ銀券ノ流通高ハ
隨テ減少セリ故ニ仮令一時銀券ノ數増加セシモ又後
今ニ之ヲ回復セシモ共ニ當時需用ノ度ニ相應シテ過
不及アルノナシ第三前述ノ如ク開戰中並和成ルノ明
日正貨十億ヲ外國ニ散失シタルノ后々佛國ハ更ニ外
國ニ金銀貨ヲ拂出スヘキモノナシカノ償金ノ如キハ
先ツ此十億ノ正貨ヲ以テ拂ヒ次テ為換切手ヲ以テ払
出セリ其為換切手ノ因テ出ル所ノ原因五アリ(第一)佛
國人ノ所有スル所ノ外國株券ノ類ヲ賣却ス是レ最多
シトス(第二)内國人ニ屬スル外國株券ノ利銀(第三)佛國

ニ入り来ル所ノ外國人ノ自ラ携帶シ来レル正貨及為
換切手(第四)内外貿易ノ輸出超過額(第五)外國人我公債
募集ニ応スルノ額是ナリ此五箇ノ原因アルヲ以テ佛
國政府債金ヲ支辨スルニ於テ是ルニキ為換切手ヲ備
フルノ易キヲ致セリ(原注)國庫ノ計表ニ據レハ正貨ハ
五億トアリ令本文十億ヲ輸出スト云フハ銀行商カ外
國ニ於テ為換切手ヲ買得スルカ為ニ輸出シタル金
額ヲモ合計セザル而シテ千八百七十三年ノ末以來為
換ノ景況ハ大抵我ニ利アリ且我佛國ハ外國貿易ノ輸
出超過ト外國人ノ自ラ携來ル所ノ金額ノ多キカ為メ
ニ遂ニ外國ニ對スル債主ノ地位ヲ得ルニ至リ外國商

ハ我ニ拂方ヲ為スカ為メニ外國ノ我通商者ハ我銀行
銀券ヲ求メ外國ノ諸市場ニ於テ此銀券ノ間金ヲ生ス
ルノアルニ至レリ

我佛國ニ於テ定位銀券ヲ行フテ終始遂ニ災厄ヲ蒙ル
ニ至ラサリシ所以ノ情狀ハ概テ前ニ述ヘタル所ノ如
シ猶ホ之ヲ畧言スレハ銀券ヲ發行スル所ノ銀行ハ大
ナル特權ヲ有シ之ヲ管理スルモノハ頗ル謹慎ヲ極メ
政府ハ其定位通用ノ期ヲシテ永カラシメノサランカ為
メニ之カ処分ヲ施シタリ且其流通額ハ年賦消還ヲ為
スニ從テ漸次減少シ我佛國ノ外國ニ對セル通商ハ巨

改言

額ノ為換切手ヲ外國ニ派出スノ使ヲ與ヘ一トタヒ軍
費償金ヲ了セル以上ハ復タ外國ノ負債者ヲラズシテ
其位地ヲ衰翻シ却テ輸出金額ノ超過及我所有セル株
券等ノ拂期限若クハ外國ノ周遊者カ内地ニ費消スル
所ノ金額等ノ為メニ我却テ彼ノ債主タルヲ得タリ
如斯キ景状ニアリト雖氏猶亦我銀券ハ初メニケ年ノ
間ハ些ノ低落ヲ来シ一時ハ頗ル危殆ノ状ヲ見ハシタ
リ千八百七十一年九月十月十一月ノ間龍動ヘノ為換
相場非常ニ騰貴セリ元来英貨ニ對セル平準ノ相場ハ
一磅ニ付二十五フランニ十サンチムタリレカ千八

百七十一年六月ヨリ千八百七十三年九月ニ至ルマテ
ノ間ニ於テ最モ低下ノ時即チ千八百七十一年六月ノ
相場ハ二十五フランニ二十一サンチム四分ノ一ニシ
テ其最騰貴シタル時即チ千八百七十一年十月ニハ二
十六フランニ十八サンチム四分ノ三タリ即チ平準ノ
相場ヨリ殆ント百分ノ四ヲ騰貴セルナリ千八百七十
二年ハ最低下ノ時即チ其四月ニ二十五フランニ十六
サンチム四分ノ一ニシテ其尤モ騰貴ノ時十一月ニ
於テハ二十五フランニ六十八サンチム半タリ即チ平
準ヨリ百分ノ二ヲ昂昇セリ千八百七十三年中ハ一月

大政

ヨリ九月ニ至ルマテノ間最モ低下セル相場ハ其三月
二十五「フラン」三十三「サンチム」ニシテ最騰昂セル片
六月ニ於テハ二十五「フラン」五十七「サンチム」半即チ
平準ヨリ過クル「百分ノ〇半トス

此際ニ於テハ金貨ト雖氏亦同ヨリ此ト同一ノ有様ヲ
以テ自ラ些ノ間ニ金ヲセサルヲ得ス軍費償金ノ拂渡
中ハ其間金概チ千分ノ八乃至十二ニシテ甚微々タル
モノナリキ然ルニ千八百七十一年九月十月ノ交ニ至
テ千分ノ二十五ニ騰貴シ稍憂フベキノ状ヲ現出セリ
蓋シ此間金ヲ生シタル所以ノ者ハ定位銀券流通額ノ

増殖シタルニ因ルニ非スレテ當時國庫ト銀商トニ於
テ價格ノ如何ニ拘ラズシテ為換切手ト正貨ヲ搜索購
買シタルノ結果ナリトス思フニ斯ク云フハハツク真
愚ノ言ニ近シト雖氏銀券ノ下落ニハ非スレテ金貨ノ
騰貴ト云フ可キナリ

此景情ヲ記スル議院ノ報告書其詳ヲ悉セリ
其報告ニ曰ク償金拂出ノ始メニ方テ大ニ磅ノ價格ヲ
騰昂セシメテ二十六「フラン」餘ニアリシモノ實ニ二月
ノ餘ニ及ヘル所以ノモノハ他ナシ急遽ニ之ヲ購買シ
タル影響ニシテ國庫ハ恰モ巨額ノ金ヲストラスアリ

大
改
言

ル^地名^ニ於テ拂渡シタルカ為ノニ正貨ハ頗ル拂底シタ
ルノ時ニ在リ為換ハ素ト投機ノ業ニ属スルモノニシ
テ當時銀高ハ多クハ自己ノ有スル所ノ為換切手ヲ以
テ國庫ニ賣渡シ自己ノ使用ニ供スヘキモノハ更ニ追
テ買入ルヘキノ見込タリキ然ルニ賣買ノ市場ハ直今
ニ其需用ノ如クナルヲ能ハズ殊ニ其始メニ方テハ多
少ノ急需アリシカ為ノニ遂ニ其相場ヲ昂昇セシムル
ニ至レリ又為換手形ヲ賣ル者ハ其精算ノ為ノニ他ニ
何物カヲ輸出セサルヲ得ス輸出ノ最モ便利ナル者ハ
通貨ナリトス故ニ悉ク佛貨ヲ買求スルニ至レリ為換

手形ノ賣主ニ於テ正貨ノ需用アル所亦恰モ國庫ニ於
テモ其需用多カリシ時ニ際セリ故ニ自然國庫ト其競
争ヲ生シ為ノニ金銀貨ノ價格ヲ上騰セシノ同時ニ為
換ノ相場ヲ騰貴セシメザルヲ得ザルニ至レリ
然レ氏如此ク稍轉動ヲ為シタルノ後今市場ノ景况整
頓ニ帰シ千八百七十三年九月以來為換ノ相場亦適応
ノ地ニ復シテ硬固ナル景况ヲ得タレハ蓋シ復タ變動
ヲ為スルナカルヘシ以上軍費償金並ニ之ニ關スル為換
ノ事業ニ付州報レセリ氏ノ報告
書
軍費償金ノ拂渡中金貨間金ノ高低左ノ如シ之ニ依テ

見ルニ其間金次第ニ低減シテ償金ノ拂出ヲ了スルニ
及テ全ク其間金ナキニ至レルヲ知ルベシ

全	千八百七十一年七月一日	千分ノ二乃至三
全	八月八日	三乃至四
全	十月二日	十四
全	全 九日	十六乃至十七
全	全 十二日	二十乃至廿二
全	全 十六日	廿四乃至廿五
全	全 廿六日	二十乃至廿二
全	十一月廿二日	十七乃至二十

全	全 三十日	十四乃至十六
全	千八百七十二一年一月卅一日	十三乃至十四
全	全 二月十日	十一乃至十二
全	全 廿八日	七乃至八
全	全 三月九日	五乃至七
全	全 廿日	四乃至五
全	全 五月十日	三
全	全 六月十日	七乃至八
全	全 七月卅一日	十二乃至十五
全	全 九月十日	十四

大改

「フラン」ニシテ千八百七十二年中ノ最高額ハ其十二月
四日ニ在テ七億九千三百万「フラン」トス又其最少額ハ
其年六月二十四日ニシテ六億三千〇九十万「フラン」タ
リ千八百七十三年ニハ六月五日八億二千〇八百万「フ
ラン」ニシテ是ヲ最高額トシ八月廿二日七億〇五百七
十万是ヲ最少額トス爾後漸次高昇シ千八百七十五年
二月廿五日ニ至テハ百四十八万六千三百二十九「フラ
ン」此額恐クハ原文ノ誤リ數位三等
ト脱スルニ似タリ其同時ノ流通額ハ
二十五億七千五百八拾六万六千八百「フラン」ニ過キズ
故ニ其流通額ハ準備正貨額ヲ超ユルノ百分ノ七十五

ニ過キサルナリ千八百七十四年四月以後定位銀券ノ
通用ハ惟タ其名ヲ存セルノミ實際銀行ニ於テハ其正
貨拂出ヲ回渡シ金銀ヲ支出シテ其五「フラン」乃至二十
若クハ廿五「フラン」ノ銀券ノ流通ヲ廢シタルノミナラ
ズ猶五十「フラン」ノ銀券ヲモ廢除スルニ至レリ故ニ実
ハ已ニ定位通用ヲ廢停セリト云フモ可ナリ千八百七
十七年ノ始ノニ於テハ國立銀行ノ準備正貨異常ノ増
加ヲ為シタリ即チ三月十五日ニハ二十二億一千一百
八十四万八千「フラン」ニ達セリ然ルニ其時ノ流通高ニ
十五億六千一百万「フラン」タレハ其準備高ヲ超過セル

本
改
宮

百分ノ十五ニ過ギズ爰ニ至テ銀行ニ於テハ其銀庫
ノ正貨ヲ減省セント務ムルニ至レリ故ニ地金銀又ハ
外國ノ貨幣ヲ受クルハ必ス割引ヲ以テセリ而シテ
銀行ニテ拂出スルハ可及的金貨ヲ以テシ金貨ニ換ヘ
テ銀券ヲ拂フヲ好マサリキ銀券ヲ以テスルハ千分
ノ一ノ印紙稅ヲ拂ハサルヲ得ス且小額ノ銀券ハ價造
シ易ケレハナリ如此キ景情タリシヲ以テ佛國立銀行
ノ銀券ハ金貨ヨリモ人ノ尚好トナレリ故ニ今日ニ至
テハ銀券ニ間金ヲ生スルニ至レリ而シテ千八百七十
五年以來ハ公然定位通用ヲ廢スルモ固ヨリ妨ケナキ

ニ至リタレハ尚ホ法律上ニ於テ之ヲ存置セル所以ノ
者ハ惟タ之ヲ慎重ニスルニ因ルノミ而シテ開戰以來
特ニ募リタル公債十四億七千万八千八百七十九年三
月ニ至テ始メテ完済ヲ經タリ契ルニ曩キニ千八百七
十五年八月三日契約ヲ定メ銀行ヨリ政府ニ貸付レタ
ル金額漸ク減シテ三千万以内ニ至ラハ則チ其日ヲ以
テ法律上断然銀行銀券ノ定位通用ヲ廢止スヘシト決
シタリ即チ千八百七十八年一月一日ヲ以テ此期遂ニ
到着シテ全ク之ヲ廢傳セリ契レハ實際ニ於テハ定位
通用ノ法既ニ三年前ニ廢除セラレタルニ異ナラザレ

大
改
官

ハ公衆ハ此令ノ下ル六日何等ノ變况ヲ實地ニ生レタ
ルヲ見ザリシナリ

佛國ニ於テ定位銀券ヲ行フモ遂ニ何等ノ損害ヲ生ス
ルナク却テ國家ニ裨益ヲ為スナリ少カラサリシ所以
ノ原因ハ前ニ記セル所ヲ以テ已ニ之ヲ詳悉シタルベ
シ然レド佛國ノ此實歴ハ此他ニ倣用スルヲ能ハザル
者トスヘシ惟タ決シテ一種特別ト見倣シテ可ナリ蓋
シ此實歴ヲ成功スル所以ノ者ハ多クノ元素ヲ包含ス
ルニ非レハ不可ナリ佛國民ノ氣質佛國立銀行ノ慎重
聲譽仏國政府ノ消還ノ約ニ堅執ナル及ヒ輸出ノ輸入

ニ超過セル等一ニシテ足ラス是レ此元素アルニ非レ
ハ此實效ヲ致スナリ能ハザルナリ

前ニ記シタルカ如ク史乘ト統計トニ就テ調査シ得タ
ル所ヲ以テ見ルハ定位通用ノ法ハ其之ヲ行フ所ノ
状況ニ從テ其觀ヲ異ニシ其跡ヲ變シ殆ント千態万狀
ナルヲ知ルニ足ル可シ蓋シ近日ニ至ルマテハ明ニ此
現象ヲ研究シ得タル者ナリ甚シキハ旧說ヲ墨守スル
經濟家ハ定位銀券ヲ視テ殊ニラウ銀行ノ發行券若ク
ハ佛國革命ノ際ニ行ハレタル銀券類ト思惟セリ故ニ
一概ニ之ヲ排却スルヲ以テ其確乎タル斷按ト為セリ

今日ニ至テハ定位銀券ノ法ヲ研究スル昔日ノ如クナ
ラス頗ル其精確ヲ得タリ依テ其之ヲ視ルノ考察亦一
變セリ近代ノ史來ニ就テ徵スレハ兵事アルハ定位
銀券ヲ通用スル亦實ニ己ム可カラサルモノ、如シ今
日ノ諸大國一朝外國ニ事アルニ臨ミ實ニ其危急存亡
ニモ關係スヘキノ秋ニ方テ政府若クハ銀行發行ノ銀
券ノ定位通用ヲ令セズレテ過キタル者ハ是レアラス
ト云フモ不可ナカル可シ蓋シ其然ルヲ致ス所以ノモ
ノハ他ナシ近代ノ兵事敏捷ニ出テ、頗ル硬執ニ涉リ
數月ニシテ又ハ甚シキハ數週間ヲ出テズレテ非常ノ

巨資ヲ費消スルナリ且ツ之カ為メニ忽チ社會ノ生
計ト商業ノ關係トヲ紊亂セシムル甚シキモノアルカ
如キ是其原因ナリ租稅ヲ徵スルハ事甚遲緩ニシテ大
戰ヲ開クニ臨テ政府ノ急需ニ應スルノ計ニ非ス通常
公債ヲ募ルカ如キモ亦其效少ク其急ヲ飽カシムルニ
足ラサルヘシ持リ百万ノ師ヲ發シテ能ク數日間ニシ
テ其運轉ノ機ニ適ヒ兵糧軍資ヲ給スルニ足ルベキノ
資額ヲ得セシムル者ハ惟タ定位銀券ノ法アルノミ且
開戰ヲ宣告スルニ方テハ(今言フ所ノ戰トハ接隣ノ兩
國大舉シテ持ニ相侵シテトスルノ大戰ヲ指シテ云フ

國人民舉ケテ兵ヲ執ルノ舉ニ次テ所謂ル「モラトリ
オム」ナル者ヲ公令セザル可カラス「モラトリオム」トハ
商業ノ約期ヲ延伸スルヲ云フ而シテ商行ニ於テ銀行
ノ庫中ニ藏スル所ノ契券等ヲ定期ニ至テ拂渡スノ義
務ヲ免ル、ニ付テハ隨テ銀行ニ許スニ其發行銀券ノ
交換ヲ停止スルノ權ヲ以テセサル可カラス

定位銀券ヲ行ハズシテ二回ノ大戰ヲ企テ得タルモノ
ハ唯タ普魯士一國アルノミ千八百六十六年及千八百
七十年ノ役是ナリ但此國ハ當時實ニ特殊ノ狀況ヲ有
セリ第一普國ハ豫ノ軍費ノ備ヘアリ正貨ヲ積テ之ニ

充テ其公債ヲ募ルノ前先ツ之ヲ以テ出師ノ費ヲ支辨
スルヲ得ベシ第二普國ノ兵軍ハ多年來具備ヘ欠クル
所ナク兵器糧食平時ニ在テ已ニ完備シ一朝事アラニ
トスルモ時ニ臨テ多ク豫設ヲ為スヲ用ヒズシテ出師
ノ備ヘ既ニ完シ且日耳曼ニ於テハ資ヲ人民ニ求ムル
ノ法甚嚴ニシテ加之當時ノ戰況ヲ見ルニ其兵ヲ用ク
ヤ否ヤ忽チ敵地ニ入テ營ヲ構ヘタリ故ニ兵食ヲ敵地
ニ取り軍費ヲ敵民ニ募リタリ此等ノ事情他ニ比例ナ
キ所トス

定位銀券ヲ行フノ原由兵事ニ因ルノ外又一ノ原由ア

リ外國債ヲ負フ多キニ過ル是ナリ此原由ハ更ニ怒
スヘキノ理サレトスラプラタブレヅルウルゲイ等南
米諸國カ定位銀券ヲ行フニ至リタル所以ノモノハ即
チ其外國債甚ク加増シタルニ因ル又外國債ノ多キニ
過クルハハ仮令ニ定位銀券ヲ行フノ原因ハ此他別ニ
コレアルモ亦必ス之カ為ニ其廢停ニ苦マシムルニ
至ルベキナリ魯國巨額ノ外債並北米聯邦外債又ハ其
錢道公債ノ如キ即チ其國定位銀券ノ廢除ヲ遲延セシ
メタル一原因ナリ

定位銀券ヲ行フノ根源タル兵事ニ出ツルカ如キハ亦
實ニ己ハ可カラザル者アリト雖氏其之ヲ致シタル原
由ノ己ニ消滅シタルノ後チ永ク此制度ヲ存シテ注々
其痕ヲ絶チ難キハ實歴上ニ於テ明証ニ得ル所以ニシテ
豈ニ歎スヘキナラスヤ但チ千八百年代ノ始メノ英
國ニ於ケル及近年ノ佛國ニ於ケルカ如キハ共ニ和成
ルノ後チ兩三年ヲ出ラズシテ其定位通用ヲ廢シタリ
ト雖氏米澳魯意諸國ノ如キハ二十年乃至甚シキハ五
十年ノ久キニ涉リテ尚之ヲ保續セリ
元未定位銀券ノ法ハ不識不知患害ニ陥ラシムルノ弊
アリ始メ之ヲ設クルニ方テヤ議者或ハ之ヲ排却スル

ノカナキ者アリ或ハ其患害ヲ覺ラザル者アリ或ハ又
二三ノ之カ為メニ実利ヲ占ムル者ナキニアラズシテ
遂ニ之ヲ是認スルノ黨ヲ生シ政府モ亦増税或ハ節略
等ノ方法ヲ断行スルニ狐疑レテ遂ニ此法ヲ行ハント
スルニ至ル加之商工等亦此法ヲ行ヒ之ヲ延期シ之ヲ
増加スルニ於テ亦自ラ利ナレトモス商工悉ク然リト
云フ可カラサルモ其多クハ必ス不利トセザルベシ但
夕初メ之ヲ聞カハ大ニ疑フモノアル可レト云ヘ凡意
太利ノ調査ニ据レハ殊ニ工産者ノ中ニ之ヲ期望スル
者アリ又米國ノ農夫及合衆國ノ或製造家ノ如キ定位

銀券ノ増發ヲ尤モ切望セリ是レ所謂ルインフレーション
ヨシ此法ヲ擴張スト稱セシ所ノ一種ノ権道ナリ
此インフレーションノ説ヲ主張スル者ハ特ニ撲実蠢
愚ノ輩ニ止ル乎若クハ之ニ及シテ私利ニ銳ナル巧智
奸猾ノ徒タル乎蓋シ此黨者ハ此ニ様ノ徒相半セリ蓋
シ定位銀券ナル者ハ少クモ之ヲ行フノ始メニ方テハ
外國ノ競争ニ向テ内國ノ工産ヲ保護スルニ類スルモ
人アリ外國ノ輸入商品ハ固ヨリ金貨ヲ以テ若クハ為
換相場ニ是テ銀券ヲ以テ價ヲ拂フヘキニ内地ノ製造
家ノ如キハ然ラス其製造ノ元ト品ハ内地ニ在リ其工

太
改
言

價ハ曾テ正貨ヲ以テ拂ヒシト同呼額ノ銀券ヲ拂フベ
キヲ以テ自ラ相場ニ高低セラル、ナシ故ニ外國ノ製
造家ニ對シテ内地ノ製造家ハ多少ノ保護ヲ蒙ルベキ
ナリ又商品ヲ多ク蓄藏スル所ノ商賈ハ急ニ定位銀券
ヲ増加シ隨テ物價ヲ騰貴スルヲ以テ已レノ利益トス
後令ハ一ノ商賈アリ庫中十萬フランノ賣品ヲ藏ス而
シテ之ニ對スル負債ノ高五萬フラントス而ルニ此際
巨額ノ定位銀券ヲ發行スル所ハ隨テ物價ヲ騰貴シ庫
中ノ賣品ヲ賣ル所ハ其價十五萬ニモ至ルベシ即チ其
贏利少カラス殆ント具得ル所ハ負債ノ三倍ニ至レリ

若シ正貨拂出ノ制從前ノ如クタラバ如此キノ利贏ア
ラサル、明ナリ銀行商又ハ株券等ヲ賣買スル投機者
ハ徒ニ於テモ亦多クハ之ト同一ノ趣キアリ此輩ニ在
テハ多クハ其所有スル所ノ株券ヲ以テ借入ヲ為シ又
ハ預り金ヲ為スヲ以テ物價騰貴シテ其所有ノ株券ノ
價ト其負フ所ノ資金ノ價格ト隔離スル、益多キヲ以
テ已レノ利ト為ス、亦明カナリ是レカノインフレー
ションノ徒ヲ生スル所以ナリ

千八百七十八年ノ末ニ當テ合衆國ニ於テハ此インフ
レーションノ徒頗ル盛ニシテ其勢力亦甚強シカノゲ

リインバーカス「是ケリインバツク（紙幣ノ名、綠色券ナル）是也。主張スルノ輩ノ義者是ナリ。此徒ハ社會党ト相結ヒ且嘗テ共和黨首ノ一父ニテ有名ノ改論家タル「ジ子ラルホツトレル」ノ指揮ニ從テ勞カ紙幣黨「レールボル、エンド、グリーインバク、パア」テ「ナル一派ヲ立テタリ而シテ此黨人多クハ西部諸州ノ農民ニ出テナリ蓋シ西部ノ地主即「ハーマース」ナル者ハ戦争ニ際シテ紙幣ノ價格百分ノ二十三乃至五十ヲ低落セルニ方テ巨額ノ負債ヲ為シタルヲ以テ其地ハ多ク抵償ニ付シ頗ル宛乏ノ地方ニ屬セリ故ニ其地主ハ紙幣ノ額増殖シテ為メニ其負債ノ利銀租

税若クハ鐵路ノ運送賃ノ廉價ニ當ルヲ喜フ者ナリ但タ一方ニ於テハ其穀肉等ノ賣價ハ「リールホル」若クハ龍動ノ市價ヲ以テ相場ヲ立ツルニ付キ紙幣ヲ以テスルハ自然騰貴ヲ免レサルベシト雖氏其費ス所ト其収得スル所トノ差額自ラ今日ヨリモ甚シクシテ其差ヲ以テ其純益トス故ニ其負債者ハ皆紙幣ノ過多ニシテ低落ナルカ為メ自ラ利益アリ西部ノ人民一身ノ私益ヲ圖ルニ敏ナルハ之ヲ以テ知ルヘシ（原注）西民カ負債ヲ契約セシハ恰モ紙幣低落ノ時ナレハ積リ弁償スルニ至テハ其契約ノ時ノ金貨ノ間金ヲ見積リテ之ヲ差引カレトス元ハ蓋シ至當ナリ

太
女
カ

然レ氏其一己ノ私利ハ決シテ其ノ公益ト相背馳スヘ
キハ固ヨリ明ナリ其一二人ニ與フル所ノ利益ハ之
ヲ一國ノ公同ニ蒙ラシムル所ノ損害ノ大ナルニ比ス
レハ其輕重相較スヘキニ非ス蓋シ通貨ノ安固不動ナ
ラサルハ偶以テ外國貿易ヲ萎縮セシムルニ足ルノミ
蓋シ諸般ノ貿易ハ皆固ヨリ正貨ヲ以テセサルヲ得ス
且外國商賈ハ批賣ヲ為サス若シ之レアルハ其異日
ノ相場ニ依テ其貸高ヲ減失スルヲアルヘケレハナリ
故ニ定位銀券ヲ行フ所ハ其國ヲシテ經濟上孤立セシ
ムルニ至ルベキモノナリ然レ氏内國産品ノ元價此制

度ノ為メニ減スルヲ以テ自ラ其輸出ノ額ヲ増加スベ
シト云フ説アレ氏余輩ヲ以テ見レハ其元價ノ減スル
スラ猶亦望ム所ニ非ス何ントナレハ偶々定位銀券ノ
為メニ其元價ヲ減スルハ要スルニ銀券ノ低落セルニ
拘ラス工夫ノ賃銀騰貴セサルノ結果ニアラスンハア
ラサルナリ即チ實ハ工價ノ減損セルモノナリト云フ
モ可ナリ定位銀券ヲ行フノ始メニ方テハ一二ノ商賈
ヲ利スルヲナキニ非スト雖氏是必竟他ノ工夫ヲ損害
シテ之ヲ利スルニ外ナラサルナリ殊ニ前述ノ如ク外
國ノ貿易ニ許多ノ危害ヲ蒙ラシムルノミナラス更ニ

内國取引ノ為ニ一ノ危厄ヲ加フルアルヘシカノ投機
ノ念ヲ醸生シ永年ノ大事業ヲ企ツルノ心ヲ阻表セシ
ム故ニ此制度アルノ國ニ於テハ經濟上ノ變遷ニ遭遇
セルト他ノ諸國ヨリモ更ニ甚シトス澳國及ヒ合衆國
ノ如キ其實例ナリ且其通貨ノ價格一定不動ナルト能
ハザルカ為メニ其變遷殊ニ諸般ノ取引上出入ノ精算
頗ル難シトス定位銀券ヲ行フ國ニ於テハ政府ノ外國
ヨリ物品ヲ購買シ及渾ヘテ外國ニ拂出ヲ為スニ付キ
多少ノ損失ヲ蒙ラサルモノナレ如此クシテ其政府カ
蒙ムル所ノ年々ノ損失ヲ計算セハ銀券ヲ發行シテ以

テ得クル所ノ金額ノ利息高ヲ越ルト往々コレナレト
セス故ニ其發行ニ依テ其利息ヲ節儉ス（公債ヲ募レハ
利息ヲ拂ハサ
ルヲ得ス銀券ヲ以テ
ト雖ハ損益相償ハサルベシ
ト然ラズ故ニ云フ）
定位銀券ヲ行フノ國ハ嘗テ之ヲ施スニ至ラシメタル
原由ノ已ニ消滅シタルハハ急ニ之ヲ廢除スルヲ務メ
サル可カラザルハ固ヨリナリ但其之ヲ廢除スルノ方
法奈何ニ至ラハ自ラ論アリ蓋シ定位銀券ヲ行フノ原
因タルヤ多クハ國庫非常ノ欠乏ニ因ルモノトス故ニ
之ヲ廢除スルノ最モ須要ナル一要件ハ歲出入ノ平準
ヲ回復スルニ在リ殊ニ其歲入歲出ヨリモ多キヲ要ス

本
文
官

佛國普佛ノ役ヲ終ルノ明日速ニ処分ヲ立テ年賦ニ億
乃至一億五千万ヲ以テ銀行ニ償還セシハ實ニ他國ノ
模範トスルニ足ルベシカノ意太利ノ如キ銀券ノ負債
ヲ消還スルニ年々六千万乃至八千万ヲ以テスヘシ然
ルハ二様ノ良結果ヲ生スヘシ第一紙幣低落ノ一原
因タル流通額ノ過多ナルヲ減殺スヘシ第二政府ノ定
位銀券ヲ視ルト一時ノ通用ニ止ルモノトシ断然之ヲ
廢除ノ意アルトテ内外國人ニ明表スルノ無形ノ効力
アリ而シテ定位銀券ノ低落ヲ惹起スル所ノ原由少カラ
スト雖モ無形ノ影響ノ如キハ其効力最モ少カラサル

ナリ蓋シ此年賦償還ノ方法ハ定位銀券ヲ廢除スル最
モ確實ニシテ簡單ナル良法トス他ニ之ニ優ルノ方法
アラサルナリ惟タ流通銀券ノ額未タ過多ナラス低落
ノ度未タ甚シカラサルハ外國債若クハ内國債ヲ募
ルモ内國債ハ直今ニ其銀券ヲ廢毀シ外國債ハ募ル所
ハ正貨ヲ以テ交換スヘキニ付キ是亦往々速ニ具功ヲ
奏スルトアリ

正貨交換ノ制ヲ回復スルノ方法ハ特ニ歳出入ノ平準
ヲ得タルノミヲ以テ足レリトセヌ又為換ノ相場低落
セサルトテ須要トス而シテ世人ハ往々輸出ノ輸入ニ

超過スルヲ以テ國益ト為スト云フ套語ヲ以テ其為換
相場ノ低落セサルヲ要スルノ解説ト為スト雖氏其輸
出入ノ關係ハ必スシモ緊要ナリト云フ可カラス蓋シ
輸出入ノ關係ハ惟タ國際經濟上ノ關係ノ一原素ト云
フニ過キサル可シ若シ商品ノ輸出入ノ損益ノミヲ以
テ其國ノ景況ヲ判スルハ未タ之レ真ヲ得タリト云
フ可カラス又船舶借入ノ事モ内外貿易ノ差ヲ補填ス
ルノ少カラス其借入ハ其之ニ國旗ヲ掲揚スル者ニ於
テ利益アルハ當然ナリ又契券等ノ輸出入モ亦自ラ其
權衡ニ關係スヘシ此等ノ景況ヲモ考察セサル可カラ

ス又外國政府ノ公債若クハ外國ノ私業ノ為メニ資本
ヲ出シタル我貸高ヲモ計按セサルヲ得ス此他又今日
ノ景況ニ於テ最モ注目ヲ要スル件アリ即外國人ニシ
テ我内地ニ住居ヲ定メ若クハ周遊シテ國內ニ費消ス
ル所ノ額我國民ノ同ク外國ニ於テ費消スル所ニ過超
セル分是ナリ佛國內ニ於テ外國人ノ費消スル所一年
殆ント一十億トス又或者ノ計算ニ据レハ十五億トセ
ルモアリ(原注)前章我五十億ノ借金拂方ニ関スル條中
書第ニ百ニ十五億トアリ是レ其實數ヲ得サルヲ甚シ原
業ヲ見ルヘシ意國ニ於テモ外國人ノ携帶シ来ル所
ノ金銀少クモ二三億ニ下ラサルベシト云フ此數スラ

尚ホ実數ニ及ハサルニ似タリ必ス此ニ二倍三倍乃至
四倍ニモ至レルナルヘシ如此キ景況ニ在レハ仮令ヒ
輸出貿易ノ輸入ニ及ハサルモ定位銀券ヲ廢スルニ於
テ毫モ妨ケアルナキハ亦明了ナリ蓋シ輸入ノ輸出ニ
超過セル額ハ外國人ノ内地ニ居住シ若クハ周遊スル
者ノ携帶シ来ル金額或ハ船舶借入ノ為メニ得ル所ノ
正金貨若クハ為換切手ヲ以テ相償フテ猶餘リアルニ
シ
故ニ歲出入ノ過不及ナク為換ノ平準ヲ得ルハ定位銀
券ヲ廢除スルニ要件ナリトス一國ノ施政實ニ其宜ヲ

得ル所ハ能ク其必須ノ課税ヲ保存又ハ新設シ或ハ其
歳費ヲ節制シテ必要ノ點ニ止メ以テ此要件ニ達スル
亦必ス難キニ非ルナリ各國ノ事跡ヲ見ルニ定位銀券
ノ制往々永ク存シテ廢滅セラレサル所以ノ者ハ政府
及人民ニ於テ巨額ノ費用ヲ為スヲ厭ハス假令ハ土木
ノ大工業ヲ起スカ如キノアルニ依ル之ヲ要スルニ具
論點ハ如此キ大土功ヲ興サンヨリハ寧ロ數年間此工
事ヲ遲延シ具全力ヲ以テ正貨交換ノ回復ヲ致スノ却
テ利アルヤ否ヤヲ知ルニ在リ余輩ヲ以テ見レハ漸シ
テ之ヲ利アリトス定位銀券ヲ論スル者注々其原由ヲ

萬國金銀ノ屬稀ナルニ歸スル者アリ然ルニ近年ニ
至リ本位單淺論ニ付テ再々此說ヲ為スモノサカラ
サルニ至レリ是レ實ニ事理ヲ究メサルノ甚キ者ト
云フ可シ文明諸國半ハ定位銀券ヲ行ヒタルハ其金銀
屬欠乏セルニ因ルニ非ス試ニ見ヨ往時ニ在テハ金銀
屬多カラスト雖氏膏ヲ定位銀券ヲ行ヒタルアルヲ
聞カサルニ非スヤ蓋ニ定位銀券ヲ行ノ原由ハ多クハ
政府不償還ノ銀券ヲ發行シテ以テ公衆ヨリ前借ヲ為
サントスルニ在リ故ニ之ヲ廢除セント欲セハ亘ク歳
入ノ餘贏若クハ有利ノ尋常公債ヲ以テ具定位銀券ヲ

消還スベキナリ

米魯等ノ如キ二三ノ國ニ於テハ海關稅ヲ拂フニ必ス
金貨ヲ以テスヘキノ義務アル所ハ自ラ為換相場ヲ改
良シ正貨拂出ノ回復ヲ促スアルヘシト信セリ是亦
前述ノ謬見ニ出テ具謬見ヲ實地ノ作用ニ施シタルモ
ノナリ蓋シ低劣シタル紙幣ヲ通用セル國ニ於テ海關
稅ヲ拂フニ必ス正貨ヲ以ラスベシトスルハ即チ稅額
ヲ増加シタルニ異ナラサルナリ假令ハ此會アルモ事
實國ニ入ル所ノ金貨ハ之カ為メニ一路タモ多キヲ加
ヘサルナリ何ントナレハ外國商品ヲ購買シ且之ニ附

属セル所ノ諸費ヲ拂フモノハ固ヨリ内國ノ消費者又
ハ國內ニ在ル所ノ商賈ニ外ナラサレハナリ輸入シ来
ル所ノ外商ハ其商品ノ実價ヲ得ルノミナラス其輸送
費保險料輸入税等ニ至ルマテ皆之ヲ現價ノ中ニ掛ケ
テ販賣ス候令ヘハマンチエストル英國ノ地名多ヨリ
聖彼得堡ニ綿布一匹ヲ輸入センニ之ニ附属シテ金銀
ノ魯貨若干ヲ副ヘテ送り来ルベシト云フハ所謂ル兎
ヲ欺クノ推理ニ近シ海關ノ収額魯國ノ官庫ニ入ル所
ノモノハ但夕魯國ノ金銀トノミ他國ヨリ来ルニ非ル
ナリ殊ニ政府自ラ其紙幣ヲ卑ミテ之ヲ海關ニ受ケサ

ル所ハ更ニ之カ為ノニ一層ノ低落ヲ基ヒスルヲアル
ベシ政府己ニ自ラ發スル所ノ銀券ヲ受収スルヲ欲セ
ハ焉ソ人民ヲシテ之ヲ受ケシムルヲ望フベケンヤ能
ク之ヲ受ケシムルヲアルモ焉ソ之ヲ貯藏セシム可ク
ンヤ魯國ノ或ル銀商ハ千八百七十八年一月十二日ノ
因ナリト論セルノ義務アルハ其紙幣ヲ低劣スルノ一
外ニ輸出スル巨額ノ正貨ハ即チ其額ト同ク五千萬
口一騰貴ニ定位銀券
ノ價ヲ低劣シタリ
又政府若クハ銀行發行ノ定位銀券ノ行ハルハ國ニ於
テ海關稅ヲ拂フニ正貨ヲ以テスルヲ必スルノ法ヲ是

トスル者アリ曰ク此法ハ輸入ヲ制限シテ隨テ輸出入ノ平準ヲ保ツコト便ナリト蓋シ紙幣低落シタル邦ニ於テハ必ス正貨ヲ以テ海関稅ヲ拂フヘキハ輸入稅ヲ増加スルニ異ナラスシテ輸入貿易ノ減縮スルヲ明ナレハ隨テ輸出貿易ノ減縮ヲ蒙ルモ亦之ト理ヲ同フス輸入衰ヘテ輸出盛ナルノ理アルヘカラス輸出輸入ノ理ハ猶潮ノ干満アル如シ干潮ノ量減スレハ満潮ノ量ヲ減セサルヲ得サル固ヨリ明ナリ及令ハ一國法ヲ設ケテ船舶ノ港口ニ入ル者ハ物ヲ積ミ來ルヲ得ス汽車ハ空室ヲ以テ來ル可シトセハ其外國ニ輸出セントスル

ニ方テヤ運費保險料等ノ諸費其金額ヲ負擔スヘキヲ以テ必ス忘ニ其費ニ堪ヘサルニ至ル可シ若シ如此クセスレテ尋常ノ場合ニ在ラレバ其諸費皆之ヲ輸出入ノ未注ニ分擔スルヲ以テ其費用自減者スルヲ得ヘキナリ要スルニ輸入貿易ハ必ス輸出貿易ヲ促スノ具ナリ輸出ヲ妨クルハ自ラ輸入ヲ妨クルハ勢免レカレ所ナリ故ニ正貨ヲ以テ海関稅ヲ拂フノ義務ハ輸出入ノ平準ヲ保ツノ具ナリト云フハ論者ノ意想スル所ノ如キ成果ヲ為スヲ能ハサレド必セリ
紙幣ノ低落ハ金銀屬ノ稀サナルニ依ラサルヲ證スル

ニ是ルヘキ事迹アリ即其低若ヲ受クルト尤モ甚シキ
國ハ金銀ヲ最モ多ク出スノ國ナリ米魯是ナリ
故ニ定位銀券ヲ廢セント欲セハ歲出入豫算ノ平準ヲ
保テ臨時費用ヲ減者スルノ外他ニ良法アルヲ知ラザ
ルナリ歲出入ノ豫算ハ魯國ノ如ク尚能ク之ヲ平準ニ
スルヲ得ヘシ臨時費ニ至テハ公債ヲ募テ以テ費達ニ
充ツルヲ得ヘキヲ以テ自ラ莫大ノ額ニ至ルヲ免レサ
ルナリ佛國ヲ除クノ外凡ソ定位銀券ヲ行フノ國ニ於
テハ不幸ニシテ土木工事等ノ歲費ヲ増加スルヲ厭ハ
ズシテ却テ國ノ危害ニ係ル所ノ此無利公債^{定位}銀券ヲ漸

次減却シ遂ニ之ヲ廢絶セントスルノ方向ヲ取ルニ至
ラス惜哉魯澳意米等ノ諸國皆此謬見ニ陷レリ獨リ佛
國ニ至テハ其危害自ラ知ノ存亡ニ憂スベキヲ知レリ
故ニ佛國千八百七十一年ノ役ニ尋テ之ヲ施シタルキ
ハ其害終ニ甚タシキニ至ラサルナリ



